

博士論文

日本語学習者のノダの使用と習得に関する研究

— 〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の違いを中心に—

神戸学院大学大学院 人間文化学研究科

言語文化論講座 博士後期課程

指導教員 野田春美

学籍番号 9513203

氏 名 范 一楠

目 次

第1章 序章	1
第1節 問題提起	1
第2節 研究目的	3
第3節 本論文の構成	3
第2章 先行研究の概観と検討	4
第1節 文法・談話に関する先行研究	4
1. 1 ノダの意味・機能	4
1. 2 文法項目の談話における機能	6
第2節 日本語学習者の習得に関する先行研究	8
2. 1 ノダに関する習得研究	8
2. 2 ノダ以外の文法項目に関する習得研究	12
第3節 本論文の課題	14
第3章 本論文の研究方法	15
第1節 ノダの使用率算出の方法	15
第2節 トピック構造の分類	15
第3節 〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の下位分類	17
第4節 発話機能の分類	20
第4章 雑談資料による母語話者のノダの使用傾向に対する分析	22
第1節 調査方法	22
第2節 分析結果と考察	23
2. 1 母語話者のノダの使用率	23
2. 2 トピック構造における母語話者の使用傾向	24
2. 3 〈承前のノダ〉〈後続のノダ〉における母語話者の使用傾向	27
2. 4 発話機能における母語話者の使用傾向	29
第3節 個別の考察	31
第4節 第4章のまとめ	35
第5章 雑談資料による学習環境の異なる学習者のノダの使用傾向に対する分析	36
第1節 分析方法	36

第2節 分析結果と考察	36
2. 1 学習者のノダの使用率	36
2. 2 トピック構造における学習者の使用傾向	42
2. 3 〈承前のノダ〉〈後続のノダ〉における学習者の使用傾向	43
2. 4 発話機能における学習者の使用傾向	48
第3節 個別の考察	50
第4節 第5章のまとめ	52
第6章 インタビュー資料による習熟度の異なる学習者のノダの使用傾向に対する分析	54
第1節 インタビュー資料の概要	54
第2節 分析方法	56
第3節 分析結果	56
2. 1 学習者のノダの使用形式と母語の影響に関する結果	56
2. 2 〈承前のノダ〉〈後続のノダ〉の使用と学習者の習熟度の関係	61
第4節 第6章のまとめ	65
第7章 不快感を与える危険性のあるノダに対する分析	67
第1節 ノダカラ	67
1. 1 問題の所在	67
1. 2 分析方法	68
1. 3 調査結果	69
1. 4 本節のまとめ	71
第2節 ソウナンデスカの非用	72
2. 1 問題の所在	72
2. 2 分析方法	73
2. 3 母語話者の使用状況	74
2. 4 学習者の使用状況	83
2. 5 本節のまとめ	86
第8章 母語話者と学習者のノダの理解と産出規則の検証	88
第1節 調査目的	88
第2節 調査方法	89

第3節 調査結果と考察	92
3.1 母語話者の〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の選択傾向	92
3.2 学習者の〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の選択傾向	95
3.3 ノダカラとソウナンデスカの母語話者と学習者の選択傾向	102
第4節 第8章のまとめ	104
第9章 終章	107
第1節 本論文のまとめ	107
第2節 今後の課題	109
【参考文献】	110

添付資料目次

[添付資料 1] 大場 (1995) の分類	1
[添付資料 2] 譚・仁科 (2003) のノダの分類	2
[添付資料 3] BTSJ による基本的な文字化の原則	3
[添付資料 4] 日本語母語話者と JFL 学習者の雑談	4
[添付資料 5] 日本語母語話者と JSL 学習者の雑談	18
[添付資料 6] 第 8 章の質問紙	35
[添付資料 7] 調査同意書の様式	40
[添付資料 8] ロールプレイ課題の詳細	41
[添付資料 9] 第 8 章の調査協力者の詳細情報	42

第1章 序章

第1節 問題提起

ノダは日本語母語話者の談話に頻出する表現の1つである。本論文では文末の「の」「のだ」「んだ」「のです」「んです」などの形式をノダと呼ぶ。

ノダの接続は単純であり、形容詞と動詞の場合は「暑いんです」「できるんだ」といった形で、名詞と形容動詞の場合は「明日なんです」「有名なの」といった形でノダを付加させるだけである。

ノダは日本語学習の早い段階で導入される。例えば、日本で外国語人に日本語を教えるためによく使用される教科書『みんなの日本語』では初級の52課のうち、第26課で導入されている。

ところが、ノダは学習者にとって習得の難しい文法項目の1つでもある。市川（1997）が挙げている（1）のように何かを説明したいと思われる場合の誤用や、（2）のように意志を表明したいと思われる場合の非用がしばしば見られる。

- （1）（自己紹介で）私は中国の黒龍江省齊々〇〇市から来たのです（→来ました¹）。

（市川 1997：88、下線は筆者による）

- （2）もう一つは私の趣味は文学と小説を読みすきです。日本語の小説も読みたい
んです。（→読みたいです）（小金丸 1990：192）

さらに、ノダの誤用や非用によって聞き手に不快感を与える危険性もある。（3）はノダカラの使用によって非難のニュアンスが生じる例であり、（4）はノダを使っていないことによって相手にそっけなさを与える危険性がある例である。

- （3）（授業中に突然）先生、頭が痛いんですから（→痛いからです）、早く帰ってもいいですか。（ベトナム語母語学習者の実例）

- （4）母語話者：実は、私、来週結婚するんです。

学習者：あ、そうですか（→そうなんですか）。おめでとうございます。

（作例）

学習者のノダの習得における問題点を指摘している小金丸（1990）は、準体助詞と代名助詞に関するノダの誤用、感情・意志を表現する文におけるノダの誤用、ノダカラの不適切な使用などを取り上げ、ノダの使用における注意点をまとめている。小金丸（1990）が

¹ （1）の括弧の中の太字は市川（1997）による修正である。（2）～（5）にも、より自然と考えられる形を括弧内に示す。

挙げている準体助詞のノダの誤用は (1)、感情・意志を表現する文における不自然なノダは (2)、ノダカラの誤用は (3) に対応している。

しかし、学習者の習得の問題点を列挙するだけでは不十分である。学習者がノダをどのような時に使用するか、どのような時に使用しないかといった使用規則を把握することが、第二言語習得分野においては重要である。Selinker (1972) によると、学習者がある言語を学習する際に「目標言語とも母語とも異なった学習者特有の言語体系」(p.213) が存在するという。学習者の誤用から見出せるのは日本語の規則と異なる部分に過ぎず、学習者特有の言語体系全体ではない。

また、ノダの指導法を提案している菊地 (2000) は、学習者のノダは誤用よりも非用のほうが問題であると指摘している。ノダの習得において誤用と非用のどちらが大きな問題であるかを明らかにするためにも、学習者の全発話を対象に誤用や非用の実態を調査しなければならない。

そこで本論文は、全発話を調査対象にノダの不自然な使用である「誤用」、自然に使われた「正用」、使わないことで不自然になっている「非用」、使っていないが不自然ではない「不使用」から学習者のノダの使用傾向の全体像を明らかにする。

全発話からノダの使用傾向を観察する際に、前後条件の観点を取り入れる。野田 (2001) は学習者の文法習得の難易度について仮説を立てている。そのうちの 1 つとして、「ある」と「いる」のような前の要素（この場合、存在の主体）によって決まる文法の習得はやさしく、「に」と「で」のような後の要素（この場合、述語）によって決まる文法習得の習得は難しいという前後条件の仮説がある。野田 (2001) は異なる文法項目で比較しているが、導入順序などほかの要因を排除するためには、前と後の両方に関係する 1 つの文法項目を用いて検討する必要がある。ノダは前後の文脈との関わりを示す性質があり、前の文脈に注意を向ける場合と、後ろの文脈に注意を向ける場合とで習得の難易度が異なる可能性が考えられる。そこで、本論文では前後条件がノダの習得に影響を及ぼすかどうかを明らかにするために、ノダを〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉に分類して調査を行う。

また、学習者のノダの使用と学習環境および日本語の習熟度との関係も明らかにする。まず、学習環境については、二者択一テストを用いた趙 (2008b) によると、日本在住の学習者のノダの習得は海外で日本語を外国語として勉強する学習者より進んでいるという。つぎに、日本語の習熟度については、発話資料を分析した坪根 (2002、2004、2009) によると、学習者の日本語の習熟度が上がるに連れて正しく使用できるノダの用法が多くなる

という。本論文は〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の観点から、ノダの習得における、学習者の学習環境および日本語の習熟度の要因を検討する。

第2節 研究目的

本論文は談話展開の方向性を聞き手に示す〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の観点から以下の3つを目的とする。

- ① 母語話者のノダの使用傾向を明らかにする
- ② 学習者のノダの使用傾向が母語話者とどのように異なるかを明らかにすると同時に、学習者の学習環境によってどのように異なるかを明らかにする
- ③ 学習者の日本語の習熟度によってノダの使用傾向がどのように異なるかを明らかにする

第3節 本論文の構成

第2章以降の構成を述べる。

第2章では、ノダに関する先行研究と、日本語学習者の習得に関する先行研究を概観し、本論文の課題を述べる。

第3章では、本論文の研究方法を述べ、本論文において重要な概念の定義を述べる。

第4章では、既存の雑談資料を用いて、〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の観点から母語話者のノダの使用傾向を分析する。

第5章では、既存の雑談資料を用いて、〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の観点から学習者と母語話者の相違点、および学習者の学習環境による影響を分析する。

第6章では、既存のインタビュー資料を用いて、〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の観点から学習者の日本語の習熟度とノダの使用傾向との関係を分析する。

第7章では、既存のコーパスと雑談資料を用いて、不快感を与える危険性のあるノダの誤用と非用について分析する。

第8章では、本論文独自の調査を実施し、第4章から第7章で導き出された学習者のノダの使用規則、使用傾向と習熟度に関する仮説を検証する。

第9章では、本論文の結論をまとめる。

第2章 先行研究の概観と検討

第1節 文法・談話に関する先行研究

1. 1 ノダの意味・機能

ノダに関する先行研究は数多くある。本論文ではノダの基本的な意味・機能²に関する先行研究と、ノダが表す意味・機能を細分化した先行研究の2つに分類する。まず、ノダの基本的な意味・機能に関する先行研究として久野（1973）、奥田（1990）、田野村（1990）、野田（1997）、益岡（2007）が挙げられる。

久野（1973）はノダの意味・機能を「説明」としている。

「ノデス」は、話し手が先に言ったこと、したこと、あるいは話し手の状態（元気がないとか、外出の身仕度をしているとか）に対する説明を与える。話し手がこれから述べようとすることに対する説明を与えるという用法はない。（久野 1973:148）

次の（5）は久野（1973）が挙げている例である。「気分が悪かった」は「昨日休んでしまった」の説明であるという。

（5） 昨日休ンデシマイマシタ。気分が悪カッタノデス。（久野 1973:144）

しかし、「説明」はノダによって表されるのか、文の内容によって表されるのかについては議論の余地がある。奥田（1990）は、ノダには説明する文に用いられる場合と、説明される文に用いられる場合があるとし、以下のように述べている。

テキストがいくつかの文のつながりであるとすれば、《説明する》にしても《説明される》にしても、文という言語の形式から自由ではありえない。説明される出来事は、場面あるいはコンテキストのなかにあたえられていて、言語的な手段によって直接的に記述されていないこともあるが、ひろがりのあるテキストにおいては、ひとつ、あるいはいくつかの文のなかにそれがさしだされているのがふつうである。

（奥田 1990 : 177）

「説明」がノダの本質ではないことは、田野村（1990）も指摘している。田野村（1990）は文の意味のうちでノダの働きによるとは言えないものを、ノダ自体の意味・機能と認識するという誤りがしばしば見られると指摘しており、文の意味によって生じる「説明」とノダの意味・機能を区別している。同時に、ノダについて以下のように述べている。

あることがらを受けて、それはこういうことだ、その内実はこういうことだ、その

² 先行研究によって「意味」と呼ばれる場合と「機能」と呼ばれる場合があるが、ここでは区別をしていない。

背後にある事情はこういうことだ、といった気持ちで特定の命題を提出する。

(田野村 1990 : 36)

「あることがらを受けて」と述べられているように、ノダが使われた文は前の文脈や先行状況との間になんらかの関係性があると考えられる。

ノダの意味・機能をさらに分類している研究には野田 (1997) と益岡 (2007) がある。

野田 (1997) はノダの本質を名詞化ととらえ、ノダをスコープのノダとムードのノダに分けている。さらにムードのノダに関係づけのノダと非関係づけのノダがあると指摘している。関係づけのノダは田野村 (1990) のいう「あることがらを受け」たノダであり、非関係づけは「あることがらを受け」ていないノダだと考えられる。そして、関係づけと非関係づけの区別と交わる分類として対事的ノダと対人的ノダという分類を設けている。

関係づけの対人的ノダは、聞き手は認識していないが話し手は認識している既定の事態を、状況や先行文脈の事情や意味として提示し、それを聞き手に認識させようという話し手の心的状態を表すという。いわゆる「説明」を表すノダはこれに当たる。以下は関係づけの対人的ノダの例である。

(6) 「咲かないよ、旅行に行ったんだ。」 (野田 1997 : 92)

非関係づけの対人的ノダは、聞き手は認識していないが話し手は認識している既定の事態を、認識させようという話の心的態度を表すという。告白や強調などのニュアンスも帯びることが多いと述べられている。

(7) 「あのね、さっき道を聞かれたの。それで、教えてあげたら、すごく丁寧にお礼言われたの。嬉しかったなあ。」 (野田 1997 : 101)

益岡 (2007) はスコープのノダを二次的な問題として捉えている点においては野田 (1997) とは異なるが、「事情説明」「帰結説明」は野田 (1997) の関係づけのノダに、「実情説明」「当為内容の説明」は野田 (1997) の非関係づけのノダに対応している。野田 (1997) と益岡 (2007) の対応関係については、詳しくは第 3 章第 2 節で述べる。

つぎに、文によってノダが表す意味・機能を細分化した先行研究には、吉田 (1988)、奥田 (1990)、国広 (1992) などがある。

吉田 (1988) は聞き手に情報を提示する場合を《告白》《教示》《強調》、話し手が受けとめる場合を《発見》《再認識》《確認》に分類している。そのほか、実現すべきことを聞き手に示す場合を《決意》《命令》、二句一文の場合を《換言》、特殊なものを《整調》《客体化》に分類している。

奥田（1990）は《説明の文》のノダによる論理的なむすびつきの体系として「原因」「理由」「動機」「源泉」「判断の根拠」「具体化・精密化・いいかえ」「思考の対象的な内容」「意義づけ」を挙げている。《説明されの文》には「結果（原因の）」「結果（理由の）」「発見的な判断」「必然の判断」「評価的な判断」「一般化の判断」があると述べている。

国広（1992）はノダの意味・機能は「説明」だけでは不十分だと指摘し、「説明」を含めた18種類を挙げている。「説明、習慣・風習、予定、予測、決心、一般的真理、真理・正解の発見、納得・あきらめ、確認、強調・決心の再説、柔らかい断り、難詰、助言、命令、完了、回顧、行動予定（＝相手の情報不足の指摘）、前々からの事実」である。

吉田（1988）、奥田（1990）、国広（1992）の記述から、文脈によってノダはさまざまな働きを果たしていることがわかる。このような分類を援用して選択肢問題で学習者のノダの習得を測定する研究が大場（1995）を始めとして多数見られる。しかし、こういった分類を用いた習得研究は、学習者のノダの習得状況を把握することはできるが、習得に難易度の差が見られる原因を究明することは難しい。つまり、分類によってノダの習得の度合いが異なることがわかったとしても、ある分類に属しているノダの習得がなぜ難しいかの説明は難しいという問題点がある。

本論文はノダの習得を文脈に対する学習者の注意の向け方の面から分析するため、ノダが用いられた文と前後の文脈との関係といった観点が重要である。そこで、関係づけのノダと非関係づけのノダについて述べている野田（1997）、およびそれと対応している益岡（2007）の分類を参考にする。

1. 2 文法項目の談話における機能

文法項目の談話における機能に関する先行研究を、ノダの談話における機能に関する研究と、ノダ以外の文法項目の談話における機能に関する研究に分ける。まず、ノダの談話における機能に関する先行研究としては、奥田（1990）、名嶋（2007）、野田（2012）が挙げられる。

奥田（1990）は、ノダが伴う文には《場面きりかえ的な機能》があると述べている。(8)は奥田（1990）が挙げている例文の一部である。

- (8) （前略）五年たち、十年たっても、彼からの便りはなかった。空襲でしんだのかもしれないと、彼女は思い、彼のために位牌さえつくった。そして、十三年目に、彼女は旭川にかい物にでたとき、ぱったりと昔の恋人にめぐりあったの

だ。彼女はよろこびのあまり、彼の名をよんだ。彼はふりかえった。が、三十すぎた彼女の顔を彼はふしぎそうに見かえした。彼女は息をはずませて、自分の名をいった。彼はすぐに思いださなかった。村の名をいったときに、彼はやっととなつかしそうな笑顔になった。(後略)

(奥田 1990 : 207-208、下線は筆者による)

名嶋 (2007) は関連性理論によってノダの機能を分析し、これまでの研究で細分化された分類や、野田 (1997) のいう関係づけのノダと非関係づけのノダを含めて考察している。そして、ノダは発話内容と状況や文脈との関連性を見込みを聞き手に提示する機能を果たしていると結論付けている。

また、名嶋 (2007) は、場面転換時にノダが用いられることについても言及している。「段落の切り替えが行われ、その段落の始まりに、前段落の内容を受けていない形でノダ文が用いられると「一方的提示のノダ文」になりやすい」(p.245) と述べている。また、「場面転換時にノダ文が用いられる場合、聞き手が状況との関連が見出せない」ため、「当該命題を『聞き手側から見た解釈として』そのまま受け入れてほしい」という話し手の伝達態度に関連性を見出すことが起こりうる」(pp.245-246) と指摘している。この種のノダは奥田 (1990) の《場面きりかえ的な機能》と共通していると考えられる。

野田 (2012) は、非関係づけの対人的ノダについて、以下のように述べている。

「聞き手の知らないところですので定まっている」ということをわざわざ表現しなくてもいいような場面でノダが用いられると、そのことがさも重要なこと、聞き手が認識すべきことであるかのような示し方になる。その話題について話し手が話し続けることを予想させたり、場合によっては一方的な押し付けがましさを感じさせたりするのは、そのためであろう。

(野田 2012 : 154)

奥田 (1990)、名嶋 (2007)、野田 (2012) が指摘しているように、談話においてノダは、そのあと話し手が話し続けることを予想させる機能があると考えられる。これは、特に場面転換時などに、ノダを用いなくてもいいような場面に使用することによって生じる機能である。

つまり、ノダは談話において、前を受ける機能と、後続の発話を予想させる機能があると考えられる。具体的な分類と例については、第3章第3節〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の分類で述べる。

つぎに、ノダ以外の文法項目の談話における機能を分析している先行研究のうち、本論

文に関するものとして、永田（2001）を挙げる。

永田（2001）は日本語母語話者の自由談話を用いてケドの談話における機能を分析している。談話をトピックごとに分け、それぞれのトピックの「開始位置」「主要位置」「終結位置」にケドがどのくらい用いられるかを用法ごとに考察している。その結果、以下の 3 点が指摘されている。

- 1) 文脈上呼び出し可能性が高められている想定が棄却されるという特徴を持つ逆接用法と対比用法はトピックの開始に関わる部分には見られない。
- 2) 当該文脈で述べた場合に生じるのであろう想定を抑制する前置き用法や提題用法はトピックの開始に関わる部分に見られる。提題用法の場合には抑制される想定がトピックに特定されているという特徴から、出現位置が限定されている。
- 3) ケド節が独立的に用いられる挿入用法と終助詞用法はトピックの開始位置にはほとんど見られない。

永田（2001）はケドの談話における出現位置と用法の関連性、および談話展開上の機能を論じている。本論文は永田（2001）のトピック構造を援用し、ノダの分類を行ったうえで、談話における機能を検討する。

第 2 節 日本語学習者の習得に関する先行研究

2. 1 ノダに関する習得研究

日本語学習者のノダの習得に関する先行研究としては、大場（1995）、譚・仁科（2003）、趙（2008b）、坪根（2002、2004、2009）などが挙げられる。

大場（1995）は、ノダを「のだ」と「のか」に分け、さらに使用しなければならない条件と使用できない条件に基づき、それぞれの用法を分類している。その分類に基づいたテストを用い、文法正誤調査を行っている。対象者は日本語能力試験 1 級合格者と受験者計 57 名（韓国 22 名、中国 26 名、その他 9 名）、及び日本語母語話者 57 名である。その結果、日本語学習者は「のだ」を使わなくてはいけない、または使ってはいけないとは理解しておらず、使わないほうがいい、または使ったほうがいいというように理解していると指摘している。また、「のだ」の使用条件では、「因果関係」、「判断、要求、勧誘、ことわり等とその根拠」、「実情説明、言い換え」、「本来述べたいことがあることを暗示する」の順に習得しやすいと述べている。大場（1995）のノダの分類は論文末の〔添付資料 1〕に示す。

大場（1995）は、「のだ」の非使用条件についての言及がない、日本語の習熟度による違いに言及していないという問題点はあるが、ノダの分類によって学習者の理解に差が見られることを明らかにしている点で意義がある。

譚・仁科（2003）は、国広（1992）、田野村（1990）、野田（1997）などのノダの分類、および小金丸（1990）などの日本語学習者のノダの誤用に関する先行研究に基づき、ノダの用法を分類して調査を行っている。調査の問題形式は2つに分かれている。1つは短い文脈の中でノダを使用するかどうかの二者択一の選択肢問題であり、もう1つは「わけだ」、「からだ」、「ものだ」、「ことだ」などを含めた選択肢の中から、妥当だと思うものを全て選び、順位をつけてもらう形式である。対象者は日本に在住する中国人日本語学習者であり、内訳は初級レベル12名、中上級レベル13名である。3級以下の学習者を初級レベル、1、2級合格者を中上級レベルとしている。調査の結果、「納得・発見」、前置き「のだが」、「のだから」のノダを使用すべき用法を学習者がよく理解していること、「後悔」、「の（だろう）か」従属節などのノダを使用すべき用法については中上級でも習得が困難であることを指摘している。譚・仁科（2003）のノダの分類は〔添付資料2〕に示す。

譚・仁科（2003）の結果によると、大場（1995）の「因果関係」に当たると考えられる「説明」の正答率はそれほど高くなかったという。「説明」以上に、「納得・発見」、前置き「のだが」、「のだから」の習得のほうしやすいという。大場（1995）と譚・仁科（2003）のように、ノダの各用法の習得しやすさについてはテスト方法や用法分類によって異なる結果が出ている。

趙（2008b）は中国の大学に在籍する日本語学習者100名を対象にSPOT³で日本語レベルを中級と上級に分け、ノダを使用しなくてはならない条件と使用できない条件を合わせた12の条件で二者選択テストを実施している。12条件の用法分類は大場（1995）と共通しているところがあるが、使用と不使用の両方に注目している点では大場（1995）と異なる。趙（2008b）の結果を表1にまとめる。

趙（2008b）は、用法によって正答率に差があること、日本語能力レベルが上がるにつれ、習得が順調に進む用法とまったく習得が進まない用法があることを明らかにしている。また、全体的に非使用条件に対する理解度が低いと指摘している。趙（2008b）のノダの

³ SPOT（Simple Performance-oriented Test）は筑波大学で開発された日本語能力を測定するテストである。1文中の文法項目の1箇所をひらがな1字分欠落させた問題文を示し、1文を読み上げる音声テープを聞きながら穴埋めさせる形式である。学習者の即時的処理能力を含めた日本語能力を総合的に測定できると考えられる。現在のSPOT90の古いバージョンである。

分類は表 1 に示す。

表 1 趙 (2008b) の結果のまとめ

中級と 上級の差	全体の 正答率	使用・ 非使用条件	分類
無	高	使用条件	前言や前提の原因・理由・根拠
			言い換えや論理的帰結
			本来述べたいことがあることを暗示・告白
			感心・驚き・疑念・非難などの質問文
有		使用条件	前言や前提についての実情説明
			想起・感嘆
無	低	非使用条件	客観的な情報伝達
		使用条件	当為表現
		非使用条件	発話時にはまだ既定でないことがら
			情報が既に共有されている場合
			答えがまだ定まっていないと捉える疑問文
			有

しかし、表 1 の太枠で示しているように、正答率の高い用法は「客観的な情報伝達」を除いてすべてノダを使うべき用法であり、正答率の低い用法は「当為表現」を除いてすべてノダを使うべきではない用法であった。つまり、学習者の日本語の習熟度によって差は見られるが、全体的な傾向として学習者はノダの使用を選択するという結果になっていると解釈できる。

大場 (1995)、譚・仁科 (2003)、趙 (2008b) は、それぞれの用法分類に基づいてテストを実施し、用法間の正答率における違いを検討してきた。しかし、いずれの研究もテスト調査を行う前に仮説を立てておらず、用法間の正答率が何を意味するのかについての議論は不十分である。そこで、本論文はまず発話資料からノダの使用傾向を分析し、ノダの文脈との関わり方の観点から学習者の注意の向け方についての仮説を立てる。最後に仮説を検証するために独自の調査を行うというアプローチをとる。

仮説を立てるために発話資料を用いて母語話者と学習者のノダの使用を分析する。発話資料を用いたノダの習得に関する先行研究として、坪根 (2002、2004、2009) を挙げる。

坪根（2002、2004、2009）は KY コーパス⁴を材料として学習者のノダの用法別の使用開始時期と正用開始時期を横断的に調査し、坪根（2002）は韓国語話者、坪根（2004）は英語話者、坪根（2009）は中国語話者の調査結果を示している。さらに、坪根（2009）は正用状況の全般的な結果として、「のだ」（説明告白、説明教示）は中級、「のだが」（前置き、言いさし、逆接）は上級、「のか」（説明求め）、「というの」（一般化）、「のではないか」（推測、意思・主張）は超級までに多くの学習者に正用が見られるようになると述べている。また、中国語話者は他の 2 つの母語話者と比べて正用が進む用法が少なく、正しく用いられる用法の範囲が狭いことを指摘している。

坪根（2002、2004、2009）の一連の研究は、実際の発話データから学習者のノダの使用を観察し、KY コーパスのレベル判定結果を利用してどの用法から使用・正用が始まるか、また習得した用法がどのように広がっていくかを明らかにしている。習得研究として重要な研究であるが、問題点が 3 つ挙げられる。

坪根（2002、2004、2009）の第 1 の問題点として、学習者のノダの使用規則に言及していないことが挙げられる。ノダの研究を概観している白岩（2011）は、学習者がどのように誤って理解しているのかについては、議論の余地があると指摘している。例えば、「学習者が「強調」の表現として理解しているという説明については、その「強調」が具体的にどのようなモダリティ的意味と関わった概念であるのか、考える必要が出て来る」(p.79)と述べている。ノダの誤用や早い時期に産出されたノダを分析して学習者のノダの使用規則を明らかにすることは、学習者のノダの使用を考察するための前提にすべきことだと考える。そのため、本論文は学習者が早い時期に産出したノダを用いて、学習者のノダの使用規則の一部を明らかにする。

坪根（2002、2004、2009）の第 2 の問題点として、学習者がノダを使用していない文についての考察が不十分なことが挙げられる。先に使用できるようになったノダがどういうノダであるかは大切であるが、同じ種類のノダの使用や正用が多くても、非用も多ければ、習得とは言い難い。坪根（2002、2004、2009）は学習者の正用と誤用に着目しており、趙（2008b）の結果は全体的に非使用条件に対する理解度が低いことを示している。このように、習得研究ではノダが使用された文を対象としている一方、ノダの教え方について論じている菊地（2007）は、誤用より非用のほうが問題となると述べている。そこで、本

⁴ KY コーパスはインタビュー形式の学習者の発話資料である。詳しくは、第 6 章第 1 節「インタビュー資料の概要」で紹介する。

論文は全発話を分析対象とすることによって、学習者の誤用、正用、非用および自然な不使用からノダの習得の全体像を明らかにする。

坪根（2002、2004、2009）の第3の問題点として、言語資料がインタビュー形式であり、学習者は基本的に会話の主導権を握ることができず、質問に答える立場であることが挙げられる。インタビュー形式のデータから導き出した結果がどのくらい一般化できるかは疑問である。少なくとも、使用傾向を調査する段階では、日常の生活での談話場面に近い発話資料を用いるべきだと考える。

以上のような坪根（2002、2004、2009）の問題点を踏まえ、本論文は学習者のノダの使用傾向と使用規則を調査する。分析対象はノダの使用だけでなく、非用も含めた全発話である。発話資料については、まず学習者も主導権を握ることが可能である雑談資料を用いて母語話者と学習者の使用傾向を調査する。ただし、日本語の習熟度要因について分析する際には比較のため坪根（2002、2004、2009）と同じ発話資料を用いる。

学習者の発話資料を用いた研究には若生（2011）がある。若生（2011）は韓国人日本語学習者3名を対象に、経験談のインタビューを行っている。一人あたり10分程度のインタビュー資料の全発話を用いて品詞ごとのノダ使用率を示しており、談話の一部に集中・連続して「んです」の使用が見られるという指摘もなされている。ノダが集中・連続して現れる原因については、思考負担を減らすために動詞を名詞や形容詞と同じように「です」の形にしていると考察されている。

しかし、若生（2011）問題点の1つとして、母語話者にはノダを集中して使う現象がないかについては言及されていないことが挙げられる。もう1つの問題点として、談話が次々と展開されている中で、集中している学習者のノダは必ずしも誤用とは言えないことが挙げられる。母語話者と学習者のノダの使用を比較すること、使用されたノダが談話展開における機能を明らかにすることが必要である。第2章第1節に述べたように、本論文は〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉という分類により、母語話者と学習者のノダの談話展開における役割を明らかにする。

2. 2 ノダ以外の文法項目に関する習得研究

本論文はノダという文法項目を〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉に分けて習得状況を調査し、その結果を文脈への注意の向け方の観点から考察する。このように、文法項目の習得状況に関する結果を、認知面から裏付ける研究は他にも挙げられる。その中で、発話資

料を扱っている先行研究として、峯（2007）、ニャンジャロンスック（2001）を紹介する。

峯（2007）は KY コーパスを用いて接続辞表現の習得を分析し、順接の「テ・カラ」は逆接の「ケド・ガ」より習得が進んでいると指摘している。その原因を、順接は逆接より思考負担度が低いためだとしている。ニャンジャロンスック（2001）は KY コーパスを用いて「ト・バ・タラ・ナラ」の習得を分析し、反事実の用法は仮説の用法より習得が困難だとしている。反事実の用法を産出するには想像力が必要であり、目標言語能力が未発達な学習者にとっては負担度が高いためであると指摘している。

Takano & Noda（1995）は外国語を使用する際の思考力に関して調査をしている。不慣れな外国語を使用している際に、思考力が一時的に低下する現象があるという。その現象を「foreign language side effect（外国語副作用）」と呼んでいる。

峯（2007）とニャンジャロンスック（2001）の示した研究結果は、Takano & Noda（1995）のいう外国語副作用が文法習得に影響した例だと考えられる。その外国語副作用により、学習者の処理資源が不足となるため、思考負担度の低い文法項目と高い文法項目の間に習得の差が見られたものと考えられる。

一方、検証されていない仮説もある。Ellis（1994）は中間言語の *systematic variation*（組織的な多様性）と *free variation*（組織的でない多様性）について述べており、*systematic variation* は言語環境や文脈、また注意の向けられ方などの違いによって規則性をもつと指摘しているが、十分な検証は行われていない。

第1章第1節でもふれたように、野田（2001）は共起表現の習得について前後条件という仮説を立てている。「問題の文法項目がそれより前にある要素との共起関係で決まる対立は習得がやさしく、後に来る要素との共起関係で決まる対立は習得が難しいというものである」（p. 114）という。例えば、主格名詞の種類による「ある」と「いる」の使い分けは比較的やさしいという例や、後に出てくる動詞の種類によって決まる場所を表す「に」と「で」の使い分けは比較的難しいという例を挙げている。

しかし、野田（2001）の前後条件の仮説および例は検証が困難なものである。なぜかというと、「ある」と「いる」、「に」と「で」の使い分けの難易度を決めるのには、さまざまな要因が関係しているためである。例えば、動詞と助詞という違い、文末と文中という違い、導入順序の違いなどが考えられる。単に異なる2つの文法項目の正用率を比較したこととで、仮説が検証されたとはいえない。

そこで、本論文はノダという 1 つの文法項目を、前文脈と関わる〈承前のノダ〉と後文脈と関わる〈後続のノダ〉に分け、どちらが先に習得されるかを調査する。学習者の注意は前文脈と後文脈のどちらに向けられやすいかを明らかにすることにより、Ellis (1994) のいう注意の向けられ方の違いによる中間言語の規則性、および野田 (2001) のいう前後条件の仮説を検討する。

第 3 節 本論文の課題

先行研究を踏まえ、本論文は文脈への注意の向け方という観点から日本語母語話者と学習者のノダの使用の相違点を調査する。具体的には以下の課題を設定する。

- ① 母語話者の使用傾向：雑談形式の発話資料を用いて、〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の使用状況を調査する。(第 4 章)
- ② 学習者の使用傾向：雑談形式の発話資料を用いて、学習者の〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の使用状況を母語話者と比較する。(第 5 章)
- ③ 学習者の学習環境要因：雑談形式の発話資料を用いて、中国在住の学習者と日本在住の学習者の〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉におけるノダの使用状況を比較する(第 5 章)
- ④ 学習者の習熟度要因：学習者の習熟度情報のあるインタビュー形式の発話資料を用いて、学習者の〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉使用傾向と日本語の習熟度の関係を調査する。(第 6 章)
- ⑤ 学習者の使用規則：学習者の習熟度情報のあるインタビュー形式の発話資料を用いて、学習者のノダの誤用と初出のノダから学習者の使用規則を調査する。(第 6 章)
- ⑥ 聞き手に不快感を与える危険性のあるノダの誤用と非用：学習者の発話でノダの誤用または非用によって聞き手に不快感を与える危険性のある形式を取り上げ、日本語母語話者の使用規則を調査する。(第 7 章)
- ⑦ 産出課題と理解課題による検証：発話資料から得た母語話者と学習者のノダの使用に関する結果(①～⑥の結果)を、インタビュー形式の習熟度判定テストと産出課題と理解課題によって検証する。(第 8 章)

分析の際に必要な発話単位の認定、〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の分類、トピック構造の分類、発話機能の分類については次章で述べる。

第3章 本論文の研究方法

第1節 ノダの使用率算出の方法

本論文の調査では、日本語母語話者と学習者のノダの使用と不使用を含む全発話を分析対象として、ノダの使用率を算出する。まず調査対象とする発話の単位について述べる。

本論文では、完結文だけでなく、完結文に近い従属節も1つの発話単位と見なす。発話単位と見なす従属節の認定は日本語記述文法研究会編（2008）の「従属度の低い従属節」（p.10）に従う。従属度の低い従属節とは、「主節に依存することなく、文と同様の要素を含むことができる節」であり、節内に主題や、さまざまなモダリティ形式が現れる。以下は日本語記述文法研究会編（2008）が挙げている例である。

- ・ 私の父は中国人ですから、私は中国語も話せます。
- ・ 仕事はたいへんですけれども、楽しんでやっています。
- ・ うちには犬もいますし、別荘には猫もいます。

（日本語記述文法研究会編 2008 : 10）

このようなノダの使用が可能な従属節を発話単位と見なす。

なお、本論文は「～んだろうと思う」「～のかと思った」などのような引用節内に現れるノダは基本的に対象としない。

第2節 トピック構造の分類

ノダがそれぞれ談話のどの位置に現れるかを見るために、トピック構造という概念を用いる。トピック構造の分類は永田（2001）を援用する。図1は永田（2001）のトピック構造の図である。

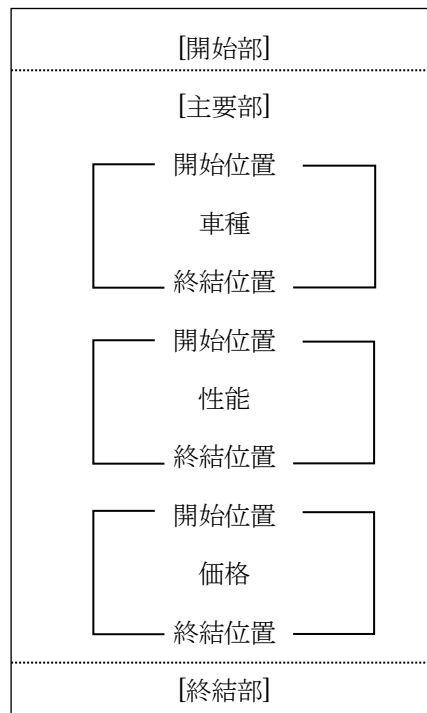


図1 永田（2001）の車販売談話のトピック構造

永田（2001）は「車の販売」というトピックを例として次のようにトピック構造を説明している。「車の販売」という大きなトピックが語られ、その大トピックはさらに「車種」、「車の性能（形、排気量、色など）」、「車の価格」といったそれに関連する小さなトピックから成っており、それぞれのトピックには開始、主要、終結に相当する部分が」（p.19）あるという。

永田（2001）はトピック構造からケドを分析し、言いさしのケドは開始部、主要部の開始位置、主要部の主要位置に現れるが、主要部の終結位置と終結部には現れないことを指摘している。言いさしのケドはトピックの展開において、提示された発話内容がその後のトピックとなることを明示する機能を持つと結論づけている。具体的には、主要部の中の開始位置に「車のメーカーはまだ決まってないんですけど」などの発話が見れるという。

「車種」や「性能」などの具体的な内容は主要位置となる。終結位置には「車種はこれにします」や「車種についてはもう少し考えさせてください」などの発話が見られるという。

本論文はノダの出現位置からノダの談話展開における機能を考察する。ただし、本論文の調査資料は雑談であるため、「車の販売」のような大きなトピックは存在しない。そのため、「開始部」と「開始位置」、「終結位置」と「終結部」を区別せず、それぞれの小さなト

ピックを「始まり」「途中」「終わり」の3つの構造に分ける。

第3節 〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の下位分類

〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の下位分類に関しては、第2章第1節「1.1 ノダの意味と機能」で挙げた野田（1997）と益岡（2007）を参考にする。表2は野田（2002）が整理した野田（1997）と益岡（2007）の対応表に、本論文の分類を加えたものである。

表2 先行研究と本論文のノダの用法分類

野田（1997）		益岡（2007）	本論文： ノダの分類	本論文： ノダの大分類
対人的関係づけ	事情の提示	事情説明	事情	承前のノダ
			帰結	
	意味の提示	帰結説明	換言	
	（事情の提示）	—	前置き	後続のノダ
対人的非関係づけ （既定の事態として提示）		実情説明	主題提起	
			話題継続	
		当為内容の説明	—	—

〈承前のノダ〉は、野田（1997）の関係づけの対人的ノダ（前置きを除く）、あるいは益岡（2007）の事情説明と帰結説明に当たるものである。このようなノダについて、田野村（1990）は「言語的な文脈に現れたことがらや会話の状況中の非言語的なことがらを受けたうえで発せられる」（p.9）と述べ、その性質を「承前性」と呼んでいる。そこで、本論文は前の文脈を受けている発話に用いられたノダを〈承前のノダ〉と呼ぶ。

本論文の分類では、次の（9）は〈事情〉、（10）は〈帰結〉、（11）は〈換言〉とする。（9）～（11）は既に提出した文との関係に注意を向けさせる役割を果たしていると考えられる〈承前のノダ〉である。

（9） 「咲かないよ、旅行に行ったんだ」 （野田 1997：95）

（10） 仕事が長引いてしまった。職場から直接来たから、スーツのままなんだ。
（作例）

（11） 新宿駅で降車し、南口の改札を抜けるところまで、二人の娘といっしょだっ

た。というより、二人があとを尾いてきたのだ。(野田 1997: 97)

本論文で〈後続のノダ〉と呼ぶのは野田 (1997) の対人的非関係づけのノダと前置きのノダ、あるいは益岡 (2007) の実情説明に当たる。後続発話の話題や展開の方向を示す発話に用いられるものである。

野田 (1997) は〈前置き〉を関係づけのノダに分類しているが、その後に言いたいことがくることを表すことができるため、本論文では話題の展開の方向性の観点から考え、〈後続のノダ〉に分類する。(12) は野田 (1997) が挙げている〈前置き〉のノダの例である。

- (12) 「そう。ねえ、わたし小花井村に行ってみたいんだけど、あなた、道を知らないかしら。教えてくれない？案内してくれてもいい。もちろん、お礼はちゃんとお支払いします」
(野田 1997: 96)

(13) は名嶋 (2007) が挙げている例であり、本論文では〈後続のノダ〉の〈主題提起〉に分類する。

- (13) 平介「どうだ、学校は」
直子「疲れるウ。周りは全部子供だし」
平介「そりゃそうだ」
直子「でも、不思議なんだア」
平介「何が」
直子「数学の授業とか全然ついていけないと思ったんだけど、当てられて前へ出たら、結構すらすら解けちゃってエ。」
(名嶋 2007: 246)

(13) は「でも、不思議なんだア」という発話の後に何が不思議なのかを説明していく例であり、〈主題提起〉を表す〈後続のノダ〉である。〈後続のノダ〉は後続発話に注意を向けさせる役割を果たしている。

〈後続のノダ〉の〈話題継続〉のノダは、野田 (1997) の対人的非関係づけのノダの一部である。ノダが使われた文が一文としては完結している点で〈前置き〉と異なり、中心的内容を表す文ではないという点で〈主題提起〉と異なる。〈話題継続〉のノダの例として (7) を再掲する。

- (14) 「あのね、さっき道を聞かれたの。それで、教えてあげたら、すごく丁寧にお礼言われたの。嬉しかったなあ。」
((7) の再掲)

〈話題継続〉のノダは間投助詞と共起することがある。伊豆原 (2008) は間投助詞の談話管理機能について分析している。(15) を間投助詞「ね」の例として挙げている。

(15) B1 :

宇都宮で主婦が近所の男に散弾銃で射殺された事件が発生しました。／／

{うん}

→②⑥この主婦は／事件の数年前から男に／嫌がらせを受けていたんですね。／／

{うん}

で男が銃の／所持許可を／も申請したときに／身元調査をした／警察署員も／許可にあたっては熟慮を要すると／二度に渡って報告をあげていたんですが／

{うん}

→②⑦結局銃の所持と言うのは許可されているんですね。／／

{なるほどね} (伊豆原 2008:80)

伊豆原 (2008) は間投助詞には「時間性」と関わる機能と、「聞き手に配慮」するための機能があるという。「時間性」と関わる機能とは、話者が発話の保持を図るために用いたり、話者交替の際に用いたり、聞き手の理解を確認するために用いたり、発話への引きこみを図る際に用いたりすることである。「聞き手に配慮」するための機能とは、正しく伝えようとしたり、わかりやすく伝えようとして言い直しや訂正をする際に、聞き手の注目を引こうとして使われるものであるという。「時間性」と関わる機能と「聞き手に配慮」するための機能のいずれも、「発話に注目させる注目標示機能」であるとしている。

本論文の〈話題継続〉のノダには間投助詞が伴うことが多く、聞き手を発話へ引き込み、後続発話に注目させる役割を果たしている。

なお、本論文のノダは、扱っている発話資料に現れたノダのみを対象としている。発話資料に現れなかったものもあるため、野田 (1997) の対事的ノダや益岡 (2007) の「当為内容の説明」などすべてのノダの用法を網羅しているわけではない。また、談話展開上〈承前のノダ〉とも〈後続のノダ〉とも捉えられるものを「判断不能」とする。(16) は「判断不能」の例である。

(16)

01 JFL 学習者：あ、それは、あの、授業が終わった時、その階段はとてもきつい
<笑い>。

02 母語話者 (対 JFL)：エレベーターなんですよ。

03 JFL 学習者：ぜんぜん、進行できないね。

04 母語話者 (対 JFL)：エレベーター乗れない。

05 JFL 学習者：<エレベーター>{<}⁵

06 母語話者(対 JFL)：<人が多すぎて>{>}。(139-9-NNSBM02-NSSM01⁶)

(16) の 02 で母語話者が「エレベーターなんですよ」と発話している。階段を利用する人が多いということの事情としてエレベーターに乘れないことを提示しているのなら、〈承前のノダ〉の〈事情〉に分類するが、エレベーターのほうが階段以上に人が多いという新しいトピックを提示しているのなら〈後続のノダ〉の〈主題提起〉に分類する。このような発話者の意図が読み取れない場合は「判断不能」とする。

第 4 節 発話機能の分類

第 3 節のノダの分類から見た学習者の使用傾向をもとに、学習者がどのような場面にノダを多く使用するかを分析するために、発話機能の分類を用いる。

小金丸(1990)は学習者が感情・意志を表明する際にノダの不適切な使用が見られると指摘している。一方、范(2012)は学習者の発話では、感情・意志にノダを多く使用するとは言えないことを指摘している。范(2012)は、①感情形容詞におけるノダの使用率と非感情形容詞におけるノダの使用率を比較した結果、感情形容詞においてノダをよく使用するとは言えないこと、②学習者が形容詞よりも動詞にノダをよく使用すること、③形容詞も動詞も過去形におけるノダの使用率が高いことを指摘している。感情・意志とそうではない発話における学習者のノダの使用の違いを分析するために、本論文では発話機能の分類の観点から発話を分類する。

筒井(2012)は、母語話者の雑談データを用いて発話機能の観点から発話の構造を分析し、発話連鎖を類型化している。本論文では筒井(2012)を参考にし、発話機能の分類を行った。筒井(2012)が<提供>としているものを、自ら提供する場合の<提供>と、相手の質問に答える場合の<回答>に分ける。本論文で扱う発話機能および本調査の資料に現れた例文を表 3 に示す。⁷

⁵ 記号の意味は[添付資料 3]に示す。

⁶ 本論文が扱う雑談資料のデータ番号である。

⁷ 発話機能の分類の例は[添付資料 4][添付資料 5]に示す。

表 3 発話機能の例文

発話機能	例文
<情報提供>	私は今台湾で日本語の教師をしているんですけど
<情報回答>	A: 「【学習者】姓」さんバイク乗れますか? B: 乗れます<笑い>
<体験提供>	この間、日本から友達が遊びに来たら、(はい) なんか歩くのが遅くなったって言われたんですよ
<体験回答>	A: じゃ、奥さんと、どのよう、どうやって出会ったんですか? B: まあ、あの、僕が日本で、(はい) 働き、まあ働き始めた時に、(はい) 同じ時期に、そのまあ、入社して、(はい) で、まあ、もうずっと友達で、(はい) でまあこっちに留学に来てから、まあ途中で結婚したんですけどね<笑い>
<意見提供>	ちょっと怖いですね<笑い>。
<意見回答>	A: 日本で、もし留学できたら、どんなこと勉強したいですか? B: うん、たぶん日本語教育（うんうんうん）だと思います。

本論文では情報、体験、意見について述べる場面における母語話者と学習者のノダの使用と不使用について検討する。

過去に自分が経験したことを自ら提供する、または相手の質問に回答する場合は<体験提供>または<体験回答>に該当する。感情や意志を自ら提供する、または相手の質問に回答する場合は<意見提供>または<意見回答>に該当する。体験・意見以外は情報を自ら提供する、または相手の質問に回答する場合は<情報提供>または<情報回答>に該当する。

第4章 雑談資料による母語話者のノダの使用傾向に対する分析

第1節 調査方法

本章では、『BTSJ による日本語話し言葉コーパス 2011 年版』⁸を用いて、日本語母語話者の使用傾向を調査する。

本章は雑談における母語話者のノダの使用を調査することが目的である。対象とする発話資料は会話グループ「9 台湾人学習者（上級）と日本人の初対面雑談」と「10 台湾人学習者（上級）と日本人の友人の雑談【音声】」であり、いずれも事前に話題を設定しない雑談資料である。前者は日本語母語話者と日本留学経験のない学習者（以下、JFL⁹学習者）の雑談資料であり、後者は日本語母語話者と日本留学経験 2 年以上の学習者（以下、JSL¹⁰学習者）の発話資料である。

「9 台湾人学習者（上級）と日本人の初対面雑談」と「10 台湾人学習者（上級）と日本人の友人の雑談【音声】」それぞれの雑談資料の 1 つを〔添付資料 4〕と〔添付資料 5〕に示す。

表 4 雑談資料の詳細

	9 台湾人学習者（上級）と 日本人の初対面雑談 (JFL)	10 台湾人学習者（上級）と 日本人の友人の雑談【音声】 (JSL)
学習者人数	6 名	10 名
日本人人数	5 名	10 名
会話数	12 会話	10 会話
一会話の平均時間	約 19 分 32 秒	約 17 分
会話者関係	初対面	友人同士
学習者背景	日本留学経験無 日本語能力検定試験一級取得	日本留学経験 2 年以上 日本語能力検定試験一級取得

⁸ 宇佐美まゆみ監修の話し言葉コーパスである。宇佐美まゆみ研究室のホームページ (<http://www.tufts.ac.jp/ts/personal/usamiken/index.htm>) から申請して利用する。調査対象とする発話資料の記号などの表記は「改訂版：基本的な文字化の原則（BTSJ: Basic Transcription System for Japanese）2011 年版」を基準としている。発話資料の記号の表記基準を〔添付資料 3〕に示す。

⁹ Japanese as Foreign Language の略。

¹⁰ Japanese as Second Language の略。

本章で母語話者の使用傾向を調査する際に、学習者との雑談資料を用いた理由は、次章で学習者の使用傾向と比較するためである。比較の際に発話相手との関係、性別、話題の統一を図るために、本章と次章は同じ発話資料を用いる。

分析方法の観点からは、①ノダの使用率、②トピック構造における使用傾向、③〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の使用傾向、④発話機能ごとの使用傾向の4つである。

データの整理と集計は表計算ソフト Microsoft Office Excel 2013 によって行われ、統計的分析は統計解析ソフトウェア IBM SPSS Statistics22 によって行われた。

第2節 分析結果と考察

2.1 母語話者のノダの使用率

全発話数はノダの付加が不可能な「ええ。」「なるほど。」などの発話を除いた数値である。全発話数におけるノダの使用率を表5に示す。発話数の集計には第3章第1節に示した発話単位を用いる。

表5 母語話者のノダの使用回数と使用率

	母語話者（対 JFL）		母語話者（対 JSL）		母語話者合計	
	回数	割合	回数	割合	回数	割合
ノダ有	371	16.6%	270	18.3%	641	17.2%
ノダ無	1870	83.4%	1206	81.7%	3075	82.8%
全発話数	2241	100.0%	1476	100.0%	3716	100.0%

χ^2 検定を行ったところ、母語話者（対 JFL）と母語話者（対 JSL）のノダ有の出現数とノダ無の出現数に有意な偏りは認められなかった($\chi^2(1)=1.763, n.s.$)。

つまり、相手が JSL 学習者でも JFL 学習者でも母語話者のノダの使用率は変わらないということである。そこで、両グループの母語話者のノダの使用回数および全発話数の合計から得られた 17.2%を、雑談における母語話者の標準的なノダの使用率と考える。

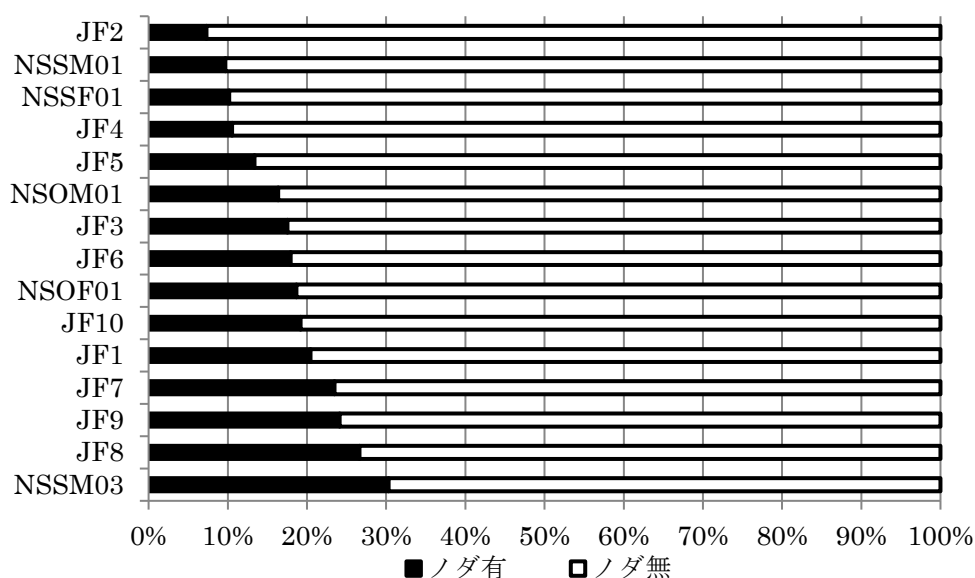


図2 母語話者のノダの使用傾向における個人差¹¹

図2では、母語話者のノダの使用率に多少の個人差が見られるが、ほとんどの母語話者のノダ使用率は10～30%の間にある。「NS」から始まる話者番号はJFL学習者と会話した母語話者であり、JFから始まる話者番号はJSL学習者と会話をした母語話者である。

2. 2 トピック構造における母語話者の使用傾向

第3章第2節に挙げた永田(2001)のトピック構造の分類における母語話者のノダの使用傾向を表6に示す。

表6 各トピック構造における母語話者のノダの使用率

	母語話者 (対 JFL 学習者)			母語話者 (対 JSL 学習者)		
	ノダ有	発話数	割合	ノダ有	発話数	割合
始まり	98	422	23.2%	79	317	24.9%
途中	324	2146	15.1%	290	1798	16.1%
終わり	12	157	7.6%	11	112	9.8%

¹¹ 話者番号は『BTSJ による日本語話し言葉コーパス 2011 年版』による。

表 6 から、いずれの母語話者グループも【途中】や【終わり】よりも【始まり】におけるノダの使用率が高いことがわかる。(17) は始まりに用いられるノダの例である。

(17) ¹²

01 学習者：あつ、最近水泳見てる?,世界水泳。 【始まり】

02 母語話者：見てない。

03 学習者：北島知ってる?。

04 母語話者：あ、に、世界新記録出した…。

05 学習者：そうそうそう。

06 母語話者：その人<は見てない>{<}。

07 学習者：<す>{>}ごーい。

08 母語話者：でもね、見てないんだよね、 【途中】

09 母語話者：シンクロは見てたんだけど。 【始まり】

10 学習者：あつ、シンクロもすごいよね。

11 母語話者：<うん>{<}。

12 学習者：<なんか>{>}チームのほうは、(うん)なんか金メダルだよね。【途中】

(147-10-TF06-JF06)

(17) では、09 で母語話者が水泳のトピックからシンクロという新しいトピックに変える際に「見てたんだけど」と発話してノダを使用している。母語話者は、このように、【始まり】にノダを使用して新しいトピックを提示することがある。

(18) も新しいトピックの【始まり】にノダが使用された例である。

¹² 実線はトピックの境目、点線は【始まり】【途中】【終わり】の境目を示す。

(18)

01 学習者：私は今の授業は#####、その他っていうのがあるんですけどー、

(中略)

02 学習者：でー、英語はひどい<笑いながら>。

(中略)

03 母語話者：そうですね、

04 母語話者：英語はねー、うん。 【終わり】

05 母語話者：英語も中国語も、日本人の私から見ると発音が難しいんですよね。

【始まり】

06 母語話者：うーん。

07 母語話者：日本語は発音は簡単ですよー。

08 学習者：簡単…。

09 母語話者：少ないからねー<笑い>、 【途中】

10 母語話者：そうですねー、

11 母語話者：うん。 【終わり】

12 学習者：でも敬語とか、難しい。 【始まり】 (130-9-NNSBF01-NSOF01)

(18) の 06 で、母語話者は学習者の成績のトピックから、日本人にとって英語と中国語の発音が難しいという新しいトピックに変える際に、「難しいんですよね」と発話してノダを使用している。(17) と同じく、【始まり】にノダを使用して新しいトピックを提示している。(17) と (18) のノダは本論文の〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉で考えると、後の文脈に繋がる〈後続のノダ〉に属する。

一方、(19) のように、トピックの【始まり】に使用されているが、前の文脈につながっているノダもある。

(19)

01 母語話者：(うん)なんか論文とか書くのが苦手っていうか,,

02 学習者：はー[↑]、<笑いながら>私も。

03 母語話者：あの、文字を書くことが苦痛なんだよね。 【始まり】

04 学習者：へー[↑]。

05 母語話者：そう。

06 母語話者：いま本当に、だって、言語情報なんかでしよう?、うちって。

07 学習者：ふーん。

08 母語話者：なんかあるまじきっていう…<笑い>。 【途中】

(149-10-TF08-JF08)

(19) は 03 で、母語話者が論文を書くのが苦痛という新しいトピックを始めている。新しいトピックの【始まり】に使用されたノダではある。しかし、トピックが発展したのは 04 の学習者の「へー[↑]」が原因であり、02 の発話自体は前の発話である 01 と繋がっている。論文を書くことの事情として文字を書くのが苦痛であるという情報を提示する〈承前のノダ〉(事情)である。

(17) (18) と (19) のように、トピックの【始まり】に現れるノダでも文脈への繋がりの方が異なることがある。前と後ろの文脈のつながりを見るという本論文の目的を達成するためには、トピック構造による分析だけでは不十分だと考えられる。そこで、2. 3 で〈承前のノダ〉〈後続のノダ〉、およびそれぞれの下位分類から母語話者のノダの使用傾向を調査する。

2. 3 〈承前のノダ〉〈後続のノダ〉における母語話者の使用傾向

日本語母語話者の使用したノダを〈承前のノダ〉〈後続のノダ〉に分類した結果を表 7 に示す。さらに、〈承前のノダ〉に 3 つの下位分類、〈後続のノダ〉に 3 つの下位分類を設ける。

表 7 母語話者の用法ごとのノダの使用回数

ノダの分類	承前				後続				その他					合計
下位分類	事情	帰結	換言	計	前置き	主題提起	話題継続	計	疑問の(か)	言いよどみ	相づち	判断不能	計	
母語話者 (対 JFL)	16	52	5	72	73	9	36	118	115	3	55	7	181	371
母語話者 (対 JSL)	9	29	10	48	46	20	29	95	76	0	51	0	127	270
合計	25	81	15	120	119	29	65	213	191	3	106	7	308	641

表 7 を見ると、日本語母語話者は〈承前のノダ〉(72 回、48 回) よりも、〈後続のノダ〉

(118回、95回)を多く使用している。〈承前のノダ〉の中では、〈帰結〉の使用が最も多い。〈後続のノダ〉の中では、〈前置き〉の使用が最も多く、その次は〈話題継続〉である。

まず、〈承前のノダ〉の中で使用が多かった〈帰結〉の例を(20)に挙げる。

(20)

01 母語話者：すごく私も不安なんだよね。

02 母語話者：古文みないなの読んでたから、

03 母語話者：私も分からないことすごくたくさんあって、

04 学習者：あー[↑]。

05 母語話者：だから「人名 4 姓」さんにしたら、“なんで日本人なのに分かんないの?”って絶対思ってそうなの。(147147-10-TF06-JF06)

(20) のような帰結を述べる際の〈帰結〉のノダは、母語話者の〈承前のノダ〉の中で最も使用回数が多い。

つぎに、〈後続のノダ〉の中で使用が多かった〈前置き〉と〈話題継続〉の例を挙げる。

(21) は前置きの例である。

(21)

01 母語話者：やっぱ、じゃ、将来は日本語の先生になりたいですか?。

02 学習者：ええ、なりたいですね<笑い>。

03 母語話者：そうですか[↓]。

04 母語話者：それは、台湾に帰ってきてからのことですか?。

05 学習者：はい、そうです。

06 母語話者：あ、そっかそっか=。

07 母語話者：=私は今台湾で日本語の教師をしているんですけど。

08 学習者：はい<笑い>。

09 母語話者：ええ、日本語を勉強している方‘かた’多いですよ。

10 学習者：うん、そう、そうですね<笑い>。(130-9-NNSBF01-NSOF01)

(21) の 07 の母語話者の「私は今台湾で日本語の教師をしているんですけど」は、09 の「日本語を勉強している方(が)多い」という内容の〈前置き〉である。

〈話題継続〉のノダの例を(22)に挙げる。

(22)

01 母語話者：学校の近くに、1 つ(うん)、なんか、みんながおいしいって言う

#####[料理名 01 中国語の発音]があつて(うん)。

02 母語話者：で、いつも(うん)、でも#####[料理名 01 中国語の発音]のお店は

隣同士で2つあるのね。

03 学習者：<笑い>。

04 母語話者：で、両方とも人がいつも多いの。

05 学習者：あー、そうですか。

06 母語話者：で、1 個のところに1 回入った、1 回入ったら(うん)、すごく、なんか、

日本人には合わなかつて,,

07 学習者：あー。

08 母語話者：すごいいっぱい、にんにく??(うん)、が入つてて(うん)、食べ切れん、

#####[中国語で意味説明すると思われる単語](あー)、食べ切れなかつた。

(133-9-NNSBF02-NSSF01)

(22) の 02 と 04 はいずれも〈話題継続〉のノダに当たる。母語話者は学校の近くの中華料理屋に行ったら料理が口に合わなかつたという体験を述べている。ノダが使われた 02 は店の場所の情報、04 は人気についての情報である。いずれも聞き手を発話へ引き込み、後続発話の「日本人には合わなかつて」に注目させる機能を果たしている。

2. 4 発話機能における母語話者の使用傾向

母語話者の発話を表 3 の発話機能ごとに分類し、ノダの使用傾向を表 8 に示す。

表 8 母語話者の発話機能ごとのノダの使用回数と使用率

		母語話者 (対 JFL)			母語話者 (対 JSL)		
		ノダ有	発話数	ノダの使用率	ノダ有	発話数	ノダの使用率
情報	提供	114	585	19.5%	85	466	18.2%
	要求	92	433	21.2%	57	203	28.1%
	回答	16	159	10.1%	7	119	5.9%
体験	提供	35	69	50.7%	24	71	33.8%
	要求	8	16	50.0%	3	18	16.7%
	回答	3	14	21.4%	1	8	12.5%
意見	提供	22	238	9.2%	24	214	11.2%
	要求	8	69	11.6%	0	11	0.0%
	回答	5	31	16.1%	1	20	5.0%

表 8 から、母語話者のノダの使用率が最も高いのは体験提供（50.7%、33.8%）であることがわかる。（23）は体験提供の例である。

(23)

01 学習者：あんまり、日本語は、(うん)使わないと(うん)、上達しにくいと思いますよ。

02 母語話者：本当にそうですね。

03 母語話者：私もこっちに来てから、(うん)中国語、最初中国語だけ勉強してたんですけど、

04 母語話者：(うん)日本語の先生を(うん)やるようになってから、日本語の授業は日本語でやるので、

05 母語話者：(はい)中国語はあまり話さなく<なってしまったんですよ>{<}<笑い>。

06 学習者：<あー、なるほどね>{>}。

07 母語話者：それで、これじゃだめだと思って、(うん)もう 1 回学校に、(うん)行くことにしたんですけど。 (132-9-NNSBF02-NSOF01)

(23) の 03、05、07 は中国語の勉強についての母語話者の体験談である。(21) のように母語話者は体験談を語る最中に連続してノダを使用することがある。

また、表 8 から、意見系におけるノダの使用率が情報系と体験系と比べて低いことがわかる。特に意見提供の発話数は体験提供より多いが、ノダの使用率が低い。例えば、(24) の 04 のように意見を提供する際に、母語話者はノダの使用が少ない。

(24)

01 母語話者：「【学習者】姓」さんバイク乗れますか?。

02 学習者：乗れます<笑い>。

03 母語話者：バイクは便利ですけど、

04 母語話者：ちょっと怖いですね<笑い>。

05 学習者：バイクで、(うん)学校通ってます。

06 母語話者：あ、そうですか[↓]。 (130-9-NNSBF01-NSOF01)

最後に、ノダの使用回数が最も多かった提供系の発話に使用されたノダを〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉に分類した結果を表 9 に示す。

表 9 から情報提供、体験提供、意見提供のいずれにおいても、〈承前のノダ〉では〈帰

結)、〈後続のノダ〉では〈前置き〉が最も多く使用されていることがわかる。

また、情報提供、体験提供、意見提供の中で、意見提供におけるノダの使用回数が最も少ないことがわかる。特に、母語話者（対 JFL）の意見提供には〈主題提起〉のノダの使用が見られなかった。

表 9 母語話者の提供系の発話におけるノダの使用回数

発話機能	ノダ大分類	ノダ下位分類	母語話者 (対 JFL)	母語話者 (対 JSL)
情報提供	承前	事情	9	6
		帰結	29	13
		換言	4	8
	後続	前置き	44	25
		主題提起	4	12
		話題継続	22	21
体験提供	承前	事情	1	0
		帰結	12	3
		換言	0	0
	後続	前置き	14	13
		主題提起	1	3
		話題継続	7	5
意見提供	承前	事情	2	1
		帰結	8	12
		換言	0	1
	後続	前置き	6	5
		主題提起	0	3
		話題継続	4	1

第 3 節 個別の考察

前節では母語話者のノダの使用傾向を分析した。そのうち、2 つの結果について本節で個別に考察する。1 つは典型的な用法である〈承前のノダ〉の母語話者の使用回数が〈後続のノダ〉より少なかったことである。もう 1 つは意見提供の際に〈主題提起〉が見られなかったことである。

まず、2.3 に示した、典型的な用法である〈承前のノダ〉よりも、〈後続のノダ〉のほうの使用回数が多かったという結果について考察する。

久野（1973）は話し手が先に言ったこと、したこと、あるいは話し手の状態に対する説明を与えることをノダの本質としている（p.148）。田野村（1990）はノダの基本的な意味・機能について以下のように述べている。

基本的な意味・機能と言えそうなものを求めていくと、次のようなところに行き着く。すなわち、あることがら α を受けて、 α とはこういうことだ、 α の内実はこういうことだ、 α の背後にある事情はこういうことだ、といった気持ちで命題 β を提出する、これが「 β のダ」という形の表現の基本的な機能であると言ってよい。

(田野村 1990 : 5)

久野(1973)と田野村(1990)からは、ノダの本質または基本的な意味・機能として先行文脈を踏まえた〈承前のノダ〉のほうが典型的だと考えられる。

しかし、雑談資料から母語話者の使用傾向を見た結果、〈承前のノダ〉よりも、〈後続のノダ〉のほうが多く使用されていることがわかった。典型的な用法である〈承前のノダ〉よりも、〈後続のノダ〉のほうが多く使用されていた原因は、雑談という談話の性質にあると考えられる。

先行研究が挙げている典型的な用法の例は、書き言葉、またはある目的をもって発話したものが多くある。そのような状況は雑談に頻繁には現れない。以下は先行研究が挙げている典型的な用法の例である。一部の下線は筆者による。

(25) きょうは休みます。体調が悪いんです。(田野村 1990 : 5)

(26) 私、明日は来ません。用事があるんです。

(日本語記述文法研究会編 2003 : 199)

(27) 杉山はしだいに卓治がくるのを煩わしく感じるようになった。そう思うのは彼が疎ましくなったのである。(益岡 2007 : 260)

(28) 「咲かないよ、旅行に行ったんだ。」(野田 1997 : 95)

(29) 私は国立大学を2つ受験した。当時は、一期校と二期校に分かれていたのだ。

(益岡 1991 : 143)

(25)～(29)のいずれも雑談に頻繁には現れないような文だと考えられる。(25)(26)は結果を先に伝えてから、ノダの文でその事情を述べる例である。雑談では結果を先に相手に伝えないといけないことは少ないため、「きのうは体調が悪くて休んじゃった。」や「明日は用事があって来られません。」のような順序で述べることが多いであろう。(27)は書き言葉である。(28)は「咲は旅行に行っているから、いないよ」、「咲かないよ、旅行に行ってる」「咲かないよ、旅行に行ったんだって」などと表現されうる。(29)は、「当時は、一期校と二期校に分かれていたのね。で、私は国立大学を2つ受験して……」のように、「2つ受験した」という情報を提示する前に背景を述べることが多いであろう。

(30) と (31) は実際の雑談に現れた母語話者の発話である。下線部の事情を先に述べてから結果を後で述べている。

(30) 母語話者 (対 JSL) : マヨネーズぐらいあるだろうと思って、マヨネーズは持っていかなかったわけ。 (148-10-TF07-JF07)

(31) あー、日本の学校は一(はい)、僕の学校は一(はい)、朝 9 時 20 分から始まって一(はい)、えー、1 時間が一(はい)、毎時限が一(はい)、90 分あるんですよ。それでも先生は 20 分遅れてきたり、10 分遅れてきたりして一、授業やるのは 1 時間か 1 時間ちょっとしかやらないんですよ。 (139-9-NNSBM02-NSSM01)

つまり、雑談では結論を先に述べてから事情を付け加えるよりも、事情を背景として先に述べてからことがらを述べるが多いため、典型的な用法である〈承前のノダ〉よりも〈後続のノダ〉の使用回数が多いのだと考えられる。

野田 (1997) は「命令や依頼などの場合には、まず、命令や依頼を行なう事情 Q を提示してから、P を示すという手順がとられることが少なくない。P で提示する依頼などが無理なく有効に実現するように、あらかじめ Q を示しておくという方法は、「Q のだ{が/けど}、P」といった、前置きの「のだが」を用いた文によく現れる」(p. 96) と述べている。例として以下の文を挙げている。

(32) 「小花井村に行ってみたいんです。場所を教えてくださいませんか。(後略)」
(野田 1997 : 96)

第 3 章で述べたように、(32) のような〈前置き〉のノダを野田 (1997) は関係づけのノダとしている。典型的なノダと考えられる〈前置き〉のノダは本論文では談話展開の方向性といった観点から考えるために〈後続のノダ〉に分類する。〈後続のノダ〉の使用回数が多かったという結果から、命令や依頼のみならず、雑談でも先に聞き手に事情を認識してもらうことがよくあるのだと考えられる。

雑談では、明確な会話の目的や目標が設定されておらず、話者同士で会話を継続させることが重要である。そのため、前のトピックの結束を示す発話が出現せず、新しいトピックが次々と現れることがある。このような会話の流れの中で事情や背景を説明する際に〈後続のノダ〉を使用して、続きの会話があることを相手に示す。その〈後続のノダ〉の使用によって、相手に聞き手になってもらい、自分の発話のターンを維持しているのだと考えられる。

(33) は母語話者が話の途中に〈後続のノダ〉を使って自分のターンを維持する例であ

る。下線部の3つとも〈後続のノダ〉である。

- (33) だからいきなりお流れになっちゃって(うん)、香港と澳門行けなくなっちゃって。(へえー。ふーん。)で、僕の昔の、日本の大学の時のクラスメートとか(ほお)先輩後輩って結構、中国に行く人がやっぱ多いんだよね。(うん。うん)で一、今8月も何人か行ってるし、9月も僕の親友が北京のほうにずっと(はあ)留学、いるので、で今回、あの一日本から一旦台湾に今いるでしょ?。日本に帰ってから、それからまた北京に行こうと思うとやっぱり、すごいめんどくさいんだよね。(＜んー＞{<}[小声で])。＜成田＞{>}空港に(うん)行ったりして、その前にビザを取って、中国に入るビザを取って(うん)=。=成田、家から成田ってすごい遠いんだよね。成田、国際空港ある####。(うんうんうんうん)で、そういうの考えて、このま、台湾から香港に行って,,ん、大丈夫?【学習者】がくしゃみをしたことに対して]。香港に行って、でそれで、もうそこですぐビザ下りるらしいんだ=。=中国に入っていける、(はあー)中国のビザね。

(141-9-NNSBM03-NSSM03)

先行研究との相違点の原因は雑談という資料の性質であると述べたが、むしろ本論文の雑談資料のほうが一般性を持っていると考えられる。均衡会話コーパスを作成するために調査を行っている小磯他(2016)によると、雑談は日常生活の発話の60%強を占めているという。本論文の雑談の中で〈後続のノダ〉が〈承前のノダ〉より多く使用されているという結果は、日常生活の中での母語話者の使用実態を反映していると言える。

つぎに、2.4に示した、意見提供の際に〈主題提起〉のノダの使用が見られなかったことについて考察する。特にJFL学習者と雑談を行った母語話者の発話において、意見を提供する際、〈主題提起〉の使用は見られなかった。その原因としては、会話相手との親疎関係が考えられる。母語話者と会話の相手は初対面であったため、親疎関係に配慮して自分の意見をトピックの冒頭に提供して話題にすることが少なかったのだと考えられる。

母語話者は会話の相手が初対面の場合、質問文を用いて話題を始めることが多かった。例えば、「えーと、どこの人も親切でした?」「でも、勉強は一…もうそろそろ論文を書くんだよね?」などである。意見提供は、会話相手が話した後に、相手の発話を締めくくる際に現れている。例えば、「それがとてもいいなあと思うんですね。」「多すぎるん(＜笑い＞)ですわ。」などである。

一方、友人の雑談では自ら意見を述べてトピックを始めている。例えば、「《沈黙2秒》私、台湾行きたいんだ。」「知り合いのホームページのおもしろいんだよ<笑い>。」などで

ある。

本節をまとめると、母語話者が雑談で多く使用しているノダは、自分の発話のターンを維持するための〈後続のノダ〉である。また、初対面の人との雑談においては、意見提供の際に〈主題提起〉のノダの使用が少ないことがわかった。

第4節 第4章のまとめ

本章は雑談資料を用いて母語話者のノダの使用傾向を分析した。その結果を以下にまとめる。

- ・ 雑談資料において母語話者は、先行研究で典型的とされてきたような〈承前のノダ〉よりも、〈後続のノダ〉の使用のほうが多い。
- ・ 雑談資料において母語話者は、〈承前のノダ〉の中では〈帰結〉の使用が最も多い。〈後続のノダ〉の中では、〈前置き〉の使用が最も多く、〈話題継続〉が続く。
- ・ 発話機能から見ると、母語話者の、意見提供の際のノダの使用率は、情報提供や体験提供と比べて少ない。

ただし、本章の結果は 15 名の母語話者の雑談資料から導いたものであり、個人差や話の内容に左右される可能性がある。そこで、第 8 章ではさらに多くの母語話者を対象に、話題の内容を統制した選択肢問題を用いて以下の仮説を検証する。

- ① 母語話者は〈承前のノダ〉より〈後続のノダ〉の場合にノダを選択する傾向がある。
- ② 母語話者は〈承前のノダ〉の中では〈帰結〉、〈後続のノダ〉の中では〈前置き〉と〈話題継続〉の場合にノダを選択する傾向がある。
- ③ 母語話者は意見提供の際には〈主題提起〉の場合のノダを選択しない傾向がある。

第5章 雑談資料による学習環境の異なる学習者のノダの使用傾向に対する分析

第1節 分析方法

本章では第4章と同じ資料を用いて、日本語学習者と母語話者のノダの使用の違いを比較する。次の表は発話資料の詳細を示した表4再掲である。

の

表10 雑談資料の詳細（表4の再掲）

	9 台湾人学習者（上級）と日本人の初対面雑談（JFL）	10 台湾人学習者（上級）と日本人の友人の雑談【音声】（JSL）
学習者人数	6 名	10 名
日本人人数	5 名	10 名
会話数	12 会話	10 会話
一会話の平均時間	約 19 分 32 秒	約 17 分
会話者関係	初対面	友人同士
学習者背景	日本留学経験無 日本語能力検定試験一級取得	日本留学経験 2 年以上 日本語能力検定試験一級取得

分析方法の観点は前章と同様、①ノダの使用率、②トピック構造における使用傾向、③〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の使用傾向、④各発話機能ごとの使用傾向の4つである。

データの整理と集計は表計算ソフト Microsoft Office Excel 2013 によって行われ、統計的分析は統計解析ソフトウェア IBM SPSS Statistics22 によって行われた。

第2節 分析結果と考察

2.1 学習者のノダの使用率

全発話数におけるノダの使用回数と使用率を表11に示す。JFL 学習者と JSL 学習者の全発話数は1430回と1432回であり、ほぼ同数である。

表11 学習者のノダの使用率

	JFL 学習者		JSL 学習者		母語話者	
	回数	割合	回数	割合	回数	割合
ノダ有	75	5.2%	177	12.4%	641	17.2%
ノダ無	1355	94.8%	1255	93.5%	3075	82.8%
全発話数	1430	100.0%	1432	100.0%	3716	100.0%

ノダの使用率を見ると、JFL 学習者はわずか 5.2%であるのに対し、JSL 学習者は 12.4%である。JSL 学習者でも、母語話者の 17.2%との間には差が見られるが、JFL 学習者に比べると母語話者に近い傾向を示している。

つまり、ノダの使用率から見ると JSL 学習者のノダの習得は JFL 学習者より進んでいると言える。

次に、学習者のノダに対する自然さ判定の結果を表 12 に示す。学習者のノダの正用と非用に対する自然さ判定は、協力者である日本語母語話者 5 名¹³によって行われた。ノダの使用に対して違和感を覚えた協力者が 5 名中 4 名以上の場合は誤用、2 名以下の場合は正用とする。ノダの不使用に対して違和感を覚えた協力者が 5 名中 4 名以上の場合は非用、2 名以下の場合は自然な不使用とする。違和感を覚えた協力者が 3 名の場合、1 名の判断結果によって結果が左右される可能性があるため、分析対象外とする。表 12 の太線内は分析対象を示す。

表 12 学習者の発話の自然さ判定結果

不自然と判断した 判定者人数		5 名 (不自然)	4 名 (不自然)	3 名	2 名 (自然)	1 名 (自然)	0 名 (自然)	計
ノダ有	JFL 学習者	1(誤)	1(誤)	4	11(正)	15(正)	43(正)	75
	JSL 学習者	0(誤)	1(誤)	5	8(正)	43(正)	120(正)	177
ノダ無	JFL 学習者	81(非)	98(非)	129	137(不)	243(不)	667(不)	1355
	JSL 学習者	11(非)	23(非)	63	109(不)	217(不)	832(不)	1255

※(誤)はノダの誤用、(正)はノダの正用、(非)はノダの非用、(不)はノダの自然な不使用の文の数を表す。

表 12 から以下のことがわかる。

- ・ 誤用：JFL 学習者のノダ有の 75 回のうち誤用は 2 回で約 2.7%、JSL 学習者のノダ有の 177 回のうち誤用は 1 回で約 0.6%である。
- ・ 正用：JFL 学習者のノダの正用は $11+15+43=69$ 回でノダ有の 75 回のうちの 92.0%、JSL 学習者の正用は $8+43+120=171$ 回でノダ有の 177 回のうちの約 96.6%である。
- ・ 非用：JFL 学習者のノダの非用は $81+98=179$ 回でノダ無の 1355 回のうちの約

¹³ 関西の大学に在籍し、日本語学を専攻としている学部 4 年生である。性別は女性 4 名と男性 1 名である。

13.2%、JSL 学習者の非用は $11+23=34$ 回でノダ無の 1255 回のうちの約 2.7% である。

- ・ 自然な不使用：JFL 学習者の不使用は $137+243+667=1047$ 回でノダ無の 1355 回のうちの約 77.3%、JSL 学習者の不使用は $109+217+832=1158$ 回でノダ無の 1255 回のうちの約 92.3% である。

上記の 4 つの結果を以下の図 3 と図 4 にまとめる。

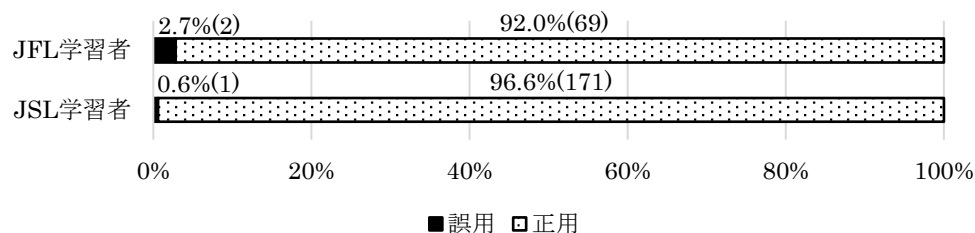


図 3 ノダ有の自然さ判定結果（割合）

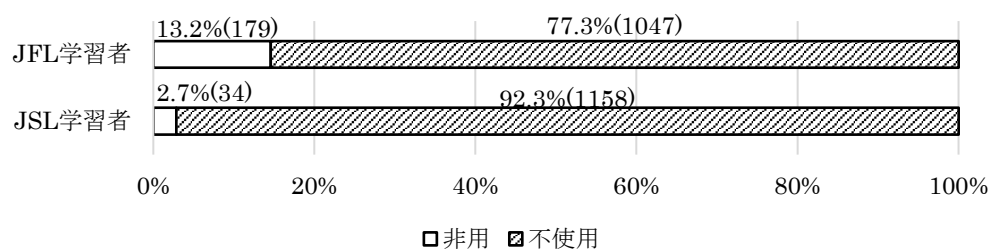


図 4 ノダ無の自然さ判定結果（割合）

図 3 と図 4 から、JSL 学習者は JFL 学習者と比べて、誤用と非用の割合が低く、正用と不使用の割合が高いことがわかる。つまり、全体の自然さ判定結果から見ても、JSL 学習者のノダの習得は JFL 学習者より進んでいると言える。

つぎに、話者別のノダの自然さを以下の図 5 と図 6 に示す。

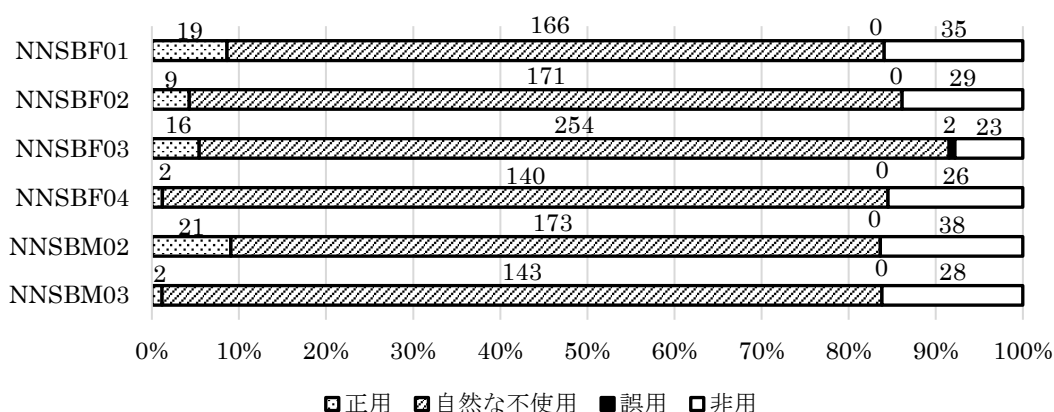


図5 JFL 学習者の話者別のノダの自然さ判定結果¹⁴

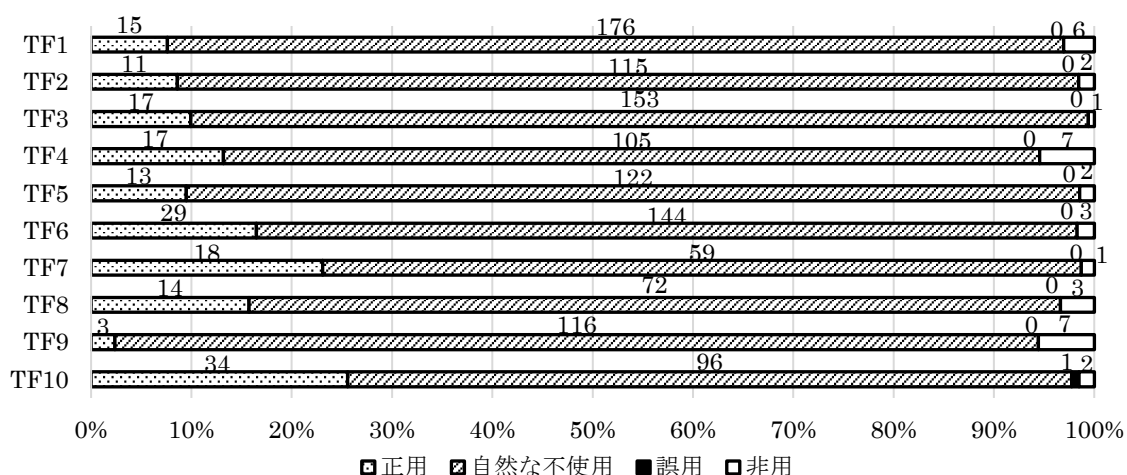


図6 JSL 学習者の話者別のノダの自然さ判定結果

図5と図6から以下のことがわかる。

- ・ いずれのJFL学習者のノダの正用率も10%~30%という母語話者の使用率に達していない。JSL学習者はTF1、TF2、TF9以外の話者は10%~30%に達しており、母語話者の使用率と同程度である。
- ・ JFL学習者の非用の割合はJSL学習者より高い。いずれのJFL学習者も正用より非用のほうが多い。

つまり、話者別の自然さ判定結果を見ると、多くのJSL学習者はJFL学習者よりノダの習得が進んでいると言える。

¹⁴ 話者番号は『BTSJによる日本語話し言葉コーパス2011年版』による。

さらに、両者の誤用の種類にも違いが見られた。JFL 学習者の誤用を (34) に示す。

(34)

01 母語話者：お金を稼ぐ (うんー) 子たちが多いんですけど (うん)、

02 母語話者：台湾の学生は、やっぱり (うんー) やっぱり勉強を先に?。

03 学習者：はい、もし必要だったら (うん) あの、バイトに。

04 母語話者：友達もバイトを…<する>{<}。

05 学習者：<あまりしない>{>}、

06 学習者：あ、する人も、<いるんです>{<}。(4/5) ¹⁵

07 母語話者：<あ、する>{>}、うんうん。

08 学習者：はい。(134-9-NNSBF03-NSOF01)

(34) では、学習者が 06 の直前の 05 で友達はアルバイトを「あまりしない」という情報を聞き手に与え、その修正として「あ、する人も、いる」という情報を提供している。自分が直前に与えた情報を修正する際に見られたノダの誤用である。母語話者の「友達もバイトを…する」という質問に対する単なる回答であるため、母語話者の判定では違和感があると判定されやすい。

もう 1 つの JFL 学習者の誤用は (35) である。

(35)

01 母語話者：焼き物が作れるの?。

02 学習者：はい、はい。

03 母語話者：面白いですねえ。

04 学習者：うん、面白いです。

05 母語話者：ほんとー?。

06 母語話者：あ、じゃあそれは全然作ったことがない人でも一、、

07 学習者：うん、<はいはい>{<}。

08 母語話者：<大丈夫…>{>}<なのかな>{<}。

09 学習者：<あの、先生が>{>}いるんだから=。(5/5)

10 母語話者：=あ一本当一。

11 学習者：うん。(134-9-NNSBF03-NSOF01)

(35) では、学習者が自分で焼き物が作れるという話である。09 の直前の母語話者の

¹⁵ 下線部の後の括弧は「(違和感があると判定した人数 / 判定者人数)」を表す。

「大丈夫…なのかな」という発話に対し、学習者が「先生がいるんだから（大丈夫です）」と答える例である。先生がいることを聞き手（(16 では）母語話者）が認識していないと思われる場面において、学習者がノダカラを使用してしまうと、聞き手が認識している、もしくは認識しているはずだというニュアンスが生じるため、聞き手に不快感を与える危険性がある。このような不快感を与える危険性のあるノダに対しては、母語話者は違和感があると判定しやすい。ノダカラについては、第7章第1節で詳しく論じる。

つぎに、JSL 学習者の誤用を (36) に示す。

(36)

01 母語話者：一応、でも韓国でも仏教が一番多い、ってなってるんだけど。

02 学習者：仏教が<一番>{<},,

03 母語話者：<仏>{>}教は,,

04 学習者：多いなの?,, (4/5)

05 母語話者：うん。

06 学習者：多いの?。

07 母語話者：仏教人数が一応多いって統計にはなっていて、だけど、すごく伝道が激しいから、

08 母語話者：(うん)キリスト教がすごく普及しているっていうふうにも見えるらしい。
(151-10-TF10-JF10)

(36) のように、JSL 学習者のノダの誤用はわずか1例で、「多いの」が「多いなの」になっているという形式的な間違いであった。さらに 06 で言い直している様子が見られた。JSL 学習者の誤用は発話からノダを使用すべきでないところにノダを使用したものではなく、形式的な言い間違いであった。この点において、JFL 学習者の (34) と (35) のような誤用とは質が異なると言える。

形式的な間違いは、JFL 学習者の発話にもノダの非用として現れた。

(37)

01 母語話者 (対 JFL)：ふーん、こっからだとー、電車で[↑]、行くの?[小声]。

02 学習者：うん、電車でも(うん)、行けるです。(5/5)

03 母語話者 (対 JFL)：ああ、ほんとー?。

04 学習者：うんうん。

05 母語話者 (対 JFL)：そうかそうかー、
(134-9-NNSBF03-NSOF01)

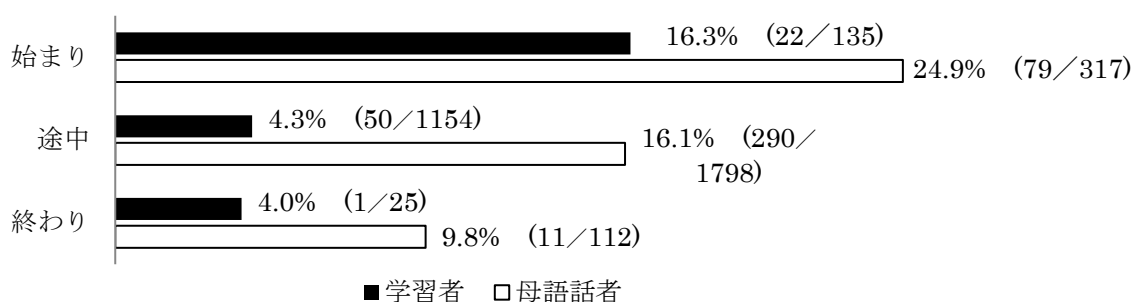
(37) の 02 は母語話者 5 名のうち 5 名とも「行けるんです」のほうが自然と判断した発話である。JSL 学習者の例 (38) と同じように形式的な間違いではあるが、(38) の JSL 学習者はノダを使用したうえでの形式的な間違いであり、学習者が自ら修正を行っている。それに対し、(37) の JFL 学習者はノダの使用ができなかった例であり、自ら修正されることもなかった。

つまり、誤用の種類から見ても、JSL 学習者は JFL 学習者より習得が進んでいると言える。

2.1 をまとめると、ノダの使用率、全体の自然さ判定の結果、話者別の自然さ判定の結果、誤用の傾向という 4 つの面から見て、JSL 学習者のノダの習得は JFL 学習者より進んでいると言える。

2. 2 トピック構造における学習者の使用傾向

前節に示したように、JSL 学習者より JFL 学習者のほうが母語話者との違いが大きい。そこで、トピック構造の観点から分析する際に、JFL 学習者と母語話者（対 JFL）を比較する。図 7 に、トピック構造の観点から見た JFL 学習者のノダの使用と、比較対象の母語話者（対 JFL）の使用を示す。



※括弧の中の数字は「ノダが使用された発話数／全発話数」を表す

図 7 JFL 学習者と母語話者（対 JFL）のトピック構造におけるノダの使用率

図 7 から、JFL 学習者も母語話者（対 JFL）もノダの使用率は「始まり」>「途中」>「終わり」の順であること、どのトピック構造においても JFL 学習者は母語話者（対 JFL）よりノダの使用率が低いことがわかる。中でも「途中」における JFL 学習者と母語話者

(対 JFL) の差が最も大きい。

しかし、本論文の雑談資料はトピック構造による分析することには適していないことがわかった。雑談であるため、トピック構造に分類することができない発話が多かったためである。JFL 学習者の 2241 回の発話のうち、扱えるのは 1341 回だけであった。トピック構造によって分析できるのは【始まり】【途中】【終わり】がそろった、またはそのうちの 2 つがそろった段落的に展開される発話である。しかし、本論文の雑談資料では単純な質問回答の場合や、【始まり】を提示したのにすぐ相手に関連の話題に転換されてしまう場合、そして新しい話題の途中で前の話題に戻る場合などが多いため、トピック構造の観点からの分析には限界がある。

そこで、次の 2. 3 では〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉というノダの分類の結果に基づいて考察を進める。

2. 3 〈承前のノダ〉〈後続のノダ〉における学習者の使用傾向

本節では第 3 章第 3 節で示した〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の分類を用いて分析する。ノダを使うべきでない文については、この分類は適用できないため、ノダを使用すべき発話のみを対象とする。即ち、母語話者の発話、学習者の正用、および学習者の非用を対象とする。

ノダの分類から見た JFL 学習者と JSL 学習者の正用と非用、および比較対象の母語話者 (対 JFL) と母語話者 (対 JSL) のノダの使用回数を表 13 に示す。

表 13 ノダの分類ごとの学習者のノダの正用数と非用数

		承前				後続				その他						
		事情	帰結	換言	計	前置き	主題提起	話題継続	計	音声不明瞭	疑問の(か)	形式の間違い	言いよどみ	相づち	判断不能	計
JFL 学習者	正用	5	8	3	16	15	5	1	21	0	26	0	0	6	0	32
	非用	11	22	2	33	17	7	12	36	2	43	1	0	59	3	110
JSL 学習者	正用	6	18	4	28	24	1	34	59	1	71	0	0	12	0	84
	非用	1	2	0	3	11	1	5	17	0	13	0	0	1	0	14
母語話者 (対 JFL)		16	52	5	72	73	9	36	118	0	115	0	3	55	7	181
母語話者 (対 JSL)		9	29	10	48	46	20	29	95	0	76	0	0	51	0	127

表 13 から以下のことがわかる。

- ・ JFL 学習者は〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の正用数が同程度だが、JSL 学習者は〈承前のノダ〉より〈後続のノダ〉の正用が多く、母語話者と同じ傾向を示している。
- ・ JFL 学習者に比べて JSL 学習者のほうの非用が少なく、正用が多い。特に〈話題継続〉において JSL 学習者のほうの正用が多い。

〈承前のノダ〉の中で、JFL 学習者のノダの使用が最も多かった〈帰結〉の正用例を (38) に挙げる。

(38) ([添付資料 4] の一部である)

01 学習者：《沈黙 2 秒》台湾では、休みの日は日本語の音楽を聞いたりとか。

02 母語話者：そうですね、

03 母語話者：大体ね私は運動しに行ってますね。

04 学習者：運動？

05 母語話者：運動<笑いながら>

06 母語話者：あの、フィットネスって分かります？=

07 母語話者：=えーっとプール、があったり（はい）、あとはこういう機械があったり（あー）とか、そこ、

08 学習者：<すいません>{<}

09 母語話者：<うんうん>{>}、そこに入ってるんで、大体そこで。

10 学習者：だからスタイルがいいいん<ですね>{<}

(130-9-NNSBF01-NSOF01)

(38) では、母語話者が運動をしているという話を受けて、10 で「だからスタイルがいいいんですね」とノダが使われており、〈承前のノダ〉の〈帰結〉の例である。スタイルがいいという事前に把握した情報と運動している情報を照らし合わせ、そこに因果関係があることを示す。

(39) は JFL 学習者の〈後続のノダ〉でノダの使用が最も少なかった〈話題継続〉の非用例である。

(39)

01 母語話者：じゃあ、日本に行ったことはありますか？

02 学習者：うん、（うん）あります（うんうん）

- 03 学習者：あの、今週の、(うん) ええ、今日何、何曜日だっけ？
- 04 母語話者：えと、今日は、月曜日
- 05 学習者：あつ、あつ、先週？
- 06 母語話者：うん、先週、うん
- 07 学習者：先週、あの、金、金曜日、(うん) 金曜日帰ってきました (4/5)
- 08 母語話者：ああ、そう
- 09 学習者：あの
- 10 母語話者：なんですか？
- 11 学習者：北海道に (ああ) 行、行ってきました
- 12 母語話者：あ北海道、人気がありますよね
- 13 学習者：はいはいはい
- 14 母語話者： 台湾人の人多いよね (134-9-NNSBF03-NSOF01)

(39) では、学習者が金曜日まで日本に滞在していたことを持ち出してから、北海道に行ったという具体的な体験を提供している例である。10 の母語話者の「なんですか」という発話から、母語話者が話題は終了したと思っていた様子が窺える。もし 07 で学習者がノダを使用して、「金曜日 (に) 帰ってきたんです」と発話すると、〈後続のノダ〉となり、これから話し続けることを母語話者に示すことができると考えられる。

JFL 学習者の使用が少なかった〈話題継続〉に関して、JSL 学習者の正用を (42) に挙げる。

(40)

- 01 学習者：あ、台湾人は、前一番多い時は、30 人以上いたんですよ。で、<今年は
…>{<}、
- 02 母語話者：<いまは>{>}20 人？。
- 03 学習者：今年結構卒業生が多いから、<かえって…>{<} 【。
- (中略)
- 04 学習者：寂しいな、ちょっと思った。おしまいいたします[稽古の話に]。
- 05 学習者：《沈黙 2 秒》その、ある先輩…、(うん)「地名 1」に行くんですよ。「地名 1」の大学、市立大学。 (0/5)
- 06 母語話者：「地名 1」…。
- 07 学習者：市立大学。

08 母語話者：市立って？。

(中略)

09 母語話者：えっ、この、「大学名 1 略称」で、大学院を卒業して？。

(中略)

10 母語話者：何の勉強してる人？。 (142-10-TF01-JF01)

(40) では、学習者は 03 の「卒業生が多くて寂しい」という話題の後に、お茶の稽古の話と沈黙を挟んでから 05 の 1 人の先輩の進学の話題を始めている。05 で用いられた「んです」が〈後続のノダ〉に当たる。ノダの後に母語話者が 08、09、10 で、その先輩のことについて質問を連発し、話題を継続させている。このように、談話において〈後続のノダ〉を使用した場合、聞き手が質問で話を継続させることがある。

JFL 学習者よりノダを多く使用している JSL 学習者でも、〈前置き〉のノダにおいては (41) のような非用が見られる。

(41)

01 学習者：なんか手伝いとかいけないのかな??。

02 母語話者：ねー[→]。

03 母語話者：あっ、多分、実習生が分からなかったからかも。

04 学習者：そして、そのすごい曖昧なメールだから、

05 学習者：(うん) なんか私本当に行ってもいいけど、(4/5)

06 学習者：なんかすごい、すごい、何すればいいか分からないって感じ<する>{<}、

07 母語話者：<うんうん>{>}<うんうんうん>{<}。

08 学習者：<メー>{>}ルだから、 (146-10-TF05-JF05)

(41) の 05 の発話に対して、協力者 5 名のうち 4 名がノダを使用していないことに違和感を覚えており、非用と考えられる。ノダを使用して「いいんだけど」と発話した場合、〈前置き〉のノダに当たり、〈後続のノダ〉となる。このような前置きにノダを用いるべき文脈において JSL 学習者の非用が多く見られた。

野田 (1997) は前置きのノダについて、聞き手が知っていると思なされることを示す場合には「が」が自然であり、聞き手が知らないと思なされることを示す場合には「のだが」が自然であると述べている。つまり、前置きの場合は後続発話との関わり方だけでなく、前置きの部分の情報を聞き手が知っているかどうかという判断も必要となってくるため、適切に使用するのが困難なのだと考えられる。

次に、表 13 の JFL 学習者と JSL 学習者のノダの正用率を表 14 にまとめ、比較する。
正用率は「正用／（正用＋非用）」で算出した。

表 14 JFL 学習者と JSL 学習者の正用率

		JFL 学習者			JSL 学習者		
		正用	非用	正用率	正用	非用	正用率
承前	事情	5	11	31.3%	6	1	85.7%
	帰結	8	22	26.7%	18	2	90.0%
	換言	3	2	60.0%	4	0	100.0%
	計	16	33	32.7%	28	3	90.3%
後続	前置き	15	17	46.9%	24	11	68.6%
	主題提起	5	7	41.7%	1	1	50.0%
	話題継続	1	12	7.7%	34	5	87.2%
	計	21	36	36.8%	59	17	77.6%
その他	音声不明瞭	0	2	0.0%	1	0	100.0%
	疑問の（か）	26	43	37.7%	71	13	84.5%
	形式の間違い	0	1	0.0%	0	0	－
	相づち	6	59	9.2%	12	1	92.3%
	判断不能	0	3	0.0%	0	0	－
	計	32	110	22.5%	84	14	85.7%

〈承前のノダ〉においては JFL 学習者の正用率は 32.7%、JSL 学習者は 90.3%である。

〈後続のノダ〉においては、JFL 学習者は 36.8%、JSL 学習者は 77.6%である。〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉のいずれにおいても、JSL 学習者は JFL 学習者より正用率が高い。JSL 学習者の中では〈承前のノダ〉の正用率が〈後続のノダ〉より高い。

つまり、JFL 学習者よりも、JSL 学習者のほうの習得が進んでいる。JSL 学習者にとっては〈承前のノダ〉のほうが習得しやすいと言える。

JFL 学習者の正用率が最も低いのは〈話題継続〉のノダの 7.7%である。それに対し、JSL 学習者は〈話題継続〉のノダの正用率が 87.2%と高い。

JSL 学習者の正用率が最も低いのは〈主題提起〉の 50.0%であるが、正用も非用も 1 例しかなかったため、正用率について論じることができない。その次に正用率が低かったのは〈前置き〉のノダであり、非用数が最も多い。

つまり、日本滞在 2 年未満の JFL 学習者と日本滞在 2 年以上の JSL 学習者を比べると、〈話題継続〉のノダにおける習得の差が最も大きい。したがって、〈話題継続〉のノダの習得は学習環境による影響が大きいと考えられる。一方、JSL 学習者の非用が最も多い〈前置き〉のノダの習得には学習環境の影響が小さいと考えられる。

2. 4 発話機能における学習者の使用傾向

発話機能から見た学習者のノダの使用率を表 15 に示す。¹⁶

表 15 発話機能から見た学習者のノダの使用率

		JFL 学習者			JSL 学習者			母語話者 (対 JFL)	母語話者 (対 JSL)
		ノダ 有	発話 数	ノダの 使用率	ノダ 有	発話 数	ノダの 使用率	ノダの 使用率	ノダの 使用率
情報	提供	16	312	5.1%	46	471	9.8%	19.5%	18.2%
	要求	19	178	10.7%	57	252	22.6%	21.2%	28.1%
	回答	12	268	4.5%	4	108	3.7%	10.1%	5.9%
体験	提供	3	23	13.0%	30	83	36.1%	50.7%	33.8%
	要求	6	19	31.6%	3	10	30.0%	50.0%	16.7%
	回答	3	19	15.8%	0	9	0.0%	21.4%	12.5%
意見	提供	4	108	3.7%	9	192	4.7%	9.2%	11.2%
	要求	2	29	6.9%	3	21	14.3%	11.6%	0.0%
	回答	4	72	5.6%	2	12	16.7%	16.1%	5.0%

表 15 から以下のことがわかる。

- ・ 母語話者も学習者も、体験系のノダの使用率は情報系と意見系より高い。
- ・ 情報提供、体験提供、意見提供のいずれにおいても、母語話者のノダの使用率は学習者より高い。
- ・ JSL 学習者の意見要求と意見回答におけるノダの使用率は母語話者より高い。

意見系において学習者は母語話者よりノダを多く使用するとも考えられるが、第 4 章第 2 節 2.4 で述べたように、母語話者の意見系の発話が少なかったことも原因として考えられる。

第 4 章の 2. 4 で取り上げた提供系とノダの分類を合わせた結果に、学習者の結果を加えて表 16 に示す。

¹⁶ 本論文では「のか」は対象としていないが、本章では発話機能の面から見るため対象としている。

表 16 学習者の提供系の発話におけるノダの使用とノダの分類

発話機能	ノダ 大分類	ノダ 下位分類	JFL 学習者			JSL 学習者			母語話者 (対 JFL)	母語話者 (対 JSL)
			正用	非用	正用率	正用	非用	正用率		
情報提供	承前	事情	3	8	27.3%	5	0	100.0%	9	6
		帰結	2	10	16.7%	9	2	81.8%	29	13
		換言	2	1	66.7%	2	0	100.0%	4	8
	後続	前置き	6	8	42.9%	11	3	78.6%	44	25
		主題提起	2	2	50.0%	1	0	100.0%	4	12
		話題継続	1	8	11.1%	17	3	85.0%	22	21
体験提供	承前	事情	1	0	100.0%	0	0	–	1	0
		帰結	1	1	50.0%	6	0	100.0%	12	3
		換言	0	0	–	1	0	100.0%	0	0
	後続	前置き	1	0	100.0%	10	4	71.4%	14	13
		主題提起	0	0	–	0	0	–	1	3
		話題継続	0	0	–	12	1	92.3%	7	5
意見提供	承前	事情	0	2	0.0%	1	1	50.0%	2	1
		帰結	1	5	16.7%	3	0	100.0%	8	12
		換言	0	0	–	0	0	–	0	1
	後続	前置き	0	0	–	1	1	50.0%	6	5
		主題提起	2	3	40.0%	0	1	0.0%	0	3
		話題継続	0	0	–	1	1	50.0%	4	1

情報提供において、すべてのノダの下位分類において JFL 学習者の正用率より JSL 学習者のほうが高い。

体験提供において、〈承前のノダ〉の〈帰結〉のノダの正用率も JFL 学習者より JSL 学習者のほうが高い。〈話題継続〉については、JFL 学習者の発話は見られなかったが、JSL 学習者は高い正用率を示している。

意見提供において、JFL 学習者よりも JSL 学習者のほうが正用率が高いのは〈承前のノダ〉の〈帰結〉である。

上記の結果から、JSL 学習者は情報提供と体験提供の際に〈話題継続〉のノダをよく使用していることがわかる。JSL 学習者は自分の発話に続きがあることを示し、発話の主導権を握ることができていると考えられる。

第3節 個別の考察

本節では雑談資料において学習者の誤用が少なかったことと、学習環境によるノダの使用の違いについて考察する。

まず、学習者による誤用が少なかったことは、雑談という談話資料の性質が原因だと考えられる。

本章の第2節の2.1の結果から見ると、母語話者が最も多くノダを使用しており、その次がJSL学習者であり、JFL学習者のノダの使用が最も少ない。JSL学習者の発話には誤用は形式的な間違いしか見られなかった。JFL学習者はノダの使用率が低いうえに、誤用も見られ、非用はJSL学習者より多かった。

学習者のノダの誤用に関する研究は多いが、本章の発話資料からは誤用は極少数しか観察できなかった。先行研究で指摘されているノダの誤用例として、(1)を再掲する。

(42) (自己紹介で)私は中国の黒龍江省齊々〇〇市から来たのです(→来ました)。

(1)の再掲)

前の文脈がない、かつ聞き手とのやり取りが生じない自己紹介の場では誤用と判定されるのは妥当である。しかし、雑談においては学習者の前後の発話から生じる文脈、またはその後の相手とのやり取りがあるため、(43)のように許容度にゆれが生じることがある。

(43)

01 母語話者：私は東京生まれで、今はこの大学の院生です。

02 学習者：私は中国の黒龍江省齊々〇〇市から来たんです。

03 母語話者：あ、そうなんですか。どんなところですか?。

04 学習者：中国の北のほうで、とても寒いところです。でも人は暖かいです。食べ物もおいしいです。

05 母語話者：そうですか。一度行ってみたいです。

06 学習者：齊々〇〇市は黒龍江省で一番大きな町で観光地も… (作例)

(43)のように、母語話者の出身の話題から学習者が自分の出身の話題に変える際にノダを使用すると、主題提起のノダになる。その後の母語話者の質問により話が進んでいくと、ノダは〈後続のノダ〉と解釈されるため、不自然さはあまり感じられなくなる。

(44)は雑談資料に現れた続きの文脈によって不自然さがあまり感じられなくなる例である。

(44)

01 母語話者（対 JFL）：「【学習者】 姓」さんは今学生ですか？。

02 JFL 学習者：はい、うんうん、

03 母語話者（対 JFL）：うん[↑]。

04 JFL 学習者：うん、大学院生です。

05 母語話者（対 JFL）：あ、大学院生ですか？。

06 JFL 学習者：はい。

08 母語話者（対 JFL）：何を勉強してるんですか？。

09 JFL 学習者：うん、日本語を勉強してるんです。(2/5)

10 母語話者（対 JFL）：日本語を勉強してるんですね<軽く笑う>[↑]。

11 JFL 学習者：はい<2 人笑い>。

12 母語話者（対 JFL）：すごいですね<笑いながら>。

13 JFL 学習者：いいえ。

14 母語話者（対 JFL）：なんか、どうして日本語を勉強しようと思ったんですか？。

15 JFL 学習者：うーん、えと、外国(うんうん)言語を勉強することが好きですから。

(134-9-NNSBF03-NSOF01)

(44) の 09 で学習者が相手の質問に答える際にノダを使用している。単純な質問回答にノダを使用すると不自然になりやすいが、母語話者の 12 の「すごいですね」という発話と 14 の「どうして」という質問により話題が進んでいる。このような話題展開において 09 の学習者のノダに対して不自然と感じた判定者は 5 名のうち 2 名しかいないため、〈主題提起〉のノダの正用となる。

つまり、雑談の中に現れる学習者のノダは、前後の文脈によっては容認度が高くなり、不自然さが目立たなくなる。そのため、本章の発話資料から誤用が極少数しか見られなかったのだと考えられる。

つぎに、本章の第 2 節 2. 3 の結果から、JFL 学習者と JSL 学習者のノダの使用傾向の違いについて述べる。JFL 学習者の〈後続のノダ〉の非用が多いこと、JSL 学習者の〈後続のノダ〉の使用が〈承前のノダ〉より多いことがわかった。

この結果から、JFL 学習者にとっては〈承前のノダ〉で前の文脈へ注意を向けることは比較的簡単だが、後の文脈へ注意を向けることが困難であるということである。JSL 学習者は段落的な発話を行う際に、自分の後続発話に注意を向けてノダを使用することができ

ると考えられる。

Collentine (2004) は中級学習者を対象に、日本留学の経験が学習者の習得に与える影響について調査している。その結果、日本留学経験のある学習者は文法の正確さにおいては日本留学経験のない学習者より低い一方、日本語のナラティブ能力においては日本留学経験のある学習者が高いことを指摘している。

2. 3 は、〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の観点から分析したことにより、談話の流れへの注意の向け方に違いが見られた。談話の流れへの注意の向け方はナラティブ能力の 1 つである。JSL 学習者に母語話者に類似した傾向が見られたことは、Collentine (2004) の指摘と一致している。

Ellis (1994) は学習者の中間言語は「言語環境」や「文脈」、または「注意の向けられ方」によって規則性をもつと述べている。本論文では「学習環境」、「文脈」、「注意の向けられ方」の違いがノダの正用と非用から見られることがわかった。

しかし、以上の JFL 学習者と JSL 学習者の違いの原因は、日本留学経験の有無のほかにも、日本語習熟度による影響も考えられる。本章の JFL 学習者と JSL 学習者はいずれも日本語検定能力試験一級に合格しているが、一級以上の日本語能力の測定ができないため、JFL 学習者と JSL 学習者が同じレベルであることは保障されない。日本語検定能力試験では測定できない日本語能力において、両者の間に習熟度の差が存在する可能性がある¹⁷。次の第 6 章では日本語の習熟度の要因について検討する。

第 4 節 第 5 章のまとめ

JFL 学習者、JSL 学習者のノダの使用傾向を母語話者と比べた結果、以下のことがわかった。

- ・ JSL 学習者はノダの使用率、正用数と非用数の比較、誤用の種類の面において、JFL 学習者よりノダの習得が進んでいる。
- ・ JFL 学習者は〈後続のノダ〉と〈承前のノダ〉の正用数には大きな差は見られなかった。JSL 学習者は〈後続のノダ〉の正用数が多く、母語話者と類義した傾向が見られた。表 14 の正用率によると、前の文脈に注意を向ける〈承前のノダ〉の習得は〈後続のノダ〉よりやさしいと考えられる。
- ・ JFL 学習者と JSL 学習者と比べて、話題継続のノダの習得で最も差が大きい。特に情

¹⁷ 他にも会話相手との親疎関係も関係している可能性が考えられる。

報提供と体験提供において、JSL 学習者の〈話題継続〉のノダの使用回数が多い。学習環境の影響が考えられる。

- ・ JFL 学習者と JSL 学習者の間に差があまり見られなかったのは前置きのノダである。母語話者と比べて使用数が少ないうえ、非用も多いことから、前置きの習得には学習環境の影響が小さいと考えられる。

以上のことから、JFL 学習者にとって後続文脈を考えながらノダを使用することが困難だということがわかった。しかし、その傾向は学習環境によって生じるものなのか、日本語の習熟度によって生じるものなのかは不明である。そこで、次章では学習者の日本語の習熟度がわかる発話資料を用いて、習熟度の要因について検討する。

本章の結果に基づいて、第 8 章で選択肢問題を用いて以下の仮説を検証する。

- ④ JFL 学習者は〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉を同程度に選択する。JSL 学習者は母語話者と同様、〈後続のノダ〉の場合のほうが〈承前のノダ〉の場合より選択しやすい。
- ⑤ 〈話題継続〉の場合のノダは、JFL 学習者より JSL 学習者のほうが選択しやすい。
- ⑥ 〈前置き〉の場合のノダは、JFL 学習者も JSL 学習者もあまり選択しない。

第6章 インタビュー資料による習熟度の異なる学習者のノダの使用傾向に対する分析

第1節 インタビュー資料の概要

第4章第3節では、JFL 学習者と JSL 学習者のノダの使用における違いは、日本語の習熟度によるものとも考えられると述べた。そこで、本章では、日本語の習熟度によるノダの使用の違いを考察する。

日本語の習熟度による違いを考察するためには、本章では『タグ付き KY コーパス-version2』を用いる。KY コーパスは韓国語話者、英語話者、中国語話者のそれぞれ 30 名ずつの「ACTFL-OPI」(The American Council on the Teaching of Foreign Languages-Oral Proficiency Interview、以下「OPI」)の発話を文字化した資料である。OPI の習熟度判定基準により各言語話者の初級 5 名、中級 10 名、上級 10 名、超級 5 名ずつの発話が収録されている。坪根 (2002、2004、2009) が扱ったのと同じ発話資料である。

OPI はインタビュー形式の口頭運用能力を測定するテストである。学習者の習熟度が「初級、中級、上級、超級」に分けられている。各習熟度を定める基準を表 17 に示す。

表 17 OPI の習熟度判定の基準 (一部)

習熟度	基準
初級	コミュニケーションができるのは、決まり文句、暗記した語句、単語の羅列、簡単な熟語でのみ。
中級	自分なりに言語が使える、よく知っている話題について簡単な質問をしたり答えたりできる。単純な状況や、やりとりに対処できる。
上級	主な時制／アスペクトを使って叙述、描写できる。複雑な状況に対応できる。
超級	意見の裏付けができる、仮説が立てられる。具体的な話題も抽象的な話題も議論できる。言語的に不慣れな状況に対応できる。

(『ACTFL-OPI 試験官養成マニュアル』[1999 年改訂版] より)

OPI では 1 対 1 の形式で 30 分以内のインタビューを行う。インタビューは被験者の心理面、言語面、評価面に注意しながら進められる。OPI の進め方を表 18 に示す。

表 18 OPI の進め方

	導入部	反復過程 レベルチェック ↔ 突き上げ		終結部
心理面	被験者を落ち着かせる。	被験者に何ができるかを示す。	被験者に何ができないかを示す。	一番正確に機能できるレベルに戻し、被験者に達成感を与える。
言語面	被験者に目標言語に慣れさせ、目標言語へ移行させる。この時、試験官は被験者の興味・経験についてのデータベースを構築する。	被験者が十分、楽にかつ正確に、流暢にこなせる言語機能と内容の領域を特定する。	被験者が言語的挫折を起こす言語的機能と内容の領域を特定する。	被験者のできる機能が明らかになり、インタビューが終了することを被験者にわからせる。
評価面	被験者が言語能力のどのレベルであるか最初の見当をつける。	被験者が維持できる最高のレベルを見つける（下限の決定）。	運用能力がこれ以上、維持できないというレベルを見つける（上限の決定）。	

（『ACTFL-OPI 試験官養成マニュアル』〔1999 年改訂版〕より）

第 5 章で扱った発話資料の、学習者の日本語の習熟度は日本語能力試験一級であった。日本語能力試験は信頼性のあるテストではあるが、発話資料からノダの使用を分析することを考えると妥当ではない。その理由は 2 つある。1 つは、語彙や文法の理解面を測定するテストであり、運用面とは直接結びついていないことである。話し言葉を分析するためには、OPI のような口頭運用能力を測定するテストが必要である。もう 1 つは、一級が最も高いレベルであり、それより高い習熟度を区別することができないことである。一級に合格した学習者の間に習熟度の差が存在する可能性が考えられる。

そこで、ノダの使用と習熟度の関係を分析する際に、OPI による習熟度判定のある資料を用いる。以下、OPI の信頼性と妥当性と有用性について述べる。

まず、信頼性について述べる。習熟度の判定は表 18 に示したように、レベルチェックと

突き上げの反復により、学習者が安定して維持できる習熟度を探っている。タスクを一回クリアするだけで習熟度が決まることがないという意味で、信頼性があると考えられる。

つぎに、妥当性について述べる。運用能力を測定していることと、テストの難易度という 2 つの意味で保障されている。まず、表 10 に示したように、日本語を使ってどのような話題に対応し、どれだけ複雑なやり取りができるかという口頭運用面を測定するテストであるため、発話資料におけるノダの使用を分析することに適合している。

最後に、有用性について述べる。テストの難易度は日本語能力試験一級の難易度と直接比較することはできないが、超級の「意見の裏付け」「仮説」「抽象的な話題を論議する」のタスクは日本語能力試験一級に合格している学習者でも遂行することができないため、一級より天井効果が現れにくい。

信頼性と妥当性と有用性の観点から、OPI を用いた KY コーパスを利用することにより、第 5 章の習熟度が特定できないという問題点と、習熟度の特定が不十分であるという問題点を解決できると考えられる。

第 2 節 分析方法

本節では坪根（2002、2004、2009）と同じ発話資料を用いる。坪根（2002、2004、2009）は正用開始時期および各用法の正用が 60%以上に達した時期について分析を行っている。本論文は正用ではなく、学習者のノダの使用規則に着目するため、ノダの使用を分析対象とする。具体的には、以下の 2 点を明らかにする。

1. 各習熟度の学習者が使用したノダの形式
2. 各習熟度の学習者の〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の使用傾向

第 3 節 分析結果

2. 1 学習者のノダの使用形式と母語の影響に関する結果

坪根（2002、2004、2009）はノダが使用された文の文末形式に言及しているが、母語の異なる学習者間の違いについては詳しくない。そこで、誤用を含む各形式の使用状況を、母語の異なる学習者の間で比較した。その結果を表 19 にまとめる。

表 19 学習者のノダの使用形式¹⁸

習熟度	初級		中級			上級			超級			計
	韓	英	韓	英	中	韓	英	中	韓	英	中	
んじゃない ¹⁹	<u>2</u>	0	0	0	1	10	30	12	23	10	34	122
んです	0	<u>1</u>	21	31	50	<u>194</u>	105	88	157	113	<u>78</u>	838
なんですけど ²⁰	0	0	12	14	5	159	142	76	<u>169</u>	<u>78</u>	100	755
疑問形	0	0	3	7	2	10	22	29	35	<u>6</u>	18	132
終助詞的	0	0	0	2	0	1	1	4	1	7	1	17
からです	0	0	0	0	1	10	6	17	1	6	10	51
ですかね	0	0	0	0	0	3	4	6	1	0	0	14
推量形	0	0	0	0	0	6	3	0	9	3	3	24
条件形	0	0	0	0	0	2	1	2	5	0	2	12
んですし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
その他 ²¹	0	0	0	0	0	14	7	4	8	7	11	51
計	2	1	36	54	59	409	321	238	409	231	257	2017

まず、母語によるノダの使用形式の違いを見ていく。初級段階ではノダの使用はほとんど見られないが、韓国語話者に2例、英語話者に1例見られた。(45)は韓国語話者の「んじゃない」の例であり、2回の使用は同じ学習者が連続して使っているものである。また、(47)のように英語話者初級学習者の発話にも類似した誤用が見られ、異なる言語を母語とする学習者の発話にも観察できる誤用という面から見て、母語の影響とは考えにくい。

(45)

01 母語話者：しんどくない

02 学習者：はいはい、風邪と、〈ん〉体が少し痛いですが、風邪がひきましたから

03 母語話者：じゃ、熱も高かったの

¹⁸ 下線は母語による違いが大きい箇所を表し、太枠は習熟度による違いが大きい箇所を表す。

¹⁹ 「のではない」を含む

²⁰ 「んですが」を含む。

²¹ 「その他」は「〜んだと思う」、「〜んだって」、「〜んだろう」、「〜んだなという」などの形式を含む。

04 学習者：熱が少し、〈ん〉あります

05 母語話者：ふーん、今年の風邪は、たいへん

06 学習者：大丈夫です、韓国で、〈ん〉薬を、〈ん〉もらってから、飲んで、少し飲んで寝ますから、〈ふーん〉大丈夫です

07 母語話者：ふーん、ま、日本でも、お医者さん、病院へ行ってるんですか

08 学習者：あ、あー、病院へ、体が、〈ん〉たくさん痛いんじゃない、痛いんじゃないですから、〈ん〉病院へ、〈ん〉行かないです

09 母語話者：あっ、行かない、韓国から持ってきた薬を、〈薬を〉そうですか、じゃあ、いま家族は、みんなソウルにいらっしゃるんですか

(韓国語話者初級)

学習者の発話により、母語話者が「病気でつらい学習者が病院へ行っている」と推論を行った場面である。母語話者の認識を修正しようとし、学習者が「たくさん痛いんじゃない」を使用しているが、誤用である。「すごく痛いというわけではない」といった表現のほうが適切である。

崔 (2006) によると、基本的に韓国語の「것이다 geosida」が日本語のノダに当たる。たとえば「そ、それはわざと話したんじゃないありません。」(p.132) のような「話した」ことは既定の事実であるが、「わざと」の部分に焦点を当てて「わざと」ではないことを表現するためには、日本語ではノダ、韓国語では「것이다 geosida」が必須だという。

しかし、本論文の協力者である韓国語話者によると、(45) の場合は韓国語では「것이다 geosida」を用いることができないという。(46) は (45) の学習者の発話を「것이다 geosida」を用いて直訳したものだが、非文となる発話である。この点から見ても、(46) の「んじゃない」の使用は母語の影響とは考えにくい。

(46) 体 が たくさん 痛い んじゃない、痛い んじゃない です から、
몸 이 많이 아프다 않다、아프다 않다 니까、
病院 に 行か ない です。
병원 에 가지 않 아요.

(47)は、英語話者初級学習者が自分の直前に言った「いいえ」を訂正している例である。

(47)

01 母語話者：んー、自分で作りますか、、、あなたが料理を作りますか

02 学習者：{笑い} いいえ、〈あー〉あー、あるん、です {笑い}

03 母語話者：{笑い} あーそうですか、んー、んー、今朝、今日の朝、何時に起きたか
(英語話者初級)

(47)の学習者は自分の言った「いいえ」によって聞き手に間違った認識を与えた可能性があり、聞き手のその認識を修正して正しい情報を示す際にノダを用いたと考えられる。しかし、(47)は相手の質問に答えるべき文脈であるため、正しい情報だということをノダで示すのは不自然である。

野田(1997)は英語の“it is (…) that……”と日本語のノダを比較しており、英語の“it is (…) that……”は、形式としては日本語のノダに対応するが、実際の翻訳では対応していない場合が多いと述べている。(47)の学習者のノダの例も“it is (…) that……”では表現することはできず、母語の影響とは考えにくい。

つまり、初級学習者の発話から、相手の推論や認識を修正する際にノダの誤用が見られた。前者は韓国語話者で後者は英語話者による発話であるが、いずれも母語ではノダに対応する形式が使用されない場面である。さらに、相手の認識を修正するという点において、第3章の中国語話者による誤用例(15)とも共通しており、韓国語母語学習者、英語母語学習者、中国語母語学習者のいずれにも見られる誤用である。母語ではノダに対応する形式が使用されないこと、異なる言語を母語とする学習者に共通して見られることという2つの面から見て、母語の影響とは考えにくい。

相手の認識を受けて、それを修正する際にはノダを使用するという学習者の使用規則は、相手の認識またはその認識に基づいた発話を先行文脈や状況として考え、〈承前のノダ〉を使用しているものと推測できる。

一方、学習者の母語によって異なる面もある。表19を見ると、中級以降のノダの使用形式については学習者の母語によって使用回数が異なる。具体的には、韓国語話者は上級になると「んです」、超級になると「なんですけど」と疑問形の「んです(か)」の使用回数が他の母語話者より多く見られる。英語話者は超級になると「なんですけど」と疑問形の使用回数が他の母語話者より低い数値を示している。中国語話者は中級段階で他の母語話者より「んです」を多く使用しているが、上級段階で他の母語話者の使用回数より少ない。

坪根(2002、2004、2009)は、中国語話者は他の2つの母語話者と比べて正用が進む用法が少なく、正しく用いられる用法の範囲が狭いと指摘している。本論文の調査から見ると、特に上級段階において他の母語話者との差が大きいことがわかる。

つぎに、表19に太枠で示した、学習者間に共通する点を見ていく。初級段階に先に見た

(45) (47) のような短い文にノダを加える形が出現し、中級段階に疑問形、そして複文の「んですけど」が出現する。上級段階に「んですかね」、そして非事実を表す推量形の「んだろう」「んでしょう」、条件形の「んですと」「んだったら」「んなら」が出現する。

日本語学習者の接続辞表現の習得を分析した峯（1995）は、言語処理の発達段階は句処理、文処理、複文処理の順であると述べている。また、人間の思考の傾向は事実的な表現から仮定的な表現へと広がり、それぞれ、順接から逆接へと広がると指摘している。本論文の習熟度によるノダの使用形式の違いは、峯（1995）が示した発達プロセスと一致している。

表 20 は坪根（2002、2004、2009）と本論文の対応を示すものである。表 20 の中の K は韓国語母語話者、E は英語母語話者、C は中国語母語を表す。枠線の無い場合は本論文の結果から得た初出時期、枠線のある場合は坪根（2002、2004、2009）が指摘している正用が 60%以上に達した時期を表す。

表 20 本論文のノダの出現時期と先行研究の正用が 60%以上に達した時期の比較

	初級	中級	上級	超級
んじゃない	K	C	<div>K</div> <div>E</div>	<div>E</div> <div>C</div>
んです	E	<div>K</div> <div>E</div> <div>C</div>	<div>K</div> <div>C</div>	
んですけど		<div>K</div> <div>E</div> <div>C</div>	<div>K</div> <div>E</div> <div>C</div>	
疑問形		<div>K</div> <div>E</div> <div>C</div>	<div>E</div>	<div>K</div>
んですから		C	<div>K</div> <div>E</div>	<div>E</div>

韓国話者の場合、「んじゃない」と疑問形がそれぞれ初級と中級という早い段階に出現するが、正用者が 60%以上に達するのはそれぞれ上級と超級という遅い段階となる。この 2 つの形式は使用開始時期が早い、適切に使用することが困難だと言える。

英語話者の場合、形式が出現する段階の次の段階に正用者が 60%以上に達しており、出

現順序と正用順序が一致している。

中国語話者の場合、「んじゃない」、「んです」、「なんですけど」、「からです」、疑問形ともに中級段階に出現し、上級段階に「んです」「なんですけど」の正用者が 60%以上に達している。「んじゃない」は超級段階であり、正用者が 60%以上に達する。「からです」と疑問形は中級段階で使用されているにもかかわらず、超級段階でも正用者が 60%以上に達していない。この 2 つの形式は使用開始時期が早い、適切に使用することが困難だと言える。

2. 2 〈承前のノダ〉〈後続のノダ〉の使用と学習者の習熟度の関係

坪根（2002、2004、2009）は「推測」「意思・主張」などの分類を用いて学習者のノダの使用を分析している。しかし、表 17 に示したように、OPI は超級、もしくは超級レベルに近い学習者にのみ「仮説」「意見の裏付け」の話題を求める。つまり、坪根（2002、2004、2009）の分類は発話資料に適していないと考えられる。一方、本論文で用いている〈承前のノダ〉〈後続のノダ〉という分類は文脈の繋がりに着目しているため、話題の種類に関係なく適用することができる。そこで、本節では〈承前のノダ〉〈後続のノダ〉の観点から分析する。

(48) は本論文で用いた発話資料に現れた〈承前のノダ〉で、学習者が「捨てられた新聞を拾って読むが自分では買わない」ことの事情を表している。

(48)

母語話者：おじちゃんがスポーツ新聞が好きなん

学習者：うんうん、、好きっていうよりもね、あの何で人が読んでるのかってことで

{笑} あの一考えさせられるの、だから、、どっかねー、あの一、大阪へ行くとか、用事でどっか行く時に、よく、わたしは買わないけどな、だけれどその、そのへんの、あの一ぱいと捨ててるスポーツ新聞をよく見るのよ

母語話者：{笑} 買いはらへんの

学習者：んー、〈ひどい***〉絶対絶対買わない、うん

母語話者：なんでー

学習者：いやー、だから、そんなのあほらしいもん、百何十円もするでしょうよ、ん、だけれど、あの、人がどういうものを読んでるかっていうことを、あの知りたいの〈承前のノダ〉、そんな風に思わない、興味ない

(49) は「中国にも子供を甘やかす傾向がある」という内容を始める際のノダと、「私の考え」という内容を始める際のノダが使用される例である。「わたしの考えですごくよくないんですね」のノダは坪根 (2002、2004、2009) の「意思・主張」に当たるが、本論文では〈後続のノダ〉に分類する。学習者は「中国もそういう傾向がある」や「私の考えではそれはよくない」の文の後にノダを用い、聞き手を話に引き込み、自分のターンを維持している。

(49)

母語話者：(前略) はい、あの日本ではそういうふうに親がね、すごく子供を甘やかすっていう傾向が強いみたいなんですけども

学習者：は一そーですね、〈は一〉で、中国でもそういう傾向があるんです〈後続のノダ〉、(中略) いわゆる、この一えーっと、こーなんといいますか、女の子だったら、しょうてんしとかね、〈ええ〉あの男の子だったら、こおていさまとか、〈あはは〉というふうにて、甘やかしてやっているんですよ、〈えーえー〉ですから、まあ、わたしの考えはすごくよくないんですね〈後続のノダ〉、〈ええ〉で、わたしはだったらやはり子供はこども一自身の将来の人生がありますから〈えーえー〉今甘やかしてやったらですね、〈えー〉こども自身よくないと思います、〈はい、ええ〉ですから、わたしーはまえの自分からやり始め絶対甘やかしません、〈あ、そうですか、はい〉はい (中国語話者超級)

(50) は韓国語話者の〈後続のノダ〉の例である。

(50)

母語話者：そうですか、で、たとえば、日本の大学と、その、韓国、前、韓国ではどんなことを、あの、専攻してらしたんですか

(中略)

母語話者：どうしてそういう方向転換をなさった

学習者：えーと、あの一、学生の時、あのちょうど、あの、オリンピック 〈はい、はい〉が、ソウルが決まって、(中略) そしてあの、まー、大学生を相手に、オリンピック委員会から通訳員を〈あーはいはい〉募集してたんですね、〈後続のノダ〉その時、友達とちょうどあの、その子は英語ができて、〈ええ〉わたしは少し日本語ができたもんで、〈あーそう、ええ〉応募して、〈は

い) まー受かってしまったんですよ、〈後続のノダ〉〈あーそうですか〉はい、それがきっかけになって日本語のむずかしさとか、〈あー〉それ、まー、もっと日本語を勉強したいなって(中略)それが留学のきっかけ、〈あーそうですか〉ということになります (韓国語話者超級)

(50) は「専攻を変えた理由」について「日本語が難しいと感じたからもっと勉強しなくなった」と一文で答えず、物語を語り始める例である。「通訳員を募集していた」や「受かってしまった」の文の後にノダを使用して自分のターンを維持している。

学習者の〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の使用回数を表 21 にまとめる。

表 21 KY コーパスにおける〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の使用傾向²²

分類	初級		中級			上級			超級			計
	韓	英	韓	英	中	韓	英	中	韓	英	中	
承前のノダ	0	1	12	28	31	109	116	101	173	128	96	797
後続のノダ	1	0	20	19	26	269	149	93	177	85	101	938
その他	1	0	4	7	2	31	56	44	59	18	60	282
計	2	1	36	54	59	409	321	238	409	231	257	2017

〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉のいずれも初級と中級段階における使用回数は少ない。

使用回数の多い上級段階と超級段階における各母語話者の〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の使用の割合を図 8 に示す。

²² 下線は母語による違いが大きい箇所を表し、太枠は習熟度による違いが大きい箇所を表す。

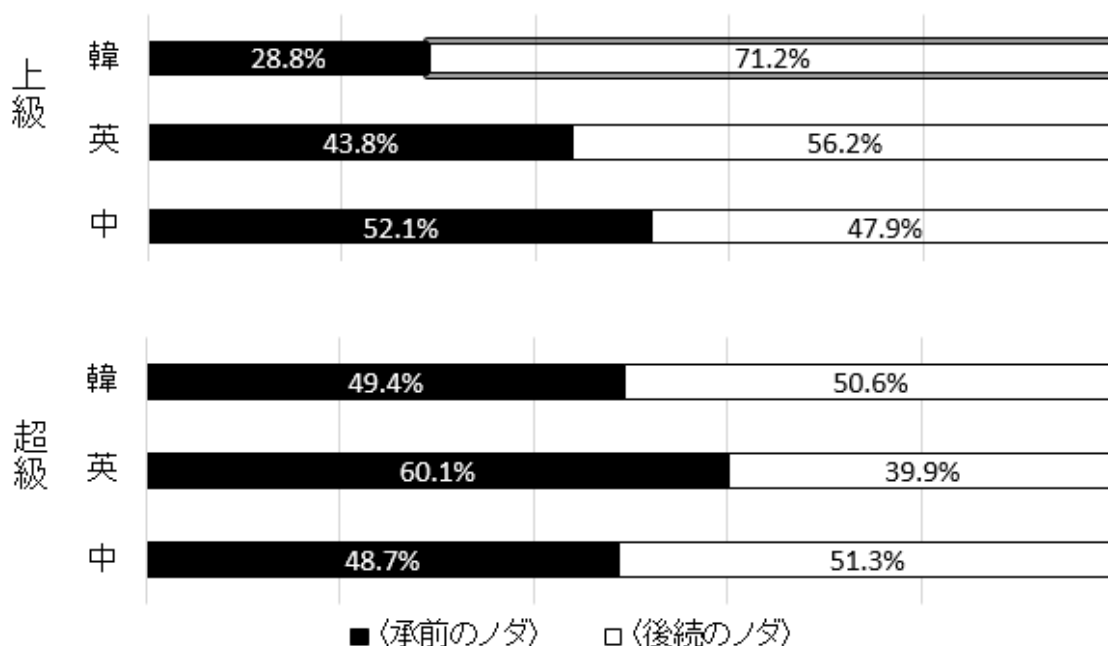


図8 〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉から見たノダの使用の割合

以上の表 21 と図 8 から、上級段階において韓国語話者は〈後続のノダ〉の使用割合が 71.2%となっており、〈承前のノダ〉より多いことがわかる。英語話者と中国語話者は両者をほぼ同程度使用している。超級段階においては、韓国語話者の〈後続のノダ〉と〈承前のノダ〉の使用回数がほぼ同程度となる。

上級段階の韓国語話者と英語話者の〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の使用は、第 4 章 第 2 節の 2. 3 で述べた母語話者の使用と似た傾向を示している。超級段階の韓国語話者と英語話者は異なる傾向を示している。その原因については 3 つの可能性が考えられる。

1 つめは KY コーパスの超級段階の各言語話者は 5 名しかいないことである。分析対象者が少ないため、1 人か 2 人の使用によって全体の傾向が変わることが考えられる。

2 つめはタスクが影響している可能性である。上級段階では叙述のような時間に沿って話すタスクが求められるため〈後続のノダ〉が現れやすい。超級段階になると、意見の裏付けや反論などのような論理的に話すタスクが求められるため、〈承前のノダ〉が表れやすいと考えられる。

3 つめは超級段階の会話はカジュアルな場面ではないことが考えられる。坪根 (2012) はタイ語話者日本語学習者に対して 2 年間の縦断的調査を行い、カジュアルな場面にノダが産出されやすいと指摘している。超級段階のインタビューは社会問題や国際関係などの

話題について話すが多い。さらに、「もしあなたが文部省大臣だったら」のようなフォーマルな場面のタスクを与えることがある。フォーマルな場面では学習者がノダの使用傾向が雑談と異なることが考えられる。

上記の 3 つの問題点を解決するために、第 8 章で調査を行う。

第 4 節 第 6 章のまとめ

本章の結果を以下にまとめる。

ノダの使用形式の観点：

- ・ 初級学習者は相手の認識を修正する際にノダを使用して誤用となる例が見られた。相手の認識を受けてそれを修正するという学習者の使用規則は、〈承前のノダ〉が先行文脈や状況を受けるという点においては共通している。〈承前のノダ〉が習得しやすいこととの関係性が考えられる。
- ・ 習熟度要因については、「単文+ノダ」→「複文節+ノダ」（「ですけど」と「ですから」）→「非事実表現+ノダ」（推量形と条件系）の順にノダの使用が見られた。人間の思考の傾向と言語処理の段階と一致している。また、誤用を含む使用状況と正用状況を比較することにより、早い段階で使用されるが、適切に使用することが困難な形式があることがわかった。

〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の観点：

- ・ 母語要因については、上級段階において韓国語話者の〈後続のノダ〉の使用が英語話者および中国語話者より高い数値を示しており、母語の影響の可能性が考えられる。
- ・ 習熟度要因については、超級段階の学習者が上級段階の学習者より〈後続のノダ〉を使用する割合が高いという結果は得られなかった。OPI のタスク設定による影響が考えられる。

本章の結果により、OPI による習熟度の判定結果は必要であるが、タスクの影響を受けてしまうため、OPI の発話資料そのものを〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の分析材料にする限界があることがわかった。そこで、第 8 章では OPI で習熟度を判定したうえで、〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉について調査する。本章の結果に基づいて、第 8 章で選択肢問題を用いて以下の仮説を検証する。

- ⑦ 上級学習者は中級学習者よりノダを選択しやすい。
- ⑧ 中国語を母語とする中級学習者も上級学習者も、〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉を同

程度に選択する。

- ⑨ 習熟度の低い学習者は単純な質問回答において、相手の認識を修正しようとする際にノダを選択しやすい。

第7章 不快感を与える危険性のあるノダに対する分析

本章ではノダの誤用と非用によって聞き手に不快感を与える危険性のあるノダを取り上げる。

ノダの誤用によって不快感を与える危険性のある形式としてノダカラを挙げる。ノダカラは後件との必然性を示すという意味では、〈後続のノダ〉に当てはまる。

ノダの非用によって不快感を与える危険性のある形式としてソウナンデスカを挙げる。相手の発話を受けて使用するという意味では、〈承前のノダ〉に当てはまる。

第1節 ノダカラ

1.1 問題の所在

日本語学習者のノダカラの誤用は他の種類の誤用によって相手に不快感を与える危険性がある。(51)は第1章の(3)の再掲で、ノダカラの誤用である。

(51) (授業中に突然)先生、頭が痛いんですから、早く帰ってもいいですか。

((3)の再掲)

小金丸(1990)によると、ノダカラの不適切な使用は相手を非難する意味合いを生じさせやすいという。また、KYコーパスを利用して調査を行った蓮沼(2008)によると、上級以降にノダカラが出現するが、ほとんど誤用であり、その中でも中国語話者のノダカラの使用が韓国語母語話者と英語母語話者より多く、そのほとんどが誤用か不自然な使用だという。したがって、日本語教育においてノダカラを取り上げて教えることが必要であると考えられる。

しかし、母語話者のノダカラに関する研究は研究者の内省によるものがほとんどであり、使用実態を確かめる研究は見当たらない。そこで、本章では母語話者コーパスを利用して母語話者のノダカラの使用実態を調査する。

日本語のノダカラについて、野田(1995)は3つの性質を指摘している。

性質1: 後件は事実の述べ立てでは不自然であり、判断や命令・依頼、意志などに限られるという文末制限がある

性質2: 前件は相手を知っていることに限られる

性質3: 「避難」というニュアンスを帯びやすい

性質3については、「前件を根拠として、後件で示される判断が必然的に導きだされるものである」というニュアンスである」とも述べている。

(52) は上述の 3 点を満たした例である。

(52) こんなに雨が降っているんだから、中止にしよう

(52) の「雨が降っている」ことは相手が認識していることであり（性質 2）、後件は意志を表すものである（性質 1）。さらに、「雨が降っている」ことによって「中止」される必然性がある（性質 3）。

蓮沼（2008）は「前件は相手が知っていること」について学習者の使用に問題があると指摘しているが、後件の文末制限、および前件と後件の間の必然性において習得上の問題がないかについても検討する必要がある。そのために、本節ではまず母語話者の使用状況を調査し、次章では学習者の習得状況を調査する。

本節の調査目的は以下の 2 点である。

- ① 母語話者がノダカラを使用する文の後件では、判断、命令、依頼、意志がどのくらいの割合を占めているか
- ② 母語話者は前件と後件の必然性はどのように表しているか

1. 2 分析方法

日本語母語話者がノダカラを使用する文の後件のタイプ、必然性の表し方を調査する。日本語母語話者による例文を量的に抽出するために、「現代日本語書き言葉²³均衡コーパス（BCCWJ-NT）」を用いる。「現代日本語書き言葉均衡コーパス」には書籍、雑誌、新聞、白書、法律、ブログ、ネット掲示板、教科書、国会会議録等のレジスターから、計 1 億 430 万語が収録されている。書籍の中のセリフや、ブログとネット掲示板、国会会議録など話し言葉的な例文も収録されている。なお、本節では「書籍」「ベストセラー」を「文学」と「文学以外」に分けたものを「レジスター」と呼ぶ。

検索は、アプリケーション『中納言』を用いて非コア²⁴を含む全データを対象とする。検索方法は以下の通りである。

- ・キー 語彙素 = の
- ・後方共起 キーから 4 語以内 語彙素 = から

なお、検索例数が多いため、後件制限に関する考察は、ランダム関数「=RAND0」によ

²³ 「書き言葉」は文字の形で掲載されている例文が収録されていることを意味している。

²⁴ 非コアとは人手により解析が行われておらず、形態論情報が自動付与されているデータのことである。

って抽出した 1000 例を対象とする。

1. 3 調査結果

「現代日本語書き言葉均衡コーパス」を用いたノダカラの検索結果は 129394 例であった。そのうち、「の」と「から」の間が「だ」「です」ではないもの (18170 例)、格助詞の「の」と誤解析の「の」 (18137 例)、否定の「ん」 (18129 例)、後件無のものを除外し、10474 例を分析対象とする。

レジスターごとの総語数が異なるため、出現数による比較はできない。各レジスターの総語数に基づいた 100 万語単位の出現数を算出し、表 22 に示す。

表 22 レジスターごとのノダカラの 100 万語単位の出現数

	国会会議録	知恵袋	文学	文学以外	雑誌	新聞	ブログ	教科書	韻文	白書	広報誌	計
の	55.1	63.2	85.4	88.6	45.7	32.8	19	10.8	8.9	2.5	2.1	694.2
ん	65.9	57.7	51.9	19.3	28.8	10.2	22.6	5.4	4.4	0	0	333.2
計	120.9	120.9	137.3	107.8	74.5	43.1	41.6	16.2	13.3	2.5	2.1	1027.5

ノダカラの 100 万語単位の出現数は国会会議録、知恵袋、文学、文学以外、雑誌、新聞、ブログの順に多い。ノダカラは国会会議録のように、論理的に述べているときに比較的多く出現すると言える。

後件の文末制限については、表 23 に示したように、先行研究が指摘している依頼 (「～てください」など)・意志 (「～しよう」など)・勧誘 (「～しようか」など)・命令 (「～なさい」など) の使用数は少なく、「その他」がほとんどであった。

表 23 後件の文類型によるノダカラの出現数

文類型	依頼	意志	勧誘	命令	その他	計
出現数	23	17	14	27	919	1000

分類型が「その他」となっている例をさらに細分化したものを、表 24 に示す。

表 24 後件のタイプ²⁵によるノダカラの出現数

疑問				断定					認識				評価				
確認	確認要求	自問	その他	感情	希望	事実	判断	その他	蓋然性	証拠性	推量	その他	勧め	許容	非許容	必要	不必要
3	7	7	5	8	29	48	512	1	45	4	72	41	6	14	9	100	8
22				598					162				137				

表 24 に示した通り、後件は「判断」を表す例が最も多かった。「必要」「推量」「事実」が続く。「事実」を表す例も見られた。(53) は「必要」、(54) は「推量」、(55) (56) は「事実」の例である。

(53) そして立派な業績を上げているのだから、慶賀すべきである。

(ベストセラー (総記)、渡部昇一『知的生活の方法 続』1979)

(54) 「…はあ、わかりました。身体、ちゃんと見ててくださいね」「任せてくれたまえ」先輩が自信满满でうなずいた。なんかものすごく信用できないんだけど…一応は自分の体なんだから先輩も無茶なことはしないだろう。

(書籍 (文学)、沖田雅『先輩とぼく』2004)

(55) その上、野茂は活躍を認められ、夢のオールスターのメンバーに選ばれたというのですから日本のマスコミはあらゆる手段を使ってインタビューをとろうと追っかけました。(書籍 (言語)、梶原しげる『口のきき方』2003)

(56) その言い方からすると、甲部さんはホテルから (どこに泊まったのかは知らないけど) タクシーで来たらしい。「さあ、行きましょう」甲部さんは、自宅に帰っていないのだから、服装は昨日と同じ。

(書籍 (文学)、風見潤『五十の殺意幽霊事件—京都探偵局—』2002)

「判断」を表す文末のモダリティ形式として、「～に違いない」、「～ことになる」、「～てしまう」、「～えない」、「～わけがない」がよく用いられている。(57) は「～わけがない」の例である。

²⁵ 日本語記述文法研究会編 (2003) の分類による。

- (57) たしかに右を全部とるよりはダメージは少なくてすみませんが、そうはいっても肺の半分近くがなくなるんですから、影響が出ないわけがありません。

(文学以外 (自然科学)、久保田芳郎『サラリーマンの病気学
—だからサラリーマンは生活習慣病になる—』2001)

(57) の「～わけがない」や、「～に違いない」、「～ことになる」、「～てしまう」、「～えない」、「～わけがない」などの文末モダリティ形式によって、前件と後件の間に必然性があることが表されている。

前件と後件の間の必然性は文末モダリティ形式だけでなく、語彙によっても表現されることがある。

- (58) 産みの親なんだから、作品の名前に気を遣うのは当然です。

(文学以外 (芸術・美術)、林律雄『マンガ原作者への道
——発当てれば億万長者も夢じゃない!!——』1997)

- (59) なにせ私はすごいグルメになるのだから、少々のお金を使っても仕方ないと
思っていたのだ。

(文学以外 (総記)、林真理子『ルンルンを買っておうちに帰ろう』1982)

- (60) 澤田幸弘も僕も未だ見ていないけど、あんなにヒットしたんだから、きっと
面白いのだ。

(文学以外 (芸術・美術)、大和屋竺『悪魔に委ねよ—大和屋竺映画論集—』1994)

(58) ～ (60) のように、「当然」「仕方ない」「きっと」などの語彙によって、「必然的にそうなる」ことを示している。このような語彙によって前件と後件の間に必然性が読み取れる。

1. 4 本節のまとめ

本節の書き言葉コーパスによる調査結果を以下にまとめる。

- ・ ノダカラの後件のタイプは多岐にわたる。先行研究では「命令」、「依頼」、「意志」を表すものが多いと指摘されているが、本節における調査では最も多いのは「判断」である。数は少ないが、「事実」を表すものもあった。
- ・ 前件と後件の間の必然性は、文末モダリティ形式だけでなく語彙によって表されることもある。

以上の結果から学習者のノダカラの習得の困難点を推測する。前件と条件の間の必然性

の表し方が習得の困難点だと考えられる。なぜかという、文末モダリティ形式や語彙によって表される必然性を理解できなければ、必然性がない、または必然性を示すことによって失礼になるにもかかわらずノダカラを使用して誤用となる可能性があるためである。

そこで、学習者が前件と後件の必然性を理解してノダカラを使用しているかどうかについて、第8章で選択肢問題を用いて以下の仮説を検証する。

- ⑩ 母語話者は、ノダカラの文の前件が相手の知っていることの場合にノダを選択しやすい。後件は、前件との必然性が読み取れる内容である。
- ⑪ 学習者は、ノダカラの文の前件が相手の知っていることかどうかによっても、前件と後件の必然性が示されているかどうかによってもノダの選択傾向に違いが見られない。

第2節 ソウナンデスカの非用

2.1 問題の所在

学習者はソウナンデスカのノダの非用によって相手に不快感を与える危険性がある。学習者が相手の話を聞いて返答する際に以下のような発話例が見られる。

(61) 母語話者：実は、私、来週結婚するんです。

学習者：あ、そうですか²⁶。おめでとうございます。 ((4) の再掲)

「そうですか」は(61)の学習者が「結婚する」という情報を獲得する際の発話である。学習者のこの発話によって母語話者が冷たさやそっけなさを覚える危険性がある。

学習者の情報を獲得する際の「あ、そうですか」にノダを加え、「あ、そうなんですか」にすることによって、そのそっけなさが感じられなくなる。このようなソウナンデスカの習得はコミュニケーションを円滑に進めるためには重要である。

そこで、本節ではソウナンデスカの母語話者と学習者の使用傾向を明らかにする。

母語話者のソウナンデスカを分析している郷矢(2014)は(62)のように、相手から得た情報が自らの「推測的認識」との隔たりが大きい場合は「そうなんですか」、(63)のように相手から得た情報が自らの「推測的認識」との隔たりが小さい場合、もしくは(64)のような「推測不能な未知の情報」の場合は「そうですか」を使用すると指摘している。

(62) JBF02：あ、「JBF02」と申します。

JSF02：あ、初めまして。

²⁶イントネーションなどによっても聞き手に与える印象が異なることもあるが、本節では違和感を生じる可能性のある発話を不自然な発話とする。

JBF02 : え、大学院の方〈ですよ〉。

JSF02 : 〈あ、すいません〉、老けてて、違います 〈笑いながら〉。

JSF02 : 4 年生なんです。

JBF02 : あっ、そうなんですか。 (p.177、下線は筆者による)

(63) JSM08 : あの、城、あるじゃないですか。

JBN04 : あー、そうです、えっ、鶴ヶ 〈城…〉。

JSM08 : 〈あー〉、はいはいはい。

JBN04 : あ、行かれたこと…。

JSM08 : あ、いか、その時行き 〈ました〉。

JBN04 : 〈そう〉 ですか。 (p.176、下線は筆者による)

(64) BM02 : 今日はどちら一の方からいらし 【。

OF01 : 】今日は、あの一、さいたま市から来ました。

BM02 : あそうですか。

OF01 : はい。 (p.176、下線は筆者による)

しかし、(67) のように郷矢 (2014) の指摘があてはまらない例もある。

(65) A : 今日はどちらの方からいらしたんですか?。

B : 今朝アメリカから帰ってきました。

A : えっ、そうなんですか。

B : はい。 (作例)

(65) は (64) の郷矢 (2014) の例とは同じ文脈であり、相手がどこからきたのかは「聞き手には推測不能な未知の情報」である。しかし、(65) の場合は「そうなんです」を使用したほうが自然であることがある。

(65) のように郷矢 (2014) の指摘では説明しにくい例も考えられるため、2. 3 で日本語母語話者のソウナンデスカの使用規則に関する分析を行う。

2. 2 分析方法

郷矢 (2014) の「推測的認識」との隔たりの大小に関しては、大小という程度を表す用語の主観性を排除するために、本節では新規情報と「推測的認識」がほぼ一致している場合を「推測保持」と呼び、新規情報と「推測的認識」との間に隔たりが見られた場合を「推測書き換え」と呼ぶ。

郷矢（2014）の「聞き手には推測不能な未知の情報」には、「そうですか」と「そうなんですか」の両方が使用されることがあるため、さらに細分化する。ソウナンデスカの発話者の常識で考えられやすい情報を得た場合を「推測不明（一般的）」と呼び、発話者の常識で考えられにくい情報を得た場合を「推測不明（非一般的）」と呼ぶ。

「推測不明（一般的）」は、推測がなされたかどうかは不明だが、比較的推測しやすい情報を獲得した場合であり、獲得情報と認識の間にギャップが（あまり）ないという点で「推測保持」と共通している。そこで、「推測保持」と「推測不明（一般的）」に「そうですか」がよく使用されるという仮説を立てる。

それに対し、「推測不明（非一般的）」は、推測が困難な情報を獲得した場合であり、獲得情報と認識の間にギャップがあるという点で「推測書き換え」と共通している。そこで、「推測書き換え」と「推測不明（非一般的）」に「そうなんですか」がよく使用されるという仮説を立てる。

郷矢（2014）の指摘によると、「そうなんだ」が「そうですか」「そうなんですか」の代用として使われたり、「そうか／そっか」が「そうですか」「そうなんですか」「そうなんだ」の代用として使われたりする例が見られたという。そのため、本節は「そうですか」「そうなんですか」のみを研究対象とし、「そうですか」「そうなんですか」の両方に対応する「そうなんだ」と「そうか／そっか」は対象外とする。

本節の会話資料はデスマス体で会話が行われている『BTSJ による日本語話し言葉コーパス 2011 年版』の「9 台湾人学習者（上級）と日本人の初対面雑談」と「14 初対面同性同士雑談（男、女）」である。「9 台湾人学習者（上級）と日本人の初対面雑談」の学習者は第 4 章で調査対象とした日本語能力試験一級に合格した JFL 学習者である。

「そう（なん）ですか」に関する「推測保持」「推測書き換え」「推測不明（一般的）」「推測不明（非一般的）」の分類は筆者が文脈で判断した。分類の基準は 2. 3 で例文と共に示す。

2. 3 母語話者の使用状況

日本語母語話者によるソウナンデスカの出現数を、2. 2 で示した推測的認識に関する分類ごとに次の表に示す。「判断不能」は、文脈の意味が理解しがたいものと、音声聞き取れないため文脈が読み取れないものである。太枠は仮説と一致しているものを示す。

表 25 母語話者のソウナンデスカの出現数

	推測 保持	推測 書き換え	推測不明 (一般的)	推測不明 (非一般的)	判断不能	計
そうですか	22	3	34	5	10	74
そうなんですか	6	16	10	29	10	71
計	28	19	44	34	20	145

「そうですか」と「そうなんですか」がそれぞれ 74 例と 71 例出現し、同程度の出現数を示している。話者の推測が見られた「推測保持」と「推測書き換え」が 28 例と 19 例出現しているが、それ以上に、推測が見られなかった「推測不明」の出現数が多い。

「推測保持」の場合は「そうですか」が多く使用され、「推測書き換え」の場合は「そうなんですか」が多く使用されており、郷矢（2014）の指摘通りの結果である。

「推測不明（一般的）」の 44 例のうち「そうですか」が 34 例であり、郷矢（2014）の記述と一致している。一方、「推測不明（非一般的）」の 34 例のうち「そうなんですか」が 29 例も出現しており、郷矢（2014）の指摘とは異なる。

χ^2 検定を行ったところ、推測的認識に関する分類による「そうですか」と「そうなんですか」の出現数に有意な偏りが認められた ($\chi^2(4) = 48.028$, $p < .001$)。残差分析を行った結果、「推測保持」「推測書き換え」「推測不明（一般的）」「推測不明（非一般的）」において「そうですか」と「そうなんですか」の出現数に有意な偏りが認められた（いずれも $p < .05$ ）が、「判断不能」においては「そうですか」と「そうなんですか」の出現数に偏りは認められなかった (*n.s.*)。

まず、以下では仮説に当てはまる例を確認していく。(66) は 02 で学習者が日本語教育の勉強をしたいということを母語話者が知り、04 で「将来は日本語の先生になりたいですか」と質問した例である。

(66) 推測保持

01 母語話者：日本で、もし留学できたら、どんなこと勉強したいですか？。

02 学習者：うん、たぶん日本語教育（うんうんうん）だと思ひ<ます><{>。

03 母語話者：<あ、そう><{>ですか。

04 母語話者：やっぱ、じゃ、将来は日本語の先生になりたいですか？。

05 学習者：ええ、なりたいですね<笑い>。

→06 母語話者：そうですか[↓]。 (130-9-NNSBF01-NSOF01)

肯定的な答えが得られ、推測的認識が書き換えられることなく保持されている。このように「推測保持」に分類した 28 例のうち「そうですか」が使用されているのは 22 例であった。

(67) では相手が就職活動をしていると母語話者 A は思っていたが、02 で推測的認識が書き換えられた後に「そうなんですか」が使用されている。

(67) 推測書き換え

01 母語話者 A：今じゃあ就活なんですか？。

02 母語話者 B：あ、就活終わりました。

03 母語話者 A：あ、そうなんですか[→]。 (193-14-JBF02-JSF02)

(67) のように「推測書き換え」に分類した 19 例のうち「そうなんですか」が使用されたのは 16 例であった。

(68) は母語話者が 01 で学習者の日本語科に進学した理由を聞いた後、04 で日本語を勉強し始めた時期を聞いた例である。

(68) 推測不明（一般的）

01 母語話者：どうして日本語科に進もうと思ったんですか？。

02 学習者：いや、なんとなく（うん）好きだから<笑いながら>。

03 母語話者：うーん、本当？。

04 母語話者：一番最初勉強したのは、日本語を勉強したのはいつ頃ですか？。

05 学習者：たぶん、専門学校の時、（うんうん）たぶん 18 歳の頃から、はい。

06 母語話者：あ、そうですか[↓]。 (130-9-NNSBF01-NSOF01)

(68) では、もし 04 で母語話者が「日本語科に入る前にも日本語を勉強していたんですか」と聞いているのなら推測的認識が存在すると見なすが、「日本語を勉強したのはいつ頃ですか」という疑問詞疑問文であり、かつ文脈からも推測的認識が観察できなかったため、「推測不明」に分類した。もし 05 で学習者が「3 歳から」と回答した場合は日本語学習者の学習開始年齢として一般的ではないが、「18 歳の頃から」という回答は一般的に考えられやすいものである。このように「推測不明（一般的）」に分類した 44 例のうち「そうですか」が使用されたのは 34 例であった。

(69) は日本語母語話者同士が日本で行った会話である。幼稚園や小学校の英語教育について話す例である。

(69) 推測不明 (非一般的)

01 母語話者 A: で、政府もやたらやっぱり国際的にこう認められるように台湾も

####になれじゃないけど、

02 母語話者 B: そうですね。

03 母語話者 A: いろんな制圧があるからね。そうするとね、やっぱりこう英語は##

っていう=。

04 母語話者 A: =幼稚園とかでもね。

05 母語話者 B: あ、そうなんですか。

06 母語話者 A: うん。

07 母語話者 B: 日本でも最近小学校で、 (196-14-JBF03-JOF01)

台湾では幼稚園から英語教育を始めるということは台湾にいる人にとっては一般的な知識かもしれないが、日本人にとっては一般的な常識だとは考えにくい。このように「推測不明 (非一般的)」に分類した 34 例のうち「そうなんですか」が使用されたのは 29 例であった。

以上の多くの例で「推測保持」と「推測不明 (一般的)」に「そうですか」がよく使用され、「推測書き換え」と「推測不明 (非一般的)」に「そうなんですか」がよく使用されるという本節の仮説と一致している。したがって、これが、ソウナンデスカの日本語母語話者の基本的な使用規則と言える。

一方、基本的な使用規則と異なるソウナンデスカの使用も見られる。表 25 に示したように、「推測保持」(28 例)や「推測不明 (一般的)」(44 例)であるにも関わらず、「そうですか」ではなく、「そうなんですか」が使われる発話が計 16 例見られた。

次の表 26 に示した 16 例のうち、1~15 番は会話参加者の情報や経験のような個人的な話題であった。16 番の 50 円ショップの商品という話題だけは会話参加者の情報や経験と異なり、一般性のある非個人的な話題であった。

表 26 「推測保持」と「推測不明（一般的）」に「そうなんですか」が使用された例

番号	発話者	話題	話題の種類	分類
1	JBF04	相手の専攻	個人的	推測不明（一般的）
2	JSF02	相手の専攻	個人的	推測保持
3	NSOF01	相手の専攻	個人的	推測不明（一般的）
4	JBM02	相手の実家	個人的	推測不明（一般的）
5	JSM02	相手の実家	個人的	推測不明（一般的）
6	JOF01	相手の留学経験	個人的	推測保持
7	JSF02	相手の留学経験	個人的	推測不明（一般的）
8	JBM04	相手の旅行経験	個人的	推測保持
9	NSOF01	相手の旅行経験	個人的	推測不明（一般的）
10	JSF02	相手の出身大学	個人的	推測保持
11	JSF02	相手の学年	個人的	推測保持
12	JSF02	相手の学年	個人的	推測不明（一般的）
13	JBM02	相手の研究テーマ	個人的	推測保持
14	JSF02	相手の出身地	個人的	推測不明（一般的）
15	JOF01	外国語学習のきっかけ	個人的	推測不明（一般的）
16	NSOF01	50 円ショップの商品	非個人的	推測不明（一般的）

以下では「推測保持」や「推測不明（一般的）」でありながら、「そうなんですか」が使用された例を分析する。（70）は初対面の自己紹介のときに学年を話題としている例である。

（70） 表 26 の 12（推測不明（一般的））

01 母語話者 A：あの、日本語教育専修コースの、（はい）「JBF01 姓名」です。

02 母語話者 B：あ、はじめまして。

03 母語話者 B：えと、私は言語文化コースの「JSF02 姓」です。

04 母語話者 A：今、修士の…？。

05 母語話者 B : 1 年目です。

06 母語話者 A : 1 年目ですか。

07 母語話者 B : はい。

08 母語話者 A : 私 2 年目です。

09 母語話者 B: あ、そうなんですか [↓]。 (191-14-JBF01-JSF02)

(70) では、母語話者 B が相手の学年について推測をしていたかどうかは文脈から判断できないため、「推測不明」としている。修士課程であれば 1 年目か 2 年目であることは考えられやすい情報であるため、「推測不明 (一般的)」と分類した。本節の 2. 1 で述べた「そうですか」と「そうなんですか」の使用規則から考えると「そうですか」を使用するはずだが、母語話者 B は「そうなんですか」を使用している。相手が学年の話題を切り出し、さらに自ら学年を教えてくれたことに対して「そうなんですか」を使用することは、2.1 の基本的な使用規則とは異なるが、話題に興味があり積極的に参加している姿勢を示しているのだと考えられる。

(71) は留学経験を話題にしている例である。

(71) 表 26 の 7 (推測不明 (一般的))

01 母語話者 A : =ベトナムに 1 年と、(うん) アメリカに 1 年。

02 母語話者 B : ふうん、え、じゃあベトナム語もアメリカ語、あ、アメリカ語 (<笑い>)、英語ももうばっちりですか?。

(中略)

03 母語話者 B : <あー、単語がね、そうですね>{<}\。

04 母語話者 A : <でてきたりすると>{\}わかんなかったり、また 2 つやってると、
例えば…うーん、始め、ベトナムに留学してたんですよ、私。

05 母語話者 B : あ、そうなんですか。

06 母語話者 A : ベトナムに留学して、(うん) で、それで、その前は別にベトナム語も英語も、(うんうん) まあ英語は第 2 外国語ですけど、(うーん) ある程度やって、ベトナムでもう完全に英語忘れて。

(193-14-JBF02-JSF02)

(71) では、母語話者 B の発話からは、相手がベトナムとアメリカのどちらに先に行っただかという推測が行われたかどうかを判断できないため、「推測不明」に分類した。さらに、01 で相手がベトナムとアメリカに行ったことを知っていたため、「推測不明 (一般的)」に

分類した。「そうですか」の使用が考えられるが、母語話者 B は 05 で「そうなんですか」を使用している。「そうなんですか」の使用によって自分の推測的認識と異なる、または非一般的な情報として受け入れたように見せかけ、相手の個人的な話に関心を持っているような姿勢を示しているのだと考えられる。

Brown & Levinson (1987) は、人には誰でも「ポジティブフェイス」と「ネガティブフェイス」があるとし、ポジティブフェイスには「承認されたい」、「理解されたい」、「是認されたい」、「好かれたい」、「賞賛されたい」という欲求が、ネガティブフェイスには「縄張り」、「個人の領分」、「邪魔されない権利」に対する基本的な欲求が含まれていると述べている。(70) と (71) では、相手の話を理解して関心を持っていることを示すために「そうなんですか」を用いた例である。相手のポジティブフェイスの欲求を満たしているためだと考えられる。

「推測書き換え」や「推測不明（非一般的）」にも関わらず「そうなんですか」ではなく「そうですか」が使われる発話も見られたが、表 25 からわかるように、合計わずか 8 例であった。8 例の内訳を表 27 に示す。

表 27 「推測書き換え」と「推測不明（非一般的）」に「そうですか」が使用された例

番号	発話者	話題	話題の種類	話の展開を察している	マイナス面	分類
1	JOF01	外国の天気	非個人的	○	×	推測書き換え
2	JOF01	男女の就職の違い	非個人的	○	×	推測書き換え
3	JOF01	就職に対する気持ち	個人的	○	×	推測不明（非一般的）
4	JBM04	英語が不得意	個人的	×	○	推測書き換え
5	JOF01	友達への上司からの批判	非個人的	×	○	推測不明（非一般的）
6	JSM02	ロボット大会の裏話	非個人的	×	×	推測不明（非一般的）
7	NSOF01	上司が英語も日本語も堪能	非個人的	×	×	推測不明（非一般的）
8	JBM04	学園祭にきた有名人	非個人的	×	×	推測不明（非一般的）

8 例のうち太枠で示した 5 例は、発話者が相手の話の展開をある程度察しているか、相手が相手自身または相手自身と同じ立場の人のマイナス面について話している場合である。

(72) は相手の話の展開をある程度察しているものである。

(72) 推測書き換え

01 母語話者 A：で、ロシアに行って教えようかなって思ってたんですけど、（うん
うん）でも遠いんですよ、ロシアって。

02 母語話者 B：そっか<笑い>。

03 母語話者 B：ロシアしかも、寒いですか?。

04 母語話者 A：うん一、、

05 母語話者 B：そうでもない?。

06 母語話者 A：夏はすごく暑いんですけど=、

07 母語話者 B：=あ、そうですか=。 (192-14-JBF01-JOF01)

(72) では、03 で単に「寒いですか?」と真偽を聞いているだけならば、推測的認識が存在するとは言いがたいが、01 の「遠い」という相手の話の後に「寒いですか?」と聞くときに「しかも」を使用している。そのため、母語話者 B は「遠いうえに寒いだろう」という推測を持っていると見なされる。しかし、04 の相手の「うん一」を受け、05 では「そうでもない?」と母語話者 B が聞いている。すでに 04 と 05 で認識が置き換えされることを察したうえで、06 で推測的認識が書き換えられたのだと考えられる。

(73) は母語話者 B が個人のマイナス面について話をしているものである。

(73) 推測書き換え

01 母語話者 A：じゃあ「JOM02 姓」さんは、は、国際協力コースっていうのに受講したことあるんですか?。

02 母語話者 B：うん、したことある=。

03 母語話者 B：=それ、10 か…10 回なんだけど、（へえ一）10 回数万円なんだけど、9 回か 8 回行った。

04 母語話者 A：じゃあ英語なん…。

05 母語話者 B：いやそこは日本語（あつ）、それだけ日本語だから（<笑い>）、英語だったら行ってないけどね<笑いながら>。

06 母語話者 A：あ一、そうですか<笑い>[↓]。

07 母語話者 A：へえ一。

08 母語話者 B：だから…、うん、だから…あそこ行くと、いいと、、

09 母語話者 A：そう<ですね>{<}&。

10 母語話者 B：<思います>{>}&。 (206-14-JBM04-JOM02)

(73) では、04 で 母語話者 A が講義は英語で行われるという推測的認識を持っている

話者 B が「なんかあるんですか?」と聞いているため、推測的認識はなかったと見なし、「推測不明」としている。また、テレビで大会を見る視聴者の常識とは異なる実際の様子を話しているため、「推測不明（非一般的）」である。13 の「そうですか」は「そうなんですか」に変えても違和感がない。

以上のように、基本的な使用規則と異なる「そうですか」の母語話者の使用を分析した結果、会話の展開を察している場合や「そうですか」と「そうなんですか」のどちらでも使用可能な場合に「そうですか」を使用する場合があることがわかった。また、相手のポジティブフェイスとネガティブフェイスに配慮した使い分けが行われていることがわかった。

2. 4 学習者の使用状況

学習者による「そうですか」と「そうなんですか」の出現数を表 28 に示す。太枠は基本的な使用規則と一致しているものを示す。

表 28 学習者の「そうですか」と「そうなんですか」の出現数

形式	自然さ判定	推測 保持	推測 書き換え	推測不明 (一般的)	推測不明 (非一般的)	判断 不能	計
そうですか	自然	2	0	11	2	1	16
	不自然	2	2	20	16	1	41
	誤用	2	0	0	3	0	5
	計	6	2	31	21	2	62
そうなんですか	自然	0	1	0	1	1	3
	不自然	0	0	0	0	0	0
	誤用	0	0	0	0	0	0
	計	0	1	0	1	1	3

まず、本節の仮説と異なるにも関わらず学習者の発話が自然であったものに注目する。表 28 の「そうですか」の「推測不明（非一般的）」の 2 例は、使用規則に従えば「そうなんですか」を使用したほうが自然だと考えられるが、学習者の「そうですか」の使用が母語話者に自然と判定されている。次の 2 例である。

(75) 推測不明 (非一般的)

01 学習者：日本の教師は、普通はさっき言ったようにですか？。

(中略)

05 母語話者：やはりまあ、10分、10分20分は余裕で遅れて、10分20分早く終わりますね。

06 学習者：あ、早く。

07 母語話者：はい。

08 学習者：そうですか。(2/5)

(139-9-NNSBM02-NSSM01)

(76) 推測不明 (非一般的)

01 母語話者：それで、日本の場合は30分(はい)、授業が始まって30分の間に先生がこなかったら(はい)自然休講<笑い>、<自然休講です>{<}。

02 学習者：<あ、そうですか>{>}。(1/5)

(139-9-NNSBM02-NSSM01)

(75) と (76) は連続した発話である。(75) の日本の大学の授業が早く終わることと、(76) の自然休講のことのいずれも母語話者がいきなり告白した情報であり、学習者が話の流れで推測していたとは考えにくい。留学経験のない台湾人学習者にとって、日本の大学の事情は台湾と異なり、台湾人の常識と異なる非一般的な情報であるため、基本的な使用規則では「そうなんですか」のほうが自然だと考えられる。

しかし、母国の大学の先生が授業を早く終わらせたり自然休講させたりする話は、母語話者が母語話者自身と同じ集団の人のマイナス面を暴露していることになる。学習者が相手のマイナス面に踏み込まずに「そうですか」を使用したほうが、相手のネガティブフェイスを脅かさずに済むことができるため、自然となる。学習者が意図したうえで(75)(76)に「そうですか」を使用したのかは不明であるが、その使い方は、2.3の(73)の相手は英語が不得意であるという話の際に「そうですか」を使用して相手のネガティブフェイスの侵害を避けるという使い方と一致している。

次に、学習者の不自然な使用または誤用となったものに注目する。表28から学習者の不自然な使用または誤用は「そうですか」のみに現れていることがわかる²⁷。そこで、表22の「そうですか」の「推測保持」で不自然あるいは誤用とされた4例および「推測不明

²⁷ 「そうなんですか」の必要性を学習者が理解していない、使用を回避しているなどの可能性も考えられるが、本節では原因を特定することができなかった。

(一般的)」で不自然とされた 20 例について、個人的なことか非個人的なことかといった話題の種類の情報も加え、表 29 に示す。

表 29 使用規則と異なる学習者の「そうですか」の詳細

話題の種類	自然さ判定	推測保持	推測不明 (一般的)	計
個人的	不自然	1	17	18
	誤用	2	0	2
非個人的	不自然	1	3	4
	誤用	0	0	0
計		4	20	24

上記の表 29 からわかるように、学習者の「そうですか」が不自然あるいは誤用と判定された 24 例のうち太枠で示した 20 例が個人的な話題であった。基本的な使用規則とは異なるが、2. 3 で述べたように「そうなんですか」に変えることによって、相手の個人的な話に関心を持っていることを示し、ポジティブフェイスの欲求を満たすことができるのだと考えられる。(77) がその一例である。

(77) 推測不明 (非一般的)

01 学習者：で、(<2 人笑い 3 秒>)、えと、「【母語話者】の姓」さんは 1 人暮らしたことが<ありますか?>{<}>。

02 母語話者：<えと、えとね、>{>}1 ヶ月だけある。

03 学習者：1 ヶ月、(<笑い>) 1 ヶ月だけ?<2 人笑い>。

(中略)

04 母語話者：学園祭の時に、「大学名 1」は 1 ヶ月半ぐらい、皆で、おみこしって分かる?[↑]。

(中略)

05 母語話者：この、1、2、3 年生は、(はい) 代表の学年で、(はい) 自分たちが最後の学園祭だから、(はい) その、中国学科っていうところに入ってるのね。

06 学習者：はい。

07 母語話者：「大学名 1」中国語学科っていう、ここの、えと、たまたま代表にや
ってしまって(<笑い>)、それで、どうしても帰るのが晩くなってしまう
うから、(うん) その、学園祭の時だけ、1 人暮らし。

08 学習者：あー、そうですか[↓]。(5/5) (131-9-NNSBF01-NSSF01)

(77) では、学習者の推測的認識の存在が確認できず、02 に母語話者が 1 ヶ月だけ一人暮らしをしていたという話であったため、「推測不明 (非一般的)」に分類した。1 ヶ月だけ一人暮らしをしていた経緯を長く話し続けていた母語話者に対し、学習者が 08 で「あー、そうですか」で聞き流してしまっており、冷たさやそっけなさを感じさせる危険性がある。「そうですか」を「そうなんですか」に変えることで相手のポジティブフェイスの欲求を満たし、冷たさやそっけなさを感じさせることがなくなると考えられる。

最後に、学習者の全体の使用傾向に注目する。学習者の使用には母語話者の使用規則と一致したもの、さらに相手のフェイスにも配慮したようなものもあれば、不自然な使用または誤用と判定されたものもある。学習者の「そうですか」は 62 例出現しているが、そのうち 5 例が「そうなんですか」に変える必要があると判定され、41 例が「そうなんですか」に変えたほうが良いとされている。学習者による「そうなんですか」の使用はわずか 3 例であったが、3 例とも自然と判定されている。

つまり、学習者が「そうなんですか」を使えるようになると、より自然な発話になることが期待できる。

2. 5 本節のまとめ

本節の結論を以下の 3 点にまとめる。

- ・ 情報獲得の際、「推測書き換え」と「推測不明 (非一般的)」の場合は「そうなんですか」を使用し、「推測保持」と「推測不明 (一般的)」の場合は「そうですか」を使用することが、ソウナンデスカの日本語母語話者の基本的な使用規則である。
- ・ 基本的な使用規則から逸脱する場合として次の 2 つがある。1 つは相手が個人的な話をしている際に、その話に興味を持つことを示すために「そうなんですか」を使用して相手のポジティブフェイスの欲求を満たした場合である。もう 1 つは相手が相手自身または相手自身と同じ立場の人のマイナス面について話している際にあえて「そうですか」を使用して相手のネガティブフェイスの侵害を避けたりすることがある。

- ・ 日本語能力試験一級に合格した JFL 学習者の発話から、「そうですか」を使用したことで不自然となる例が多く観察でき、「そうなんですか」の使用はほとんど見られなかった。「そうなんですか」を適切に使用できるようになることで、より自然な発話になることが期待できる。

しかし、ソウナンデスカが適切に使用できるかどうかはコミュニケーション上の問題であるため、日本語能力試験といった言語能力を測定するテストでなく、コミュニケーション能力を測定するテストを用いた場合、どの習熟度の学習者が使えるかは不明である。

また、学習者の日本語の習熟度によって「そうなんですか」が使える学習者は基本的な使用規則から逸脱した使い方も習得できるかという疑問が残る。

そこで、本章の結果に基づいて、第 8 章で選択肢問題を用いて以下の仮説を検証する。

- ⑫ 母語話者は、「推測保持」「推測不明（一般的）」の場合に「そうなんですか」を選択し、「推測書き換え」「推測不明（非一般的）」の場合に「そうですか」を選択しやすい。相手のフェイスに配慮した場合は上記の規則と異なる選択が見られる。
- ⑬ 学習者は、⑫のいずれの場合でも「そうなんですか」をあまり選択しない。

第8章 母語話者と学習者のノダの理解と産出規則の検証

第1節 調査目的

本論文独自の調査は日本語学習者を対象とし、第4章、第5章、第6章の結果から得た仮説を検証することを目的とする。それぞれの章の結果に基づいた仮説を以下にまとめる。

第4章では、母語話者のノダの使用傾向について調査し、以下の仮説を立てた。

- ① 母語話者は〈承前のノダ〉より〈後続のノダ〉の場合にノダを選択する傾向がある。
- ② 母語話者は〈承前のノダ〉の中では〈帰結〉、〈後続のノダ〉の中では〈前置き〉と〈話題継続〉の場合にノダを選択する傾向がある。
- ③ 母語話者は意見提供の際には〈主題提起〉の場合のノダを選択しない傾向がある。

第4章の結果は雑談資料から導いたものであるため、話題内容に左右される可能性がある。また、母語話者は15名であるため、個人差が考えられる。そこで、本章では話題の内容を統制した選択肢問題を用いて、さらに多くの母語話者を対象に①～③の仮説を立てた。

第5章では、学習者のノダの使用傾向と母語話者と比較し、学習環境が学習者のノダの使用傾向に与える影響について調査し、以下の仮説を立てた。

- ④ JFL 学習者は〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉を同程度に選択する。JSL 学習者は母語話者と同様、〈後続のノダ〉の場合のほうが〈承前のノダ〉の場合より選択しやすい。
- ⑤ 〈話題継続〉の場合のノダは、JFL 学習者より JSL 学習者のほうが選択しやすい。
- ⑥ 〈前置き〉の場合のノダは、JFL 学習者も JSL 学習者もあまり選択しない。

第5章は第4章と同様、調査結果が話題に左右される可能性と個人差の可能性が考えられる。そのうえ、JFL 学習者も JSL 学習者も日本語の習熟度については日本語能力試験一級に合格しているという情報しかないため、両者が同じ習熟度にあるというという保障はない。そこで、本章では日本語の習熟度を詳しく測定したうえで、選択肢問題で調査文を統制して多くの学習者を対象に④～⑥を仮説として検証を行う。

第6章では、学習者の習熟度がノダの使用傾向に与える影響について調査し、以下の仮説を立てた。

- ⑦ 上級学習者は中級学習者よりノダを選択しやすい。
- ⑧ 中国語を母語とする中級学習者も上級学習者も、〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉を同程度に選択する。
- ⑨ 習熟度の低い学習者は単純な質問回答において、相手の認識を修正しようとする際

にノダを選択しやすい。

第6章の結果は OPI の会話資料である KY コーパスから導いたものであるため、いくつかの問題が考えられる。具体的には中級学習者と上級学習者の会話時間と会話量が異なること、会話を始めるまたは終わらせる主導権は母語話者が握っていること、話題と質問内容が一定していないことである。これらの問題を解決するために、本章は OPI で日本語の習熟度を測定したうえで、選択肢問題で調査文を統制して多くの学習者を対象に⑦～⑨を仮説として検証を行う。なお、OPI の習熟度判定の初級、中級、上級、超級のうち、下限と上限が測定できる中級と上級学習者を分析対象とする。

第7章では、聞き手に不快感を与える危険性のあるノダについて調査した。ノダカラの母語話者の使用規則と、ソウナンデスカの母語話者の使用規則と学習者の使用傾向および蓮沼（2008）の指摘に基づき、本章では以下の仮説について検証を行う。

- ⑩ 母語話者は、ノダカラの文の前件が相手の知っていることの場合にノダを選択しやすい。後件は、前件との必然性が読み取れる内容である。
- ⑪ 学習者は、ノダカラの文の前件が相手の知っていることかどうかによっても、前件と後件の必然性が示されているかどうかによってもノダの選択傾向に違いが見られない。
- ⑫ 母語話者は、「推測保持」「推測不明（一般的）」の場合に「そうなんですか」を選択し、「推測書き換え」「推測不明（非一般的）」の場合に「そうですか」を選択しやすい。相手のフェイスに配慮した場合は上記の規則と異なる選択が見られる。
- ⑬ 学習者は、⑫のいずれの場合でも「そうなんですか」をあまり選択しない。

第2節 調査方法

本節では調査方法と調査参加者の詳細を紹介する。

まず、調査方法を以下にまとめる。

調査時期は2016年9月～2016年12月である。

母語話者に対する調査は、ノダを使用するかどうかの二者択一の質問紙調査（[添付資料6] 参照）を用いた。各設問が当てはまるノダの分類と発話機能を表30に示す。

表 30 質問紙調査の設問が対応するノダの分類と発話機能

分類	下位分類	体験	意見
承前	事情	1)	2)
	換言	3)	4)
	帰結	5)	6)
後続	前置き	7)	8)
	主題提起	9)	10)
	話題継続	11)	12)
単純な質問回答	相手の認識を維持する	13)、14)	15)、16)
	相手の認識を修正する	17)、18)	19)、20)
	相手の疑問詞疑問文に答える	21)、22)	23)、24)
ノダカラ		後件「だろう」 ²⁸ 有	後件「だろう」無
	前件は相手が知っていること	25)	26)
	前件は相手が知らないこと	27)	28)
デスナン		「推測保持」 「推測不明（一般的）」	「推測書き換え」 「推測不明（非一般的）」
	基本的な使用規則	29)	30)
	基本的な使用規則からの逸脱	31)	32)

なお、設問の順番による影響を排除するため、設問の順番をランダムに並べ替え、A, B, C, D の 4 パータンの調査紙で調査を行った。

学習者に対する調査²⁹は、a. OPI による日本語の習熟度の判定³⁰、b. ロールプレイ³¹、c. 母語話者と同様のノダを使用するかどうかの二者択一の質問紙調査、の 3 つである。

なお、ロールプレイは学習者の理解と産出の間の違いを分析するために設けた。口頭産出の際にはほぼすべての文にノダを使用したにもかかわらず、質問紙調査の際にノダを選択

²⁸ 前件と後件の間の必然性を表す文末モダリティ形式

²⁹ 全員記入を求めた調査同意書の様式を [添付資料 7] に示す。

³⁰ 本論文の習熟度の判定結果はテスターである筆者 1 人によるものである。公式な判定はテスター 2 名以上によって行われる。

³¹ ロールプレイ課題の詳細を [添付資料 8] に示す。

したり選択しなかったりする学習者が1名（JFL36）いる。また、口頭産出の際にはほぼノダを使用しなかったにもかかわらず、質問紙調査の際に記入漏れの1問を除いてすべての設問にノダ使用を選択した学習者が1名（JSL19）いる。

しかし、ロールプレイでは、本論文では同じ分類に属しているノダでも学習者がノダを使用したり使用しなかったりすることがあり、〈承前のノダ〉〈後続のノダ〉以外の要因による影響が大きいと推測される。そのため、本論文では質問紙調査を中心に分析を行う。

つぎに、調査協力者の詳細を以下にまとめる。

調査に参加した母語話者は兵庫県の大学に在学している日本語母語話者 60 名である。調査時間は一人 20 分以内である。

調査に参加した JFL 学習者は 40 名である。そのうちの英語母語話者 2 名と、日本に 2 年以上滞在した 1 名を除き、37 名の学習者を分析対象とする。37 名全員が中国語話者であり、中国の大学院に在学している日本滞在 2 年未満の学習者である。OPI によって日本語の習熟度でグループ分けをした結果、中級 11 名、上級 26 名であった。調査時間は一人 60 分程度である。

調査に参加した JSL 学習者は 38 名である。そのうちの日本滞在歴が 2 年未満の 1 名を除き、37 名の学習者を分析対象とする。37 名全員が中国語話者であり、日本滞在 2 年以上の学習者である。OPI によって日本語の習熟度でグループ分けをした結果、中級 7 名、上級 30 名である。調査時間は一人 60 分程度である。

調査協力者の詳細情報を〔添付資料 9〕に示す。

データの整理と集計は表計算ソフト Microsoft Office Excel 2013 によって行われ、統計的分析は統計解析ソフトウェア IBM SPSS Statistics22 によって行われた。

第3節 調査結果と考察

3.1 母語話者の〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の選択傾向

まず、母語話者は〈承前のノダ〉より〈後続のノダ〉の場合にノダを選択する傾向があるという仮説①の検証を行う。母語話者の〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉における選択傾向を表31に示す。

表31 母語話者の〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉における選択傾向

分類	下位分類	発話機能	設問	ノダを選択した人数	割合	
承前	事情	体験	1 問目	29	48.3%	51.4%
		意見	2 問目	42	70.0%	
	換言	体験	3 問目	30	50.0%	
		意見	4 問目	36	60.0%	
	帰結	体験	5 問目	20	33.3%	
		意見	6 問目	28	46.7%	
後続	前置き	体験	7 問目	51	85.0%	73.3%
		意見	8 問目	49	81.7%	
	主題提起	体験	9 問目	48	80.0%	
		体験	11 問目	45	75.0%	
	話題継続	意見	10 問目	30	50.0%	
		意見	12 問目	41	68.3%	

表31から、〈後続のノダ〉の選択率が73.3%で、〈承前のノダ〉の選択率より多いことがわかる。

母語話者のノダの分類による選択の違いを分析するために、反復測定による1元配置の分散分析を行った。その結果、ノダの分類による効果が有意であった($F(1,133)=34.443, p<.001$)。したがって、母語話者において〈後続のノダ〉の選択率のほうが〈承前のノダ〉の選択率よりも高いことが明らかとなり、仮説①は支持された。

つぎに、母語話者は〈承前のノダ〉の中では〈帰結〉、〈後続のノダ〉の中では〈前置き〉と〈話題継続〉の場合にノダを選択する傾向があるという仮説②の検証を行う。〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉に関する結果を表32に示す。

表 32 〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉における母語話者の選択傾向

分類	下位分類	発話機能	設問	ノダを選択した人数	割合	
承前	事情	体験	1 問目	29	48.3%	59.2%
		意見	2 問目	42	70.0%	
	換言	体験	3 問目	30	50.0%	55.0%
		意見	4 問目	36	60.0%	
	帰結	体験	5 問目	20	33.3%	40.0%
		意見	6 問目	28	46.7%	
後続	前置き	体験	7 問目	51	85.0%	83.3%
		意見	8 問目	49	81.7%	
	主題提起	体験	9 問目	48	80.0%	77.5%
		体験	11 問目	45	75.0%	
	話題継続	意見	10 問目	30	50.0%	59.2%
		意見	12 問目	41	68.3%	

表 32 から〈承前のノダ〉の中で〈帰結〉のノダを選択した母語話者の割合が最も低かったことがわかる。

〈後続のノダ〉の中で、〈前置き〉のノダの選択率が最も高いが、〈話題継続〉のノダの選択率が最も低いことがわかる。仮説②は支持されなかった。

〈帰結〉のノダと〈話題継続〉のノダは母語話者の雑談には多く出現したが、質問紙調査では最も選択されやすいものではなかった。質問紙調査で母語話者の選択率が最も高かったのは〈前置き〉である。

2 番目に選択率が高かったのは〈事情〉のノダである。本論文で〈事情〉と呼んでいる用法は、先行研究から典型的と考えられる例である。第 4 章の (25) ～ (29) に挙げた先行研究からの引用例はすべて〈事情〉を表すものである。しかし、〈事情〉のノダに当たる 1 問目 (48.3%) と 2 問目 (70.0%) のノダの選択率の差が大きかった。1 問目は (78)、2 問目は (79) に挙げる。

(78) A: 昨日、授業を休んだでしょう？

B: はい。風邪を { () ひきました / () ひいたんです } 。

(79) A: 学校の食堂によく行くらしいですね。

B: そうですね。あそこは安いですし、カレーがすごく { () おいしいです

／（ ）おいしいんです} 。

(78) と (79) の選択率の差が大きかった理由は3つ考えられる。1つは体験 (79) と意見 (80) といった発話機能の違いである。

2つめは設問の順番の影響である。表 33 に示すように、〈事情〉を表す 1) に調査紙のパターン C では選択する人がいなかった。パターン C の 1) の直前の設問は 24) であり、24) 母語話者 60 名中ノダを選択したのはわずか 1 名である。つまり、〈事情〉を表す 1) はパターン C において直前の設問 24) の影響を受けたと考えられる。

表 33 1) の設問パターンによる選択傾向

	A	B	C	D	計
ノダ無	4	5	13	7	29
ノダ有	12	10	0	7	29
無効	1	1	0	0	2
計	17	16	13	14	60

設問 24) は (80) に挙げる。

(80) (パーティーの最後に)

A: 今日はどうでしたか?

B: とても { () 楽しかったです／ () 楽しかったんです} 。

A: そうですか。よかったらまた来てくださいね。

しかし、なぜ (78) の選択率が直前の (80) に影響されるかについては検討が必要である。

3つめは、(78)の文脈で「風邪をひいたんです」と言うと言解がましくなるという点である。いわゆる教科書的な用法であっても、こういった理由によって母語話者が選択しない可能性が見いだされた。

最後に、母語話者は意見提供の際には〈主題提起〉の場合のノダを選択しない傾向があるという仮説③の検証を行う。体験の文と意見の文における母語話者のノダの選択を表 34 に示す。

表 34 体験提供と意見提供における母語話者のノダの選択傾向

発話機能	設問番号	ノダを選択した人数	割合 ³²	
体験	1 問目	29	48.3%	57.8%
	3 問目	30	50.0%	
	5 問目	20	33.3%	
	7 問目	51	85.0%	
	9 問目	48	80.0%	
	10 問目	30	50.0%	
意見	2 問目	42	70.0%	66.9%
	4 問目	36	60.0%	
	6 問目	28	46.7%	
	8 問目	49	81.7%	
	11 問目	45	75.0%	
	12 問目	41	68.3%	

表 34 から意見の文が体験の文よりノダの選択率が低いという結果は得られなかった。仮説③は支持されなかった。

第 4 章では母語話者は意見提供の文におけるノダの使用が少ないという結果であったが、第 4 章第 3 節の考察で述べたように、母語話者が自ら意見を提供する場面が少ないことが原因だと考えられる。本調査では体験提供の文と意見提供の文を同じ数で提示した結果、両者の間にノダの選択傾向に違いがないことがわかった。

3. 2 学習者の〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の選択傾向

ここでは学習環境と日本語の習熟度の 2 つの要因、および学習者のノダの使用規則について検証する。

まず、学習環境に関する仮説の検証を行う。

JFL 学習者は〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉を同程度に選択する。JSL 学習者は母語話者と同様、〈後続のノダ〉の場合のほうが〈承前のノダ〉の場合より選択しやすいという仮説④を検証するために、JFL 学習者と JSL 学習者の〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の

³² 母語話者の協力者 60 名の中に占める割合である。

選択傾向を表 35 に示す。

表 35 JFL 学習者と JSL 学習者の〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の選択傾向

分類	設問番号	JFL (37 人)			JSL (37 人)		
		ノダを選択した 人数	割合 ³³		ノダを選択した 人数	割合	
承前	1 問目	27	73.0%	55.0%	18	48.6%	41.9%
	2 問目	21	56.8%		19	51.4%	
	3 問目	20	54.1%		15	40.5%	
	4 問目	11	29.7%		8	21.6%	
	5 問目	17	45.9%		14	37.8%	
	6 問目	26	70.3%		19	51.4%	
後続	7 問目	18	48.6%	53.2%	21	56.8%	58.1%
	8 問目	28	75.7%		21	56.8%	
	9 問目	15	40.5%		18	48.6%	
	10 問目	13	35.1%		19	51.4%	
	11 問目	24	64.9%		25	67.6%	
	12 問目	20	54.1%		25	67.6%	

JFL 学習者も JSL 学習者も〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の間に選択率の大きな違いが見られなかった。仮説④は支持されなかった。

しかし、JSL 学習者の〈後続のノダ〉の選択率は〈承前のノダ〉よりわずかながら高く、本節の 3.1 の母語話者と同じ傾向を示している。第 5 章の雑談資料から得た結果と一致している。つまり、JSL 学習者のほうが〈後続のノダ〉を多く使用し、母語話者と似た傾向を示している。学習環境によるノダの習得の違いがある可能性がある。

つぎに、〈話題継続〉のノダにおいて、JFL 学習者と JSL 学習者の間に選択率に大きな差があるという仮説⑤と、〈前置き〉の場合のノダは、JFL 学習者も JSL 学習者もあまり選択しないという仮説⑥の検証を行う。2 つの仮説に関する結果を表 36 にまとめる。

³³ JFL 学習者、JSL 学習者 37 名ずつの中に占める割合である。

表 36 JFL 学習者と JSL 学習者のノダの下位分類における選択率の差

分類	下位分類	設問番号	JFL（37 人）			JSL（37 人）			JFL－JSL （ポイント）
			ノダを 選択した 人数	割合		ノダを 選択した 人数	割合		
承前	事情	1 問目	27	73.0%	64.9%	18	48.6%	50.0%	14.9
		2 問目	21	56.8%		19	51.4%		
	換言	3 問目	20	54.1%	41.9%	15	40.5%	31.1%	10.8
		4 問目	11	29.7%		8	21.6%		
	帰結	5 問目	17	45.9%	58.1%	14	37.8%	44.6%	13.5
		6 問目	26	70.3%		19	51.4%		
後続	前置き	7 問目	18	48.6%	62.2%	21	56.8%	56.8%	5.4
		8 問目	28	75.7%		21	56.8%		
	主題提起	9 問目	15	40.5%	52.7%	18	48.6%	58.1%	-5.4
		11 問目	24	64.9%		25	67.6%		
	話題継続	10 問目	13	35.1%	44.6%	19	51.4%	59.5%	-14.9
		12 問目	20	54.1%		25	67.6%		

〈話題継続〉の 10 問目は (81) の太字、12 問目を (82) の太字の部分である。

(81) あのう、昨日の昼、友達 3 人が遊びに来る予定だったので、料理をたくさん
 { () 作りました / () 作ったんです } 。でも、約束の時間になってもだ
 れも来なかったので、1 人目に電話したら寝坊って言われて、2 人目に電話し
 ても寝坊、3 人目に電話したらやはり寝坊って { **() 言われました / ()**
言われたんです } 。結局だれも来ませんでした。

(82) あのう、昨日の夜、 { () 怖かったです / () 怖かったんです } 。1 人
 で家にいるとき、ベランダで子どもの泣き声がして、1 人では怖いからとにか
 くだれかを { () 呼びたかったです / () 呼びたかったんです } 。それで、
 大家さんを読んできて、一緒にベランダへ行ってもらったら、近所のネコでし
 た。

〈前置き〉の 7 問目は (83)、8 問目は (84) である。

(83) A : 就職活動、どうですか？

B: ああ、有名な会社の面接をいくつか { () 受けてみましたけど / () 受けてみたんですけど } うまくいかなくて、小さい会社でもいいかと思っているところです。

(84) A: 日本語学校を卒業したら日本の大学に入る予定ですか？

B: ええ、大学に { () 入りたいですけど / () 入りたいんですけど } 、学費が足りるかどうか心配で、まだ決めていません。

表 36 から、〈話題継続〉のノダにおける JFL 学習者と JSL 学習者の差が最も大きかったことがわかる。仮説⑤は支持された。〈前置き〉のノダにおける JFL 学習者と JSL 学習者の差が最も小さかった。仮説⑥は支持された。

〈前置き〉に関して JFL 学習者も JSL 学習者も選択率が低いことは、学習環境に関係なくノダの習得が困難だと言える。その原因は范 (2012) が指摘しているように、単文に使われるノダに比べ、〈前置き〉の場合は複文となることが関係しているのだと考えられる。文の構造の複雑さが文法項目の習得に影響しているということである。

仮説⑤の支持されたことにより、学習環境の違いが〈話題継続〉のノダの習得に与える影響は大きいと考えられる。一方、仮説⑥が支持されたことにより、学習環境の違いが〈前置き〉のノダの習得に与える影響は小さいと考えられる。

〈事情〉のノダは〈話題継続〉のノダと並んで JFL 学習者と JSL 学習者の差が大きかったが、JFL 学習者のほうが選択率が高かった。学習環境の違いが〈事情〉のノダの習得に負の影響を与えると考えられてよいかどうかについては検討の余地がある。〈主題提起〉のノダは〈前置き〉のノダと並べて JFL 学習者と JSL 学習者の差が小さかった。〈主題提起〉のノダも〈前置き〉のノダと同様、学習環境による影響を受けにくいと考えられる。

学習環境の違いが〈話題提起〉のノダに正の影響、〈事情〉のノダに負の影響を与えるのかを分析するために、表 37 で学習者と母語話者の選択傾向を比較する。

表 37 母語話者と学習者のノダの下位分類における選択率の差

分類	下位分類	NS ³⁴ 割合	NS-JFL (ポイント)	NS-JSL (ポイント)
承前	事情	59.2%	-5.7	9.2
	換言	55.0%	13.1	23.9
	帰結	40.0%	-18.1	-4.6
後続	前置き	83.3%	21.2	26.6
	主題提起	65.0%	12.3	6.9
	話題継続	71.7%	27.1	12.2

〈事情〉のノダも「NS-JFL ポイント」の値が「NS-JSL ポイント」より小さいが、「NS-JFL ポイント」の値がマイナスとなっている。すなわち、JFL 学習者のほうは JSL 学習者より母語話者の傾向に近いが、母語話者と比べてノダを使いすぎたということである。したがって、〈事情〉のノダの習得において学習環境が負の影響を与えるかどうかは結論付けられない。

趙（2008a）は学習環境の要因について、中国語母語学習者のノダの習得を対象に選択肢問題で調査している。SPOT で学習者を中級と上級に分け、中級学習者は学習環境による影響が見られず、上級学習者は学習環境による影響が見られたという。

しかし、趙（2008a）が用いたレベル分けテストは SPOT であり、天井効果の可能性が考えられる。また、ノダのどの使い方に違いが見られたかは不明である。本論文は OPI と質問紙調査の併用より、天井効果の可能性を排除し、学習環境の要因のみで分析を行うことができたことには意義がある。

つぎに、日本語の習熟度に関する仮説を検証する。なお、中級学習者と上級学習者の協力者人数が異なるため、以下の結果はノダの選択率で示す。

上級学習者は中級学習者よりノダの選択率が高いという仮説⑦を検証する。中級学習者と上級学習者のノダ選択率に関する結果を表 38 に示す。

³⁴ 「NS」は母語話者（native speaker）を表す。

表 38 中級学習者と上級学習者のノダの選択率

設問番号	発話機能	JFL 中級 (11 名)	JFL 上級 (26 名)	JSL 中級 (7 名)	JSL 上級 (30 名)	中級平均	上級平均
1 問目	体験	63.6%	76.9%	42.9%	50.0%	55.6%	62.5%
2 問目	意見	45.5%	61.5%	●71.4%	46.7%	●55.6%	53.6%
3 問目	体験	36.4%	61.5%	●57.1%	36.7%	44.4%	48.2%
4 問目	意見	●36.4%	26.9%	●42.9%	16.7%	●38.9%	21.4%
5 問目	体験	27.3%	53.8%	14.3%	43.3%	22.2%	48.2%
6 問目	意見	●90.9%	61.5%	●57.1%	50.0%	●77.8%	55.4%
7 問目	体験	45.5%	50.0%	●71.4%	53.3%	●55.6%	51.8%
8 問目	意見	72.7%	76.9%	●71.4%	53.3%	●72.2%	64.3%
9 問目	体験	36.4%	42.3%	42.9%	50.0%	38.9%	46.4%
10 問目	意見	●45.5%	30.8%	●71.4%	46.7%	●55.6%	39.3%
11 問目	体験	54.5%	69.2%	●71.4%	66.7%	61.1%	67.9%
12 問目	意見	●54.5%	53.8%	●71.4%	66.7%	●61.1%	60.7%
平均		50.8%	55.4%	●57.1%	48.3%	53.2%	51.6%

※中級学習者の割合に「●」が付いているのは中級学習者が上級学習者よりノダの選択率の高い設問を示す。

表 38 の「中級平均」と「上級平均」を比べると、12 の設問のうち 7 つの設問において中級学習者が上級学習者よりノダの選択率が高いことがわかる。仮説⑦は支持されなかった。

仮説⑦が支持されなかった理由は 2 つ考えられる。1 つは発話機能による影響である。中級学習者が上級学習者よりノダの選択率が高い設問、すなわち「●」が付いている設問を見ると、7 問目（体験を述べる〈前置き〉）以外はすべて意見を表す文であったことがわかる。中級学習者が意見を述べる際にノダを選択しやすいことが、上級学習者よりノダの選択率が高かった原因だと考えられる。小金丸（1990）は学習者は感情・意志を表す際にノダを使用して誤用になりやすいと指摘しているが、本調査の結果から特に OPI の中級学習者が感情・意志の文にノダを選択しやすいことがわかる。

もう 1 つは個人差の影響である。JSL 中級学習者 7 名のうち 1 名は、記入漏れの 12 問目以外を除き、すべての設問にノダを使うほうを選択した。その 1 名が JSL 中級学習者の 14.3%の結果を左右したため、JSL 中級学習者のノダ選択率が高くなったのだと考えられる。表 38 の「JFL 中級」と「JSL 中級」に付いている「●」を比べると、「JSL 中級」の「●」が多いことは個人差による影響の可能性の裏付けとなる。

なお、「JFL 中級」だけを見ても「●」がすべて意見の設問に付いていることから、上記の 2 つの要因が同時に影響している可能性が考えられる。

〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の選択率の差においては、中級学習者と上級学習者の間に大きな差がないという仮説⑧の検証結果を表 39 に示す。

表 39 中級学習者と上級学習者の〈承前のノダ〉〈後続のノダ〉におけるノダ選択率

分類	下位分類	中級平均割合		中級 後続－承前 ポイント	上級平均割合		上級 後続－承前 ポイント		
承前	事情	55.8%	48.8%	13.7	58.8%	48.8%	6.2		
	換言	43.2%			35.4%				
	帰結	47.4%			52.2%				
後続	前置き	65.3%	62.5%		58.4%	55.0%			
	主題提起	51.3%			57.1%				
	話題継続	60.7%			49.5%				

表 39 の結果から中国語を母語とする中級学習者も上級学習者も、〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の選択率に大きな差がないことがわかる。仮説⑧は支持された。

つまり、〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の選択において、学習環境による習得の違いは見られたが、日本語の習熟度による違いは見られなかったといえる。

最後に、習熟度の低い学習者は単純な質問回答において、相手の認識を修正しようとする際にノダを選択しやすいという仮説⑨の検証結果を表 40 に示す。

表 40 単純な質問回答におけるノダの選択率

分類	設問番号	JFL 中	JSL 中	JFL 上	JSL 上	NS
相手の認識を維持する	13 問目	63.6%	28.6%	61.5%	26.7%	25.0%
	14 問目	36.4%	14.3%	7.7%	16.7%	1.7%
	15 問目	36.4%	42.9%	15.4%	13.3%	5.0%
	16 問目	27.3%	42.9%	23.1%	13.3%	1.7%
平均		40.9%	32.1%	26.9%	17.5%	8.3%
相手の認識を修正する	17 問目	45.5%	57.1%	65.4%	33.3%	5.0%
	18 問目	36.4%	57.1%	42.3%	30.0%	3.3%
	19 問目	54.5%	57.1%	50.0%	16.7%	0.0%
	20 問目	9.1%	57.1%	26.9%	23.3%	5.0%
平均		36.4%	57.1%	46.2%	25.8%	3.3%
相手の疑問詞疑問文に答える	21 問目	45.5%	28.6%	34.6%	13.3%	6.7%
	22 問目	36.4%	42.9%	42.3%	23.3%	0.0%
	23 問目	27.3%	42.9%	11.5%	16.7%	0.0%
	24 問目	18.2%	57.1%	19.2%	20.0%	1.7%
平均		31.8%	42.9%	26.9%	18.3%	2.1%

相手の認識を修正する 17 問目～20 問目は (85) ～ (88) である。

(85) A : 日本に来たのは今年でしたっけ？

B : いえ。去年の 3 月に { () 来ました／ () 来たんです } 。

A : あ、そうでしたか。

(86) A : レポート、まだ出していないですよ？

B : いえ。さっき { () 出しました／ () 出したんです } 。

A : あ、そうですか。

(87) (A さんが作った料理を、B さんが食べた後)

A : 料理、けっこう残っていますね。おいしくないですか？

B : いえ。とても { () おいしいです／ () おいしいんです } 。おなか
がいっぱい。

A : そうですか。よかった。

(88) (パーティーの最後に)

A : 元気ないですね。今日はあまり楽しかったですか？

B : いえ。とても { () 楽しかったです／ () 楽しかったんです } 。夜
遅くなると眠くて。

A : そうですか。よかったらまた来てくださいね。

表 40 から見ると、JSL 中級学習者、JFL 上級学習者、JFL 上級学習者とも「相手の認識を修正する」際のノダの選択率が、「相手の認識を維持する」際と「相手の疑問詞疑問文に答える」際より高いことがわかる。JFL 中級学習者を除いて仮説⑨は支持された。

3. 3 ノダカラとソウナンデスカの母語話者と学習者の選択傾向

ここでは不快感を与える危険性のあるノダの選択傾向を調査する。

まず、ノダカラの選択傾向を表 41 に示す。

表 41 母語話者と学習者のノダカラの選択傾向

設問番号	前件	後件	JFL 中	JSL 中	JFL 上	JSL 上	NS
25 問目	相手の知っている情報	「だろう」有	63.6%	85.7%	46.2%	36.7%	65.0%
26 問目	相手の知っている情報	「だろう」無	36.4%	57.1%	42.3%	43.3%	86.7%
27 問目	相手の知らない情報	「だろう」有	27.3%	85.7%	26.9%	50.0%	13.3%
28 問目	相手の知らない情報	「だろう」無	45.5%	57.1%	42.3%	26.7%	13.3%

表 41 から、母語話者は 25 問目と 26 問目にノダを選択する人が多いことがわかる。25 問目と 26 問目の前件は相手の知っていることであり、ノダカラが選択されやすい。25 問目と 27 問目は「だろう」有、26 問目と 28 問目は「だろう」無である。母語話者のノダカラの選択傾向は「だろう」のような文末モダリティ形式の有無に影響されていないことがわかる。

つまり、学習者は、ノダカラの文の前件が相手の知っていることかどうかによっても、前件と後件の必然性が示されているかどうかによってもノダの選択傾向に違いが見られないという仮説⑩は支持された。

学習者の結果からは母語話者と同じ傾向は見られなかった。しかし、JSL 中級学習者は 25 問目と 27 問目にノダカラを選択しやすい傾向がある。その可能性は 2 つ考えられる。1 つは 25 問目も 27 問目も後件に「だろう」を使用しているためである。JSL 中級学習者のみが文末モダリティ形式でノダカラを選択する傾向が見られると考えられるが、その理由が妥当かどうかは本調査では断言できない。もう 1 つは 25 問目も 27 問目も映画が「人気があるんですから」という設問であり、「人気がある」のような一般性のある事実「人気があるんですから」を付けている可能性もある。ノダカラが用いられる文の文末モダリティ形式と、ノダカラの直前の語のどちらが JSL 中級学習者のノダカラの選択にどのように影響するのかは今後さらに調査の必要がある。

母語話者は、ノダカラの文の前件が相手の知っていることの場合にノダを選択しやすい。後件は、前件との必然性が読み取れる内容であるという仮説⑩は部分的に支持された。

つぎに、ソウナンデスカの母語話者と学習者の選択傾向を表 42 に示す。

表 42 母語話者と学習者のソウナンデスカの選択傾向

設問番号	情報	相手のフェイス	JFL 中	JSL 中	JFL 上	JSL 上	NS
29 問目	保持	－	54.5%	71.4%	26.9%	26.7%	76.7%
30 問目	書き換え	－	63.6%	71.4%	61.5%	56.7%	95.0%
31 問目	保持	ポジティブ	63.6%	71.4%	50.0%	56.7%	88.3%
32 問目	書き換え	ネガティブ	72.7%	71.4%	69.2%	60.0%	93.3%

表 42 から、母語話者は、「推測保持」「推測不明（一般的）」の場合に「そうなんですか」を選択し、「推測書き換え」「推測不明（非一般的）」の場合に「そうですか」を選択しやすい。相手のフェイスに配慮した場合は上記の規則と異なる選択が見られるという仮説⑫は支持されなかった。

学習者は、いずれの設問でも「そうなんですか」の選択率が母語話者より低い、いずれも 50.0%以上の選択率を示している。学習者は、いずれの場合でも「そうなんですか」をあまり選択しないという仮説⑬は支持されなかった。

仮説⑫と仮説⑬については、質問紙調査のような文字による調査と、雑談のような音声の場合の違いだと考えられる。本調査は音声情報がないため、「そうですか」は相手に冷たさを感じさせる可能性がある。そのため、「推測保持」「推測不明（一般的）」の場合でも母語話者と学習者が「そうなんですか」を選択することになったと考えられる。

第 4 節 第 8 章のまとめ

質問紙調査によってわかったことをまとめる。

母語話者のノダの選択傾向に関して、以下の 3 点が明らかになった。

- ① 母語話者は〈承前のノダ〉に比べ〈後続のノダ〉の場合に、ノダの選択率が高い。
- ② 母語話者は〈承前のノダ〉の〈事情〉と、〈後続のノダ〉の〈前置き〉において、ノダの選択率が高い。
- ③ 母語話者は体験の文に比べて意見の文でノダの選択率が低いわけではない。

②と③は第 4 章の雑談資料から得た結果と異なる。その違いは雑談資料は使用実態を反映したものであり、本章は各種類の文の数を統制したうえでの調査、ということにある。

学習環境による学習者のノダの選択傾向の違いに関しては、以下の 3 点が明らかになった。

- ④ JFL 学習者も JSL 学習者も〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉において、ノダの

選択率に大きな差が見られなかった。しかし、JSL 学習者ほうが、〈後続のノダ〉におけるノダの選択率が高い。

- ⑤ 〈話題継続〉のノダにおいて、JFL 学習者と JSL 学習者の間の選択率に大きな差がある。

- ⑥ 〈前置き〉のノダにおいて、JFL 学習者も JSL 学習者も選択率が低い。

④～⑥から、学習環境が〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の習得に影響を与えており、日本滞在期間の短い学習者は〈後続のノダ〉の習得が遅れると言える。JFL 学習者は〈話題継続〉と〈前置き〉、JSL 学習者は〈前置き〉の習得が困難である。習得が困難と考えられるこの 2 種類のノダはいずれも〈後続のノダ〉であることから、〈後続のノダ〉の習得が〈承前のノダ〉より困難だと言える。

日本語の習熟度による学習者のノダの選択傾向の差に関して、以下の 3 点がわかった。

- ⑦ JFL 中級学習者は意見を表す文において JFL 上級学習者よりノダの選択率が高い。

- ⑧ 〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の選択率の差においては、中級学習者と上級学習者の間に大きな差がない。

- ⑨ JFL 上級学習者、JSL 中級学習者、JSL 上級学習者は単純な質問回答において、相手の認識を修正しようとする際にノダの選択率が高い。

⑦と⑨から JFL 中級学習者は意見を表す文にノダを使用するという使用規則と、単純な質問回答の際に相手の認識を修正する際にノダを使用するという使用規則が考えられる。前者は上級段階の学習にその傾向が見られなくなるが、後者は上級段階の学習者にも見られる。⑧から〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の習得において日本語の習熟度による違いは小さいと考えられる。

聞き手に不快感を与える危険性のあるノダの母語話者と学習者の選択傾向について、以下の 3 点がわかった。

- ⑩ 母語話者は、ノダカラの文の前件が相手の知っていることの際にノダの選択率が高く、相手の知らないことの際にノダの選択率が低い。後件については、前件と間の必然性を表す文末モダリティ形式や語彙の有無による選択率の差はない。

- ⑪ 学習者は、ノダカラを選択する際に前件が相手の知っていることかどうかに影響されない。JSL 中級学習者のノダカラの選択は文末モダリティ形式の有無に

影響される傾向がある。

⑫ 母語話者は、いずれの文においても「そうなんですか」の選択率が高い。

⑬ 学習者は、母語話者ほどではないが、いずれの場合でも「そうなんですか」の選択率が高い。

⑩と⑪から母語話者は文末モダリティ形式を手掛かりにしなくてもノダカラを選択することができるが、学習者はそうではないことがわかる。⑫と⑬については調査方法による影響が考えられる。質問紙調査のような文字による調査と、雑談のような音声の場合の違いだと考えられる。本調査は音声情報がないため、「そうですか」は相手に冷たさを感じさせる危険性がある。そのため、「推測保持」「推測不明（一般的）」の場合でも母語話者と学習者が「そうなんですか」を選択することになったと考えられる。

第9章 終章

第1節 本論文のまとめ

本論文は〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉について、発話資料を用いた調査と質問紙調査の両方から母語話者と学習者のノダの使用傾向を調査した。学習者に関しては学習環境と日本語の習熟度の要因から分析を行った。

母語話者のノダの使用に関しては、第4章で雑談資料、第8章では質問紙調査を用いて分析した。雑談資料では、典型的だと考えられる〈承前のノダ〉よりも〈後続のノダ〉の使用のほうが多いという結果を得た。雑談において母語話者は、典型的と言われるノダの用法よりも聞き手を話に引き込む〈後続のノダ〉をよく使用するということである。質問紙調査でも、母語話者は〈承前のノダ〉よりも〈後続のノダ〉のほうの選択率が高いという結果を得た。下位分類から見ると、〈後続のノダ〉の中では雑談資料では〈前置き〉のノダと〈話題継続〉のノダの使用が多く、質問紙調査では〈前置き〉のノダの選択率が高いことがわかった。〈後続のノダ〉に分類される〈前置き〉のノダも〈話題継続〉のノダも日本語教育において重要視すべきものだと考えられる。

しかし、〈前置き〉のノダと〈話題継続〉のノダは学習者にとっては容易に習得できるものではない。

学習環境がノダの習得に与える影響に関して、第5章では雑談資料、第8章では質問紙調査を用いて分析した。〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の全体から見ると、JFL学習者よりもJSL学習者のほうがノダの習得が進んでいる結果となった。特に〈話題継続〉のノダについて、JSL学習者は雑談で多く使用しており、質問紙調査でJFLとの選択率の差が最も大きい項目であった。一方、〈前置き〉のノダは学習環境による違いは見られなかった。JFL学習者でもJSL学習者でも雑談における非用が多く、質問紙調査における選択率が低い。つまり、学習環境に関係なく、〈前置き〉の習得が難しいということである。その原因は〈前置き〉が用いられる文が複文となるため、文の構造の複雑さが文法項目の習得に影響している可能性がある。

日本語の習熟度が習得に与える影響に関して、第6章ではインタビュー形式の会話資料、第8章では質問紙調査を用いて調査した。〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の間の差の大小という観点から見ると、中級学習者と上級学習者の間に大きな差は見られなかった。JFL学習者にとっては、母語話者やJSL学習者のように〈後続のノダ〉を使用して聞き手を話に引き込み、発話ターンを維持することは困難であることが明らかになった。

また、中級学習者は意見を表す文にノダを用いやすいことと、初級から上級に至るまで学習者は単純な質問回答の際にノダを使用して相手の認識を修正する傾向があるということから、学習者の使用規則の一部を明らかにした。

さらに、ノダカラとソウナンデスカという聞き手に不快感を与える危険性のあるノダについて調査・分析した。まず、ノダカラについて母語話者の書き言葉コーパスと質問紙調査に基づいて分析した結果、母語話者のノダカラの使用を決定づけるのは相手が前件の情報を知っているかどうかであることがわかった。後件の文末モダリティ形式の有無には影響されていない。一方、学習者は相手がその情報を知っているかどうかに関係なく、他の基準でノダカラの使用を決めている傾向がある。一部の学習者は後件の文末モダリティ形式によってノダカラの使用を決めている。

つぎに、ソウナンデスカについて母語話者の雑談資料と質問紙調査を通して分析を行った。雑談資料から、母語話者は相手の話に関する推測が保持されるか書き換えられるか、または相手から得た情報の一般性によって「そうですか」と「そうなんですか」を使い分けている。また、相手のフェイスに配慮して「そうですか」と「そうなんですか」を使い分けることもあった。一方、学習者は雑談資料においては「そうなんですか」の使用がほとんど見られなかった。

ノダカラの不適切な使用は非難のニュアンスを帯びやすい表現である。「そうですか」は、使い方によって冷たさやそっけなさを感じさせる危険性がある。この2つの表現とも日本語教育において重視する価値のある項目だと考えられる。

本論文の結果の中で特に重要だと考えられるのは〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉に関する結果と、日本語学習者の使用規則に関する結果である。

まず、〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉について述べる。〈承前のノダ〉が用いられる文は前の文脈と繋がっており、発話者も聞き手も前の文脈に注意を向ける。それに対し、〈後続のノダ〉は後ろの文脈と繋がっており、続きの内容があることを予告する。つまり、注意の向け方における違いが考えられ、2種類のノダの習得を調査・分析することは、学習者にとって前と後ろのどちらの方向で文脈を理解するのが思考負担度が低いかを明らかにすることでもあった。本論文の結果として、〈承前のノダ〉は〈後続のノダ〉より習得しやすいこと、JSL 学習者のほうが JFL 学習より〈後続のノダ〉の使用が多いことを指摘した。外国語を話すときの思考負担は、学習環境の影響を受けることを示したことになる。

つぎに、学習者の使用規則の1つとして、単純な質問回答の際にも相手の認識を修正する際にノダを使用することを挙げている。相手の認識を理解するという点で、前の文脈や状況を受ける〈承前のノダ〉と共通点がある。相手の認識を修正する際にノダを使用するという学習者の使用規則と〈承前のノダ〉のほうが習得しやすいことの間には関連性が認められる。

第2節 今後の課題

今後の課題として、以下の2つが考えられる。

1つは母語がノダの習得に与える影響を明らかにすることである。インタビュー形式の発話資料からは母語による影響が見られたが、今回の雑談資料及び質問紙調査は中国語話者のみを対象としたものである。今後は韓国語話者、英語話者などを対象に調査を行いたい。

もう1つはノダ以外の文法項目を対象にして前後条件の検証を行うことである。〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉における結果は前後条件の仮説と一致した。そこで、今後は複数の文法項目を対象に、学習者の文脈の理解の仕方について調査を行い、本論文の結論の一般化を目指したい。

【参考文献】

- 伊豆原英子（2008）「間投助詞・終助詞の談話管理機能分析―「ね」「よね」「よ」の場合―」『愛知学院大学教養部紀要』56（1），pp.67-82, 愛知学院大学教養教育研究会.
- 市川保子（1997）『日本語誤用例文小辞典』, 凡人社.
- 大場理恵子（1995）「「のだ」「のか」の習得上の困難点について」『日本語言語文化学会研究』, pp.229-245, お茶の水女子大学日本言語文化学会.
- 奥田靖雄（1990）「説明（その1）―のだ, である, のです―」『ことばの科学』4, pp.173-216, 名古屋大学言語文化研究会.
- 菊地康人（2006）「受難の「んです」を救えるか」『月刊言語』35（12）, pp.6-7, 大修館書店.
- 国広哲弥（1992）「「のだ」から「のに」・「ので」へ―「の」の共通性―」カッケンブッシュ寛子他編『日本語研究と日本語教育』, pp.17-34, 名古屋大学出版会.
- 久野暉（1973）『日本語文法研究』, pp.144-148, 大修館書店.
- 小磯花絵・土屋智行・渡部涼子他・横森大輔・相澤正夫・伝康晴（2016）「均衡会話コーパス設計のための一日の会話行動に関する基礎調査」『国立国語研究所論集』10, pp.85-106, 国立国語研究所
- 郷矢明美（2014）「聞き手の反応に見られるあいづち性と応答性―話し言葉コーパスにおける『そうですか』『そうなんですか』『そうなんだ』『そうか/そっか』を中心に―」『言語コミュニケーション文化』11（1）, pp. 165-180, 関西学院大学大学院言語コミュニケーション文化学会.
- 小金丸春美（1990）「作文における「のだ」の誤用例分析」『日本語教育』71, pp.182-196, 日本語教育学会.
- 白岩宏行（2011）「第二言語としての日本語の終助詞習得研究の展望」『阪大社会言語学研究ノート』9, pp. 66-95, 大阪大学大学院文学研究科社会言語学研究室.
- スニーラット・ニャンジャローンスック（2001）「OPI データにおける「条件表現」の習得研究―中国語, 韓国語, 英語母語話者の自然発話から―」『日本語教育』111, pp.26-35, 日本語教育学会.
- 田野村忠温（1990）『現代日本語の文法〈1〉「のだ」の意味と用法』, 和泉書院.
- 譚芸穎・仁科喜久子（2003）「中国人日本語学習者「のだ」の習得状況に対する考察―アンケート調査の結果から―」『日本語教育方法研究会誌』110（2）, pp.12-13, 日本語

教育方法研究会.

趙萍 (2008a) 「「のだ」「のか」の習得に日本語能力、および学習環境が与える影響—中国人学習者を対象に一」『日本語教育研究』 53, pp.81-90, 言語文化研究所.

趙萍 (2008b) 「中国人日本語学習者における「のだ」「のか」の習得—使用条件と非使用条件をめぐって—」『日本語教育』 137, pp.11-20, 日本語教育学会.

崔眞姫 (2006) 『「のだ」の文法化と機能別必須性』, 서울 책사랑.

筒井佐代 (2012) 『雑談の構造分析』, くろしお出版.

坪根由香里 (2002) 「OPI における韓国語話者の「の」の使用と習得」『小出記念日本語教育研究会論文集』 10, pp. 55-70, 小出記念日本語教育研究会.

坪根由香里 (2004) 「OPI における英語話者の「の」の使用と習得」『ICU 日本語教育研究センター紀要』 13, pp. 93-106, ICU 日本語教育研究センター紀要.

坪根由香里 (2009) 「OPI における中国語話者の「の」の使用状況」『早稲田日本語教育学』 4, pp. 43-55, 早稲田大学大学院日本語教育研究科.

坪根由香里 (2012) 「タイ人日本語学習者の「の」の使用—2 年間の縦断的調査より—」『国際交流基金バンコク日本文化センター日本語教育紀要』 (9), pp.49-58, 国際交流基金バンコク日本文化センター.

永田良太 (2001) 「接続助詞ケドによる言いさし表現の談話展開機能」『社会言語科学』 3 (2), pp. 17-26, 社会言語科学会.

名嶋義直 (2007) 『ノダの意味・機能—関連性理論の観点から』, くろしお出版.

日本語記述文法研究会 (編) (2008) 『現代日本語文法 6 第 11 部 複文』, くろしお出版.

野田春美 (1995) 「「のだから」の特異性」仁田義雄編『複文の研究 (上)』, pp.221-245, くろしお出版.

野田春美 (1997) 『「の (だ)」の機能』, くろしお出版.

野田春美 (2012) 「「のだ」の意味とモダリティ」澤田治美編『ひつじ意味論講座 モダリティ II : 事例研究』, ひつじ書房.

野田尚史 (2001) 「第 6 章 文法項目の難易度」野田尚史・迫田久美子・渋谷勝己・小林典子『日本語学習者の文法習得』, pp. 101-120, 大修館書店.

花城可武 (2000) 「「のだ」文の習得—縦断的調査と横断的調査の結果を通して—」『南山日本語教育』 7, pp.32-47. 南山大学大学院外国語外国語学研究科.

- 范一楠 (2012) 「日本語学習者の「のだ」の使用に関する研究—3年間の縦断データに基づいて—」未公刊 (広島大学修士論文)
- 蓮沼昭子 (2008) 「日本語学習者の会話能力と「ノダカラ」使用の実態—KY コーパスをデータに一」『姫路独協大学外国語学部紀要』 21, pp. 177-195, 姫路獨協大学.
- 益岡隆志 (2007) 『日本語モダリティ探究』, くろしお出版.
- 峯布由紀 (2007) 「認知的な側面からみた第二言語の発達過程について—学習者の使用する接続辞表現の分析結果をもとに一」『日本語教育』 134, pp. 90-99, 日本語教育学会.
- 吉田茂晃 (1988) 「ノダ形式の構造と表現効果」『国文論叢』 15, pp. 46-55, 神戸大学文学部国語国文学会.
- 若生正和 (2011) 「「んです」が多いんです—韓国人日本語学習者の文末丁寧表現の考察—」『大阪教育大学紀要 1 人文科学』 59 (2) , pp. 129-139, 大阪教育大学.
- Brown, P., & Levinson, S. C. (1987) *Politeness: Some universals in language usage*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Collentine, J. (2004) The effects of learning contexts on morphosyntactic and lexical development. *Studies in Second Language Acquisition*, 26 (2) , pp. 227-248.
- Ellis, R. (1994) *The study of second language acquisition*. Oxford: Oxford University Press.
- Selinker, L. (1972) Interlanguage, *International Review of Applied Linguistics*, 10, p. 213.
- Takano, Y. & Noda, A. (1995) Interlanguage dissimilarity enhances the decline of thinking ability during foreign language processing, *Language Learning*, 45, pp.657-681.

添付資料

[添付資料 1] 大場（1995）の分類

- 「のだ」の使用条件

ア：因果関係

先生「A さん昨日はどうして休んだんですか。」

A「すみません、頭が痛かったんだです。」

イ：根拠

子供「お父さん、お金を少し貸してください。本が買いたいんだです。」

ウ：実情説明、言い換え

A「B さん、今日は。感じが変わりましたね。あっ、髪形を変えたんだ。」略

エ：本来述べたいことがあることを暗示

学生「あのう、この本をコピーしたいんですが、どこで頼めばいいですか。」

オ：という表現

（TV ゲームを始めようとする子供二人）

A「ぼく、今日は 3000 点出すんだ。」

B「ぼくは 5000 点出すぞ。」

A「この飛行機をやっつけるぞ。」

B「わー、やっつけろ、ピストルで打つんだ。」

- 「のだ」の非使用条件

情報がすでに共有されている場合

昨日地震がありましたけど、大丈夫でしたか。

[添付資料 2] 譚・仁科 (2003) のノダの分類

表 1 意味・機能による分類と例文

	意味・機能	例文
1-1	説明	「どうしたの?」「体調が悪い <u>んです</u> 。」
1-2	納得・発見	「そうか、ボタンを押す <u>んだ</u> 。」
1-3	命令・当為	「ちゃんと働く <u>んだ</u> よ!」
1-4	回顧・詠嘆	「私にはそのことだけが心残りに感じられる <u>のであった</u> 。」
1-5	決意・教示	「どうしても会う <u>んだ</u> よ。これから」
1-6	スコープ	「わざとやった <u>んじゃない</u> から、許してあげよう。」
1-7	後悔	「もし早く知っていれば、行ってあげる <u>んだった</u> 。」

(譚・仁科 2003 : 12)

表 2 文型の分類と例文

	文型	例文
2-1	疑問文	「どうして日本では日本語の辞典を「国語辞典」と読む <u>のですか</u> 。」
2-2	前置きの「のだが」	「コピー機が動かない <u>んですが</u> 、ちょっと見てくださいますか。」
2-3	「のだから」	「せっかく作った <u>んだから</u> 、食べなさいよ。」
2-4	「のだったら」 「のなら」	「通りまで歩いていく <u>んだったら</u> 、送っていきよ。」
2-5	「のか」 「のだろうか」	「その人は、今日仕事はない <u>のか</u> 、ずっと公園のベンチに座っていた。」
2-6	「のではないか」	「生活は苦しいと思っている人もかなりいる <u>のではない</u> でしょうか。」
2-7	「のだ」が用いられぬ文	「あれっ、財布がない。」

(譚・仁科 2003 : 12)

[添付資料 3] BTSJ による基本的な文字化の原則

「〈〉」：同時発話されたものの重なった部分を表す。

「【】」：第 1 話者の発話文が完結する前に、途中に挿入される形で、第 2 話者の発話が始まり、結果的に第 1 話者の発話が終了した場合を表す。

「#」：音声不明瞭により文字化できなかった箇所を指す。

「,,」：発話文の途中で相手の発話が入り、前の発話文が終わっていないことを表す。

「=」：改行される発話と発話の間が、当該の会話の平均的な間の長さより相対的に短い、まったくないことを表す。

「-」：発話文が終了していないライン（最後が「,,」のライン）は、コーディングの対象とはならないが、記載漏れとの混同をさけるために「-」を入れる。つまり

「-」は、BTSJ のルールでは、コーディングの対象とはならない発話文を指す

「x」：各々の研究者がコーディングの対象としないと決定した発話文(例えば<笑い>のみで 1 発話文と 認定されている発話文など)。

〔添付資料4〕日本語母語話者とJFL学習者の雑談

データ	発話番号	ライン番号	話者番号	話者	発話内容	ノダ有無	発話機能	ノダ小分類	ノダ大分類	不自然さによる(準)分類	誤用集計	不自然さ集計	A	B	C	D	E	修正案	判定者修正
130		1	NSOF01	母語話者(対JFL)	よろしくお願いします。	無				自然な不使用	0	0							
130		2	NNSBF01	JFL学習者	よろしくお願いします。	無				自然な不使用	0	0						お願いするんです	
130		3	NSOF01	母語話者(対JFL)	私は「【母語話者】姓」と言います。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
130		4	NNSBF01	JFL学習者	え、私は「【学習者】姓」です。	無	情報提供			自然な不使用	0	0						「【学習者】姓」なんです	
130		6	NNSBF01	JFL学習者	はい。						0	0							
130		7	NSOF01	母語話者(対JFL)	「【学習者】姓」さんは、今学生さんですか？。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
130		8	NNSBF01	JFL学習者	はい、夜は学校通ってます。	無	情報回答			自然な不使用	0	2		1			1	通ってるんです	
130		9	NSOF01	母語話者(対JFL)	あ、そうですか[↓]。	無	判断不能			自然な不使用	0	0							
130		10	NSOF01	母語話者(対JFL)	じゃ、昼間はお仕事ですか？。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
130		11	NNSBF01	JFL学習者	ええ、前は(うん)バイトしてましたけど(ええええ)。	無	情報回答	前置き	後続	非用	0	0	4	1	1	1	1	してたんですけど	
130		12	NNSBF01	JFL学習者	ええ今は、(うん)6月留学の試験があるんですけど(えええ)。	有	情報提供	前置き	後続	正用	0	0	0					ありますけど	
130		13	NNSBF01	JFL学習者	え、それで今は、(ああ)準備をしています。	無	情報回答	帰結	承前	非用	0	0	4	1	1	1	1	しているんです	
130		14	NSOF01	母語話者(対JFL)	あ、そうですか[↓]。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		15	NNSBF01	JFL学習者	はい。						0	0							
130		16	NSOF01	母語話者(対JFL)	日本語へ、あ、日本へ留学する試験ですか？。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
130		17	NNSBF01	JFL学習者	はい。						0	0							
130		18	NSOF01	母語話者(対JFL)	「団体名1」の？。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
130		19	NNSBF01	JFL学習者	うん、まず、6月の留学試験を、(うんうん)えー、6月の留学試験に(うんうんうん)受かったら、(うんうんうん)え、それで「団体名1」の試験を受ける。	無	情報回答	帰結	承前	非用	0	0	5	1	1	1	1	受けるの	
130		20	NSOF01	母語話者(対JFL)	あ、そうなんですか。	有	ソウナンデスカ	相づち	その他	正用	0	0							
130		21	NSOF01	母語話者(対JFL)	なるほどね。						0	0							
130		22	NNSBF01	JFL学習者	はい、そういうことになってくま><く<。	無	情報回答			自然な不使用	0	2			1	1		なって'renduす	
130		23	NSOF01	母語話者(対JFL)	<そう><)>ですか=。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		24	NSOF01	母語話者(対JFL)	=そっか受かるといいですね。	無	意見提供			自然な不使用	0	0							
130		25	NSOF01	母語話者(対JFL)	日本で、もし留学できたら、どんなこと勉強したいですか？。	無	意見要求			自然な不使用	0	0							
130		26	NNSBF01	JFL学習者	うん、たぶん日本語教育(うんうんうん)だと思ひくま><く<。	無	意見回答			自然な不使用	0	0	1		1			思うんです	
130		27	NSOF01	母語話者(対JFL)	<あ、そう><)>ですか。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		28	NSOF01	母語話者(対JFL)	やっぱ、じゃ、将来は日本語の先生になりたいですか？。	無	意見要求			自然な不使用	0	0							
130		29	NNSBF01	JFL学習者	ええ、なりたひですな<笑ひ>。	無	意見回答			自然な不使用	0	0						なりたひいन्दuすね	
130		30	NSOF01	母語話者(対JFL)	そうですか[↓]。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		31	NSOF01	母語話者(対JFL)	それは、台湾に帰ってき々からのことですか？。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
130		32	NNSBF01	JFL学習者	はい、そうです。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						そうなんです	

〔添付資料4〕 日本語母語話者とJFL学習者の雑談

データ	発話番号	ライン番号	話者番号	話者	発 話 内 容	ノダ有無	発話機能	ノダ小分類	ノダ大分類	不自然さによる(準)分類	誤用集計	不自然さ集計	A	B	C	D	E	修正案	判定者修正
	130	33	NSOF01	母語話者(対JFL)	あ、そっかそっか。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
	130	34	NSOF01	母語話者(対JFL)	=私は今台湾で日本語の教師をしているんですけど。	有	情報提供	前置き	後続	正用	0	0							
	130	35	NNSBF01	JFL学習者	はいく笑い。						0	0							
	130	36	NSOF01	母語話者(対JFL)	ええ、日本語を勉強している方‘かた’多いですよ。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
	130	37	NNSBF01	JFL学習者	うん、そう、そうですねく笑い。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						そうですね	
	130	38	NSOF01	母語話者(対JFL)	うんうんくうんうんく。						0	0							
	130	39	NNSBF01	JFL学習者	くうんうんうんく。						0	0							
	130	40	NNSBF01	JFL学習者	たぶん台湾の若者は(うん)日本の文化とかファッションとか、興味を持っている人が多いですね。	無	意見提供			ゆれ	0	3			1	1	1	多いんですね	
	130	41	NSOF01	母語話者(対JFL)	あー、なるほど。						0	0							
	130	42	NSOF01	母語話者(対JFL)	本当にそう、	無				自然な不使用	0	0							
	130	43	NSOF01	母語話者(対JFL)	すごく日本のものも多いですよ。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
	130	44	NNSBF01	JFL学習者	はい、そうですね。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						そうですね	
	130	45	NSOF01	母語話者(対JFL)	びっくりしたんです。	有	体験提供	帰結	承前	正用	0	0							
	130	46	NSOF01	母語話者(対JFL)	=私も3年前ぐらいに、(はい)来たんですけど、	有	体験提供	前置き	後続	正用	0	0							
	130	47	NNSBF01	JFL学習者	そうですね。	無	ソウナンデスカ	相づち	その他	非用	4	4	5		5	5	5	そうですね	
	130	48	NNSBF01	JFL学習者	本当に日本のものがたくさんあって、(はい)びっくりしましたく笑い。	無	体験提供			自然な不使用	0	0						びっくりしたんです	
	130	49	NSOF01	母語話者(対JFL)	うーん。						0	0							
	130	50	NNSBF01	JFL学習者	え、日本の、とても安売りの店も、台湾でもあるんですよ。	有	情報要求			ゆれ	2	3	1	5			5	ありますよね	
	130	51	NSOF01	母語話者(対JFL)	あ、50元ショップですか？。	無				自然な不使用	0	0							
	130	52	NNSBF01	JFL学習者	え、大体そういう感じの(うんうんうんうん)ショップが。						0	0							
	130	53	NNSBF01	JFL学習者	=聞いたことがありますか？。	無	情報要求			自然な不使用	0	1					1	あるんですか	
	130	54	NSOF01	母語話者(対JFL)	行ったことないですけど、	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
	130	55	NSOF01	母語話者(対JFL)	(うんうん)聞いたことがあります。	無	情報回答			自然な不使用	0	0							
	130	56	NSOF01	母語話者(対JFL)	うん、そうそう。	無				自然な不使用	0	0							
	130	57	NSOF01	母語話者(対JFL)	うーん、行ったことがあります？[↑]。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
	130	58	NNSBF01	JFL学習者	あります。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						あるんです	
	130	59	NSOF01	母語話者(対JFL)	どんなものが売ってますか？。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
	130	60	NNSBF01	JFL学習者	え、日常のなんか、えと、化粧品とか安い物、バックとか(うんうんうんうん)そういう物がいっぱい並んで。						0	0							
	130	61	NSOF01	母語話者(対JFL)	そうですね？[↓]。	有	ソウナンデスカ	相づち	その他	正用	0	0							
	130	62	NNSBF01	JFL学習者	はいく笑い。						0	0							
	130	63	NSOF01	母語話者(対JFL)	じゃ、本当に日本と一緒にですね。	無	意見提供			自然な不使用	0	0							
	130	64	NNSBF01	JFL学習者	はい。						0	0							

〔添付資料4〕 日本語母語話者とJFL学習者の雑談

データ	発話番号	ライン番号	話者番号	話者	発話内容	ノダ有無	発話機能	ノダ小分類	ノダ大分類	不自然さによる(準)分類	誤用集計	不自然さ集計	A	B	C	D	E	修正案	判定者修正
130		65	NSOF01	母語話者(対JFL)	そっかそっか。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		66	NSOF01	母語話者(対JFL)	えーと、【学習者】姓さんは日本に行ったことありますか？。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
130		67	NNSBF01	JFL学習者	あります(うんうんうん)。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						あるんです	
130		68	NNSBF01	JFL学習者	えと、一昨年の(うん)夏休みに、それ、あの、ええ、1回だけ。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						1回だけなの	
130		69	NSOF01	母語話者(対JFL)	あ、そうですか[↓]=。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		70	NSOF01	母語話者(対JFL)	=どこへ行ったのですか？。	有	体験要求	疑問の(か)	その他	正用	0	0							
130		71	NNSBF01	JFL学習者	えと、東京と(うん)池袋と(うんうん)大阪の…、(うん)うん、す、え、3週間ぐらい泊まってきましたけど、。	無	体験回答	前置き	後続	非用	4	5	5	5	1	5	5	泊まってたんですけど	
130		72	NSOF01	母語話者(対JFL)	あ、そうなんですか><[↓]。	有	ソウナンデスカ	相づち	その他	正用	0	0							
130		73	NNSBF01	JFL学習者	<ホーム>> スタイ。	無	情報提供	事情	承前	非用	1	4	1	1		1	5	ホームスティなの	
130		74	NSOF01	母語話者(対JFL)	あ、へえー、なるほどね。						0	0							
130		75	NNSBF01	JFL学習者	はい<笑い>。						0	0							
130		76	NSOF01	母語話者(対JFL)	そっかそっか=。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		77	NSOF01	母語話者(対JFL)	=私、あの、東京の家が、池袋の近くなんですけれども<2人笑い>。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
130		78	NSOF01	母語話者(対JFL)	どんな印象でしたか？。	無	意見要求			自然な不使用	0	0							
130		79	NNSBF01	JFL学習者	すご<賑やかな(あー)町>ですね<笑い>。	無	意見回答			自然な不使用	0	2		1		1		町なんですね	
130		80	NSOF01	母語話者(対JFL)	そうですね。	無				自然な不使用	0	0							
130		81	NNSBF01	JFL学習者	はい<笑い>。						0	0							
130		82	NSOF01	母語話者(対JFL)	台北も賑やかですけどねー<笑い>。	無	意見提供			自然な不使用	0	0							
130		83	NNSBF01	JFL学習者	うん、でも、台北はなんか、日本ほど人がそんなに多くはないと思いますよ><[↓]。	無				ゆれ	0	3	1	1		1		思うんですよ	
130		84	NSOF01	母語話者(対JFL)	<あー、>> そっかそっか。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		85	NNSBF01	JFL学習者	えと、歩く、そのスピードも(うんうん)日本ほどそんなに速くはないと思いますけど。	無	意見提供	主題提起	後続	非用	2	4	5		1	5	1	思うんですけど	
130		86	NSOF01	母語話者(対JFL)	そっか<2人笑い>。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		87	NNSBF01	JFL学習者	はい。						0	0							
130		88	NSOF01	母語話者(対JFL)	<そうですね><[↓]。	無				自然な不使用	0	0							
130		89	NNSBF01	JFL学習者	<びっくりしま>> したよ。	無	体験提供			ゆれ	1	3		1	1	5		びっくりしたんですよ	
130		90	NSOF01	母語話者(対JFL)	スピードは本当に速いくですよね><[↓]。	無				自然な不使用	0	0							
130		91	NNSBF01	JFL学習者	<はい>> 。						0	0							
130		92	NSOF01	母語話者(対JFL)	私もこっちに来て3年ぐらいなんですけど、	有	情報提供	前置き	後続	正用	0	0							
130		93	NSOF01	母語話者(対JFL)	(はい)この間、日本から友達が遊びに来たら、(はい)なんか歩くのが遅くなったって言われたんですよ。	有	体験提供	事情	承前	正用	0	0							
130		94	NNSBF01	JFL学習者	え(うん)、そうですね<2人笑い>。	無	ソウナンデスカ	相づち	その他	非用	4	4	5	5		5	5	そうなんですね	
130		95	NSOF01	母語話者(対JFL)	うん、たぶん東京にいた時は、もっと速く歩いてたんですよ。	有	意見提供	帰結	承前	正用	0	0							
130		96	NNSBF01	JFL学習者	え、あ、朝の時、(うん)皆は通勤に出て、(はい)時間が急いでいるから<笑い>。	無	意見提供			自然な不使用	0	0						急いでいるんだから	

〔添付資料4〕 日本語母語話者とJFL学習者の雑談

データ	発話番号	ライン番号	話者番号	話者	発話内容	ノダ有無	発話機能	ノダ小分類	ノダ大分類	不自然さによる(準)分類	誤用集計	不自然さ集計	A	B	C	D	E	修正案	判定者修正
130		97	NSOF01	母語話者(対JFL)	本当ですよ〜く笑い。	無				自然な不使用	0	0							
130		98	NNSBF01	JFL学習者	はいく笑い。					自然な不使用	0	0							
130		99	NSOF01	母語話者(対JFL)	そうですね、	無				自然な不使用	0	0							
130		100	NSOF01	母語話者(対JFL)	あれは本当に嫌ですよ〜く笑い。	無	意見提供			自然な不使用	0	0							
130		101	NNSBF01	JFL学習者	あと満員電車もすごく怖いんですよ〜く笑い。	有	意見提供	主題提起	後続	正用	0	2	1			1		怖いです	
130		102	NSOF01	母語話者(対JFL)	本当ですよ〜。	無				自然な不使用	0	0							
130		103	NNSBF01	JFL学習者	はい、					自然な不使用	0	0							
130		104	NSOF01	母語話者(対JFL)	台湾はそんなに満員電車はないですよ〜。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
130		105	NNSBF01	JFL学習者	そんなに、(うんうん)あの、日本ほどそんなに(うん)怖くはないと思いますけどく人笑い。	無	意見回答			ゆれ	1	3	1			5	1	思うんですけど	
130		106	NSOF01	母語話者(対JFL)	そうですね〜く笑い。	無				自然な不使用	0	0							
130		107	NNSBF01	JFL学習者	え〜く笑い。					正用	0	0							
130		108	NSOF01	母語話者(対JFL)	皆車とかで通勤するんですか?。	有	情報要求	疑問の(か)	その他	正用	0	0							
130		109	NNSBF01	JFL学習者	車とかバイクとか。					正用	0	0							
130		110	NSOF01	母語話者(対JFL)	あ、バイクね、	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		111	NNSBF01	JFL学習者	はい、					正用	0	0							
130		112	NSOF01	母語話者(対JFL)	そうですね。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		113	NSOF01	母語話者(対JFL)	【学習者】姓さんバイク乗れますか?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
130		114	NNSBF01	JFL学習者	乗れます〜く笑い。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						乗れるんです	
130		115	NSOF01	母語話者(対JFL)	バイクは便利ですけど、	無	意見提供			自然な不使用	0	0							
130		116	NSOF01	母語話者(対JFL)	ちょっと怖いんですよ〜く笑い。	無	意見提供			自然な不使用	0	0							
130		117	NNSBF01	JFL学習者	バイクで、(うん)学校通ってます。	無	情報提供			ゆれ	1	3	1			1	5	通ってるんです	
130		118	NSOF01	母語話者(対JFL)	あ、そうですか[↓]。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		119	NSOF01	母語話者(対JFL)	うん、なんか危ない目に遭ったこととかありますか? [↑]。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
130		120	NNSBF01	JFL学習者	危ない目、あ、はじめは事故があったことがありますけど。	無	情報回答	前置き	後続	非用	3	4	5	5	1	5		あるんですけど	
130		121	NSOF01	母語話者(対JFL)	そうですか[↑]。	無				自然な不使用	0	0							
130		122	NNSBF01	JFL学習者	大したことではないんですよ〜く笑い。	有	情報提供	帰結	承前	正用	0	1	1					ないんですけど	
130		123	NSOF01	母語話者(対JFL)	く笑いながら)どんなく事故です?)(く)。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
130		124	NNSBF01	JFL学習者	くちょっと)(く)だけ(うん)。	無	情報回答			自然な不使用	0	1	1					ちょっとだけなの	
130		125	NNSBF01	JFL学習者	で、《沈黙2秒》たぶん技術があまりうまくはないですから(く笑い)、	無	意見提供			自然な不使用	0	0						うまくはないんですから	
130		126	NNSBF01	JFL学習者	で、転んでで怪我をしたんです。	有	体験回答	帰結	承前	正用	1	1	5					怪我をしました	
130		127	NSOF01	母語話者(対JFL)	こっちの方「かた」あの、雨が降っても、(はい)カッパを着てく乗れません?)(く)。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
130		128	NNSBF01	JFL学習者	くでも雨の日は)(く)バスに乗りますく2人笑い。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						乗るんです	
130		129	NSOF01	母語話者(対JFL)	く笑いながら)うんうん。						0	0							
130		130	NNSBF01	JFL学習者	はい、						0	0							

〔添付資料4〕 日本語母語話者とJFL学習者の雑談

データ	発話番号	ライン番号	話者番号	話者	発 話 内 容	ノダ有無	発話機能	ノダ小分類	ノダ大分類	不自然さによる(準)分類	誤用集計	不自然さ集計	A	B	C	D	E	修正案	判定者修正
130		131	NSOF01	母語話者(対JFL)	<笑いながら>そうですね。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		132	NNSBF01	JFL学習者	バイクで危ないと思いますけど><。	無	意見提供	主題提起	後続	非用	2	5	5	1	5	1	1	思うんですけど	
130		133	NSOF01	母語話者(対JFL)	<そうですね><。>。	無				自然な不使用	0	0							
130		134	NSOF01	母語話者(対JFL)	=本当にそう思います=。	無				自然な不使用	0	0							
130		135	NSOF01	母語話者(対JFL)	=皆同じような、こう、上着を着て、(はい)“わあ、雨が降ってるのに、すごいなあ”って思うんですけど<笑い>。	有		事情	承前	正用	0	0							
130		136	NNSBF01	JFL学習者	そう(うーん)ですね。	無				自然な不使用	1	2	5		1			そうなんです	
130		137	NSOF01	母語話者(対JFL)	そっかそっか=。														
130		138	NSOF01	母語話者(対JFL)	=日本はそこまでね、バイクはないですもんね<笑い>。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
130		139	NNSBF01	JFL学習者	はい。						0	0							
130		140	NSOF01	母語話者(対JFL)	うん。						0	0							
130		141	NSOF01	母語話者(対JFL)	じゃあ、日本に行った時、食べ物とかはどうでした?。	無	意見要求			自然な不使用	0	0							
130		142	NNSBF01	JFL学習者	食べ物ですね、(うん)うーん、。	無				自然な不使用	0	0							
130		143	NSOF01	母語話者(対JFL)	ホームステイだったの?。	有	情報要求	疑問の(か)	その他	正用	0	0							
130		144	NNSBF01	JFL学習者	ホームステイ、	無	情報回答			自然な不使用	0	0							
130		145	NNSBF01	JFL学習者	日本の、(うん)日本料理が好きですから、	無	意見回答			自然な不使用	0	0						好きなんです	
130		146	NNSBF01	JFL学習者	(うんうん)だいたい、うん、日本の食べ物(うん)全部平気だ<と思います><(<笑い>)。	無	意見回答			自然な不使用	0	0						思うんです	
130		147	NSOF01	母語話者(対JFL)	<あ、本当に?><。>。						0	0							
130		148	NSOF01	母語話者(対JFL)	そっかそっか、	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		149	NSOF01	母語話者(対JFL)	よく聞くのはね、ちょっとショッパイって聞くんですよ、私。	有	情報提供	事情	承前	正用	0	0							
130		150	NNSBF01	JFL学習者	しょっぱい…、。	無				自然な不使用	0	0							
130		151	NSOF01	母語話者(対JFL)	大丈夫?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
130		152	NNSBF01	JFL学習者	いや、大丈夫です。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						大丈夫なんです	
130		153	NSOF01	母語話者(対JFL)	あ、本当ね、	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		154	NSOF01	母語話者(対JFL)	そっかそっか。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		155	NSOF01	母語話者(対JFL)	お刺身とかも食べられますか?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
130		156	NNSBF01	JFL学習者	食べられます。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						食べられるんです	
130		157	NSOF01	母語話者(対JFL)	台湾で、(うん)日本料理って食べますか?[↑]。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
130		158	NNSBF01	JFL学習者	えーと、まあ、この間は、(うん)日本料理の店でアルバイトしてたから、。	無	体験回答			自然な不使用	0	1		1				してたんだから	
130		159	NSOF01	母語話者(対JFL)	あ、そうなんですか[↑]。	有		疑問の(か)	その他	正用	0	0							
130		160	NNSBF01	JFL学習者	それで食べました=。	無	体験回答			自然な不使用	0	2		1			1	食べたんです	

〔添付資料4〕 日本語母語話者とJFL学習者の雑談

データ	発話番号	ライン番号	話者番号	話者	発話内容	ノダ有無	発話機能	ノダ小分類	ノダ大分類	不自然さによる(準)分類	誤用集計	不自然さ集計	A	B	C	D	E	修正案	判定者修正
130		161	NNSBF01	JFL学習者	=食べたくことがあります><。]	無	情報回答			自然な不使用	0	0						あるんです	
130		162	NSOF01	母語話者(対JFL)	<本当に?、その店は>[>]美味しい?。	無	意見要求			自然な不使用	0	0							
130		163	NNSBF01	JFL学習者	美味しい<笑い>。	無	意見回答			自然な不使用	0	0						美味しいの	
130		164	NSOF01	母語話者(対JFL)	あ、本当?<笑い>。	無				自然な不使用	0	0							
130		165	NNSBF01	JFL学習者	すごく美味しい<笑い>。	無	意見回答			自然な不使用	0	1	1					美味しいの	
130		166	NSOF01	母語話者(対JFL)	どの辺にあるんですか?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
130		167	NNSBF01	JFL学習者	天母、(うんうん)の近く、(うんうんうん)にあります。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						あるんです	
130		168	NSOF01	母語話者(対JFL)	あ、本当?。	無				自然な不使用	0	0							
130		169	NNSBF01	JFL学習者	はい。						0	0							
130		170	NSOF01	母語話者(対JFL)	行ってみたいですね<2人笑い>。	無	意見提供			自然な不使用	0	0							
130		171	NNSBF01	JFL学習者	じゃ(うん)、チャンス(うん)があったら、一緒に行ってくださいうか??<。]	無				自然な不使用	0	0							
130		172	NSOF01	母語話者(対JFL)	<ありがとうございます、>[>]本当<笑い>。	無				自然な不使用	0	0							
130		173	NSOF01	母語話者(対JFL)	そうですね、	無				自然な不使用	0	0							
130		174	NSOF01	母語話者(対JFL)	そうか、														
130		175	NSOF01	母語話者(対JFL)	日本料理屋さんでバイトしてると、皆お客さんは日本人が多いですか?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
130		176	NNSBF01	JFL学習者	天母には日本人が(うん)あの、たくさん住んでいるから(うんうんうん)、	無	情報回答			自然な不使用	0	0						住んでいるんだから	
130		177	NNSBF01	JFL学習者	たぶん、うん、うん日本人と台湾人のお客様が半々ぐらい見られる。	無	情報回答	帰結	承前	非用	3	4	5	5		5	1	見られるの	
130		178	NSOF01	母語話者(対JFL)	あ、なるほどねー。						0	0							
130		179	NSOF01	母語話者(対JFL)	そっかそっか。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		180	NSOF01	母語話者(対JFL)	なんか困った注文をするお客さんとかいます?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
130		181	NNSBF01	JFL学習者	えーと、<笑い>[>]なんか覚えてないんですけど<2人笑い>。	有	情報回答	前置き	後続	正用	0	0						覚えてないんですけど	
130		182	NSOF01	母語話者(対JFL)	そうなの?<笑い>。	有		疑問の(か)	その他	正用	0	0							
130		183	NNSBF01	JFL学習者	でも、日本人の主婦が、うん、たくさん来てて(ああ)、皆親切で、(うーん)え、なんか礼儀正しくて(えええええ)、すごくやさしい女性だと、という印象が与えてくれました、はい。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						与えてくれたんです	
130		184	NSOF01	母語話者(対JFL)	やっぱり日本の女性の印象が、(はい)なんか台湾の人に言ってもらくと、なんかすごく、こう、おとなしくて、(はい<笑い>)>控えめだって言われて、(はい)ちよっと私は、あ、今そういう人ばっかりじゃないだよって思っちゃうんですけど<2人笑い>。	有		主題提起	後続	正用	0	0							
130		185	NNSBF01	JFL学習者	え、ドラマ、日本のドラマ(うん、うんうん)の中、若者の女性は、そういう(<笑い>)<笑い>)じゃないです<笑い>。	無				自然な不使用	0	1	1					じゃないんです	
130		186	NSOF01	母語話者(対JFL)	そうです、	無				自然な不使用	0	0							
130		187	NSOF01	母語話者(対JFL)	そうですね<笑い>。	無				自然な不使用	0	0							
130		188	NNSBF01	JFL学習者	はい<笑い>。						0	0							

〔添付資料4〕 日本語母語話者とJFL学習者の雑談

データ	発話番号	ライン番号	話者番号	話者	発話内容	ノダ有無	発話機能	ノダ小分類	ノダ大分類	不自然さによる(準)分類	誤用集計	不自然さ集計	A	B	C	D	E	修正案	判定者修正
130		189	NSOF01	母語話者(対JFL)	今はね、うん、そっかそっか。	無				自然な不使用	0	0							
130		190	NSOF01	母語話者(対JFL)	えー、そうですね、	無				自然な不使用	0	0							
130		191	NSOF01	母語話者(対JFL)	まあ、でも、日本人とそうしたら、今はあまり話す機会はないですか？。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
130		192	NNSBF01	JFL学習者	学校では、あの、会話の授業が、それだけで、あるんですけどく笑い。	有	情報回答	事情	承前	正用	0	0						ありますけど	
130		193	NSOF01	母語話者(対JFL)	あ、そうなんですか[↑]。	有		疑問の(か)	その他	正用	0	0							
130		194	NSOF01	母語話者(対JFL)	そうすると、日本人の先生ですか？。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
130		195	NNSBF01	JFL学習者	日本人の先生です、(うん)はい。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						先生なんです	
130		196	NSOF01	母語話者(対JFL)	うんホント、														
130		197	NSOF01	母語話者(対JFL)	そっかそっか。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		198	NSOF01	母語話者(対JFL)	日本人の先生はどんな先生ですか？。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
130		199	NNSBF01	JFL学習者	うーん、(く笑い)おどなくして(うんうんうん)、礼儀正しくて…。						0	0							
130		200	NSOF01	母語話者(対JFL)	あー、そうですね[↓]。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		201	NNSBF01	JFL学習者	うーん、《沈黙2秒》なんかやさしい人ですね。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						優しい人なんですね	
130		202	NSOF01	母語話者(対JFL)	うーん、あ、なるほどねー。						0	0							
130		203	NNSBF01	JFL学習者	はい。						0	0							
130		204	NSOF01	母語話者(対JFL)	そっかそっか。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		205	NSOF01	母語話者(対JFL)	学校の授業だと、どんな授業が一番面白いですか？。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
130		206	NNSBF01	JFL学習者	うーん《沈黙2秒》、私は会話が好きだから、	無	情報回答			自然な不使用	0	0						好きなんだから	
130		207	NNSBF01	JFL学習者	(うんうんうん)会話の授業が一番面白いと思いますけど。	無	意見提供	帰結	承前	非用	1		5	1	1	1	5	1	思うんですけど
130		208	NSOF01	母語話者(対JFL)	くあ、本当>(く)。	無				自然な不使用	0	0							
130		209	NNSBF01	JFL学習者	くはい>(く)。	無				自然な不使用	0	0							
130		210	NSOF01	母語話者(対JFL)	そっかそっか。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		211	NSOF01	母語話者(対JFL)	そうですね、	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		212	NSOF01	母語話者(対JFL)	やっぱり会話出来てね…く笑い。						0	0							
130		213	NNSBF01	JFL学習者	作文が、一番一番苦手(く笑い)ですく笑いながら>。	無	情報提供			自然な不使用	0		1				1	苦手なのです	
130		214	NSOF01	母語話者(対JFL)	どうですかね、	無				自然な不使用	0	0							
130		215	NSOF01	母語話者(対JFL)	作文、大変ですよねく笑い。	無	意見要求			自然な不使用	0	0							
130		216	NNSBF01	JFL学習者	はい。						0	0							
130		217	NSOF01	母語話者(対JFL)	そっか、	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		218	NSOF01	母語話者(対JFL)	どうして日本語科に進もうと思ったんですか？。	有	情報要求	疑問の(か)	その他	正用	0	0							
130		219	NNSBF01	JFL学習者	いや、なんとなく(うん)好きだからく笑いながら>。	無	意見回答			自然な不使用	0	0						好きなんだから	

〔添付資料4〕 日本語母語話者とJFL学習者の雑談

データ	発話番号	ライン番号	話者番号	話者	発話内容	ノダ有無	発話機能	ノダ小分類	ノダ大分類	不自然さによる(準)分類	誤用集計	不自然さ集計	A	B	C	D	E	修正案	判定者修正
130		220	NSOF01	母語話者(対JFL)	うーん、本当?。	無				自然な不使用	0	0							
130		221	NSOF01	母語話者(対JFL)	一番最初勉強したのは、日本語を勉強したのはいつ頃ですか?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
130		222	NNSBF01	JFL学習者	たぶん、専門学校の時、(うんうん)たぶん18歳の頃から、はい。						0	0							
130		223	NSOF01	母語話者(対JFL)	あ、そうですか[↓]。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		224	NNSBF01	JFL学習者	その時では、台湾では(ええ)、テレビをつけたら(く笑いい)、(うんうん)日本のドラマがいっぱい(あー)やってて、						0	0							
130		225	NSOF01	母語話者(対JFL)	確かに。						0	0							
130		226	NNSBF01	JFL学習者	それで好きになりました。	無	体験回答	帰結	承前	非用	0		4	1	1	1	1	なっったんです	
130		227	NSOF01	母語話者(対JFL)	あ、なるほどね。						0	0							
130		228	NNSBF01	JFL学習者	はい。						0								
130		229	NSOF01	母語話者(対JFL)	そっかそっか。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		230	NSOF01	母語話者(対JFL)	今まで見たドラマ、私はあまり日本のドラマ、実は見てないんです(はい)けど2人笑いい。	有	情報提供	前置き	後続	正用	0	0							
130		231	NSOF01	母語話者(対JFL)	どんなドラマか、覚えてますか?、	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
130		232	NSOF01	母語話者(対JFL)	面白かった…。						0	0							
130		233	NNSBF01	JFL学習者	うーん、『東京ラブストーリー』。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						『東京ラブストーリー』なの	
130		234	NSOF01	母語話者(対JFL)	あー、く有名ですよ(え)く。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
130		235	NNSBF01	JFL学習者	くそれがく初めて(うん、うんうん)見たのドラマ、はい。	無	情報提供	事情	承前	非用	4		4	5	5		5	5	ドラマなの
130		236	NSOF01	母語話者(対JFL)	あ、そっかそっか。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		237	NNSBF01	JFL学習者	感動しました。	無	体験提供			自然な不使用	0	0						感動したんです	
130		238	NSOF01	母語話者(対JFL)	あれは、悲しいドラマでしたっけ?、	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
130		239	NSOF01	母語話者(対JFL)	どんなドラマ?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
130		240	NNSBF01	JFL学習者	えーと、ラブストーリーの、(うん、うんうんうんうん)ドラマじゃないですか(え)笑いい。	無	意見回答			自然な不使用	0		2		1		1	じゃないんですかね	
130		241	NSOF01	母語話者(対JFL)	確かにそうですねく2人笑いい。	無				自然な不使用	0	0							
130		242	NSOF01	母語話者(対JFL)	そっかー。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		243	NSOF01	母語話者(対JFL)	あ、そうですね、	無				自然な不使用	0	0							
130		244	NSOF01	母語話者(対JFL)	日本のドラマもそうだし、	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
130		245	NSOF01	母語話者(対JFL)	日本のテレビ本当にたくさんやってますよね。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
130		246	NNSBF01	JFL学習者	はい。						0	0							
130		247	NNSBF01	JFL学習者	でも今は(うんうん)、この頃は、韓国のドラマ(あー)が流行ってます。	無	情報提供			ゆれ	1		3		1	1	5	流行ってるんです	
130		248	NSOF01	母語話者(対JFL)	ああ、なるほどね。						0	0							
130		249	NNSBF01	JFL学習者	はいく笑いい。						0	0							
130		250	NSOF01	母語話者(対JFL)	そっか。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							

〔添付資料4〕 日本語母語話者とJFL学習者の雑談

データ	発話番号	ライン番号	話者番号	話者	発話内容	ノダ有無	発話機能	ノダ小分類	ノダ大分類	不自然さによる(準)分類	誤用集計	不自然さ集計	A	B	C	D	E	修正案	判定者修正
130		251	NSOF01	母語話者(対JFL)	じゃそうすると、これから<笑い>韓国語を勉強する人が増えますかね<笑い>。	無	意見提供			自然な不使用	0	0							
130		252	NNSBF01	JFL学習者	はい、そうですね<笑い>。	無		相づち	その他	非用	4	4	5	5	5	5	5	そうなんです	
130		253	NNSBF01	JFL学習者	私の妹は、(うん)韓国語をあの、勉強しようと思ってますけど、<はい><く>。	無	情報提供	事情	承前	非用	4	5	5	5	1	5	5	思ってるんですけど	
130		254	NSOF01	母語話者(対JFL)	<そう><ひ>ですか[↓]。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		255	NSOF01	母語話者(対JFL)	あ、それは、<笑い>だんだん日本語が危ないですよ<笑い>ながら。	無	意見要求			自然な不使用	0	0							
130		256	NNSBF01	JFL学習者	ええ、ちょっと<笑い>2人<笑い>。	無	意見回答			自然な不使用	0	0						ちょっとなのね	
130		257	NSOF01	母語話者(対JFL)	そう、あとなんかの、偉い人、台北市長とかが、(はい)みんなが今“英語頑張って(はい)、勉強しない”って言ってたので(はい)。						0	0							
130		258	NSOF01	母語話者(対JFL)	そしてなんか、韓国語と英国語と挟まれてて<笑い>、日本語教育がピンチになっちゃうと思うんですけど<笑い>ながら。	有	意見提供	前置き	後続	正用	0	0							
130		259	NNSBF01	JFL学習者	<笑い>ながら危ないですね。	無				自然な不使用	0	0						危ないんですね	
130		260	NSOF01	母語話者(対JFL)	日本語の先生になりたい「【学習者】姓」さん、どうしましょうか?。	無	意見要求			自然な不使用	0	0							
130		261	NNSBF01	JFL学習者	どうしようかなー<2人<笑い>。	無				自然な不使用	0	0							
130		262	NNSBF01	JFL学習者	どうしよう<2人<笑い>。	無				自然な不使用	0	0							
130		263	NNSBF01	JFL学習者	考えてください<2人<笑い>。						0	0							
130		264	NSOF01	母語話者(対JFL)	そうですねー、	無				自然な不使用	0	0							
130		265	NSOF01	母語話者(対JFL)	でももう、言葉は、使わないと、忘れちゃいますからねー<笑い>ながら。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
130		266	NNSBF01	JFL学習者	うーん、やっぱり日本語が一番好きだから。	無	意見回答			自然な不使用	0	0						好きなんだから	
130		267	NSOF01	母語話者(対JFL)	そうですか、	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		268	NSOF01	母語話者(対JFL)	どんな所が好き、ですか?。	無	意見要求			自然な不使用	0	0							
130		269	NNSBF01	JFL学習者	はい、外国語で外国人に話し#####感じがする<2人<笑い>。	無	意見回答			自然な不使用	0	1					1	感じがするの	
130		270	NSOF01	母語話者(対JFL)	あ、####、そうですねー	無				自然な不使用	0	0							
130		271	NSOF01	母語話者(対JFL)	分かります<笑い>ながら。	無				自然な不使用	0	0							
130		272	NSOF01	母語話者(対JFL)	私も日本からこっちに来てから、中国語勉強して一、時々友達遊びに来た時に、なんかタクシーとかで、中国語をちょっと言う(うん)、“すごい”とか言って(そうですねー)、そんなにすごいこと言ってないんですけどー<2人<笑い>。	有	情報提供	前置き	後続	正用	0	0							
130		273	NSOF01	母語話者(対JFL)	全然分からない人から見ると、すごいですよねー<2人<笑い>。	無	意見提供			自然な不使用	0	0							
130		274	NSOF01	母語話者(対JFL)	《沈黙3秒》英語は?。						0	0							
130		275	NNSBF01	JFL学習者	私は日本語より苦手です<2人<笑い>。	無	情報回答			自然な不使用	1	1					5	苦手なのです	
130		276	NSOF01	母語話者(対JFL)	そうですねー<笑い>。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		277	NNSBF01	JFL学習者	テストとかも大体50点くらい<2人<笑い>。	無	情報提供			自然な不使用	0	2	1				1	50点ぐらいなの	
130		278	NSOF01	母語話者(対JFL)	他の教科は大体、何‘なん’、何点くらいなんですか?[ピアノの音がするため聞こえづらい]。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							

〔添付資料4〕日本語母語話者とJFL学習者の雑談

データ	発話番号	ライン番号	話者番号	話者	発話内容	ノダ有無	発話機能	ノダ小分類	ノダ大分類	不自然さによる(準)分類	誤用集計	不自然さ集計	A	B	C	D	E	修正案	判定者修正
130		279	NNSBF01	JFL学習者	私は今の授業は#####、その他っていうのがあるんですけどー、	有	情報提供	前置き	後続	正用	0	0						ありますけど	
130		280	NNSBF01	JFL学習者	日本語の成績は一、まあ…く笑い【						0	0							
130		281	NSOF01	母語話者(対JFL)	【】もっというい。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
130		282	NNSBF01	JFL学習者	だと思えますけど。	無	意見回答			ゆれ	2	3	5	1		5		思ってますけど	
130		283	NNSBF01	JFL学習者	でー、英語はひどいく笑いながら。	無	情報提供			自然な不使用	0	2		1			1	ひどいの	
130		284	NSOF01	母語話者(対JFL)	ひどいですかく笑いながら。	無				自然な不使用	0	0							
130		285	NNSBF01	JFL学習者	はいく2人笑い。						0	0							
130		286	NSOF01	母語話者(対JFL)	そうですね、	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		287	NSOF01	母語話者(対JFL)	英語はねー、うん。						0	0							
130		288	NSOF01	母語話者(対JFL)	英語も中国語も、日本人の私から見ると発音が難しいんですよ。	有	意見提供	話題継続	後続	正用	0	0							
130		289	NSOF01	母語話者(対JFL)	うーん。						0	0							
130		290	NSOF01	母語話者(対JFL)	日本語は発音は簡単ですよー。	無	意見提供			自然な不使用	0	0							
130		291	NNSBF01	JFL学習者	簡単…。	無				自然な不使用	0	0							
130		292	NSOF01	母語話者(対JFL)	少ないからねーく笑い、	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
130		293	NSOF01	母語話者(対JFL)	そうですねー、	無				自然な不使用	0	0							
130		294	NSOF01	母語話者(対JFL)	うん。						0	0							
130		295	NNSBF01	JFL学習者	でも敬語とか、難しい。	無	意見提供			自然な不使用	0	0						難しいの	
130		296	NNSBF01	JFL学習者	《沈黙2秒》使うチャンスがありませんです[語尾が聞こえづらい]。	無	情報提供			ゆれ	0	3	1		1	1		ないんです	
130		297	NSOF01	母語話者(対JFL)	うんうんうん。						0	0							
130		298	NNSBF01	JFL学習者	だから上手にならないって感じく2人笑い。	無	意見提供			自然な不使用	1	2	5				1	って感じなの	
130		299	NSOF01	母語話者(対JFL)	そっかく笑いながら、	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		300	NSOF01	母語話者(対JFL)	でもお店でアルバイトしてた時とかって、ちょっと丁寧な言葉なんて使いましたか？	無	体験要求			自然な不使用	0	0							
130		301	NNSBF01	JFL学習者	うーん、"すいません"とか、#####とか[聞こえづらい]。						0	0							
130		302	NSOF01	母語話者(対JFL)	たしかに決まってますよねーく笑いながら。	無				自然な不使用	0	0							
130		303	NSOF01	母語話者(対JFL)	もうちょっとく笑い、						0	0							
130		304	NSOF01	母語話者(対JFL)	そっか、くそっかく<く>。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		305	NNSBF01	JFL学習者	<###><く>な言葉しか言ってないからく笑いながら。	無	情報提供			自然な不使用	0	0						言ってないんだから	
130		306	NSOF01	母語話者(対JFL)	でもほんと、日本人系列のお店たくさんありますけどー、	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
130		307	NSOF01	母語話者(対JFL)	みなさんね、ほんとに“ご注文は?”とか、日本語で言ってくれますよね。	無				自然な不使用	0	0							
130		308	NNSBF01	JFL学習者	でも日本人のお客さんとか、日本語を、時々聞いたこともない日本語で返事してくれるから、	無	情報提供			自然な不使用	0	0						返事してくれるんだから	

〔添付資料4〕 日本語母語話者とJFL学習者の雑談

データ	発話番号	ライン番号	話者番号	話者	発 話 内 容	ノダ有無	発話機能	ノダ小分類	ノダ大分類	不自然さによる(準)分類	誤用集計	不自然さ集計	A	B	C	D	E	修正案	判定者修正
	130	309	NNSBF01	JFL学習者	勉強になる。	無	意見提供			自然な不使用	0	2	1				1	勉強になるの	
	130	310	NSOF01	母語話者(対JFL)	あ、そうですねー、	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
	130	311	NSOF01	母語話者(対JFL)	いい練習になってく笑い)そうよねー。	無	意見提供			自然な不使用	0	0							
	130	312	NSOF01	母語話者(対JFL)	じゃあ、学校の授業と、今こう留学試験と違って、どんな勉強してるんですか?。	有	情報要求	疑問の(か)	その他	正用	0	0							
	130	313	NNSBF01	JFL学習者	えっとですねー、えーっと、日本の学習####に行ってみて(えーえー)それで単語はいい(あー)。	無	情報回答			ゆれ	1	3	5	1		1	いいいの		
	130	314	NNSBF01	JFL学習者	週2回は####で。						0	0							
	130	315	NSOF01	母語話者(対JFL)	どんな##せつですか?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
	130	316	NNSBF01	JFL学習者	えーっと####変な短い文章で(えーえー)、日本語の。						0	0							
	130	317	NSOF01	母語話者(対JFL)	こういう本今すぐく流行ってるんですよー(うん)。	有	情報要求	疑問の(か)	その他	正用	0	0							
	130	318	NSOF01	母語話者(対JFL)	うん、たくさん。	無	情報回答			自然な不使用	0	0							
	130	319	NSOF01	母語話者(対JFL)	日本人も日本語についてよく分からなくてー、なんかそういう、こう読んで勉強するっていうの、今すぐく流行ってるんですけど、	有	情報提供	事情	承前	正用	0	0							
	130	320	NNSBF01	JFL学習者	あ、そうなんだ。	有	ソウナンデスカ	相づち	その他	正用	0	0						そうだ	
	130	321	NSOF01	母語話者(対JFL)	これは見たことがなかったですね、ふーん。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
	130	322	NSOF01	母語話者(対JFL)	おもしろい?。	無	意見要求			自然な不使用	0	0							
	130	323	NNSBF01	JFL学習者	おもしろいです。	無	意見回答			自然な不使用	0	0						おもしろいんです	
	130	324	NSOF01	母語話者(対JFL)	そうですねー。	無				自然な不使用	0	0							
	130	325	NNSBF01	JFL学習者	知らなかったことを教えてくれる(うんうんうん)。	無	情報提供			ゆれ	1	3	5	1		1	教えてくれるの		
	130	326	NSOF01	母語話者(対JFL)	そうですねー。	無				自然な不使用	0	0							
	130	327	NSOF01	母語話者(対JFL)	中国でこういう本は無いんですか?。	有	情報要求	疑問の(か)	その他	正用	0	0							
	130	328	NNSBF01	JFL学習者	分からないく笑いながら>。	無	情報回答			自然な不使用	1	1	5					分からないの	
	130	329	NSOF01	母語話者(対JFL)	そっかそっかく笑いながら>。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
	130	330	NSOF01	母語話者(対JFL)	私も本が好きで(うん)読みたいんですけどね。	有	意見提供	帰結	承前	正用	0	0							
	130	331	NNSBF01	JFL学習者	《沈黙2秒》台湾では、休みの日は日本語の音楽を聞いたりとか【】。						0	0							
	130	332	NSOF01	母語話者(対JFL)	【】そうですね、	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
	130	333	NSOF01	母語話者(対JFL)	大体ね私は運動しに行ってますね。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
	130	334	NNSBF01	JFL学習者	運動?。	無				自然な不使用	0	0						運動なの?	
	130	335	NSOF01	母語話者(対JFL)	運動く笑いながら>。	無	情報回答			自然な不使用	0	0							
	130	336	NSOF01	母語話者(対JFL)	あの、フィットネスって分かります?。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
	130	337	NSOF01	母語話者(対JFL)	=えーっとプール、があったり(はい)、あとはこういう機械があったり(あー)とか、そこ、						0	0							
	130	338	NNSBF01	JFL学習者	くすいません>【】。						0	0						すまないんです	

〔添付資料4〕 日本語母語話者とJFL学習者の雑談

データ	発話番号	ライン番号	話者番号	話者	発話内容	ノダ有無	発話機能	ノダ小分類	ノダ大分類	不自然さによる(準)分類	誤用集計	不自然さ集計	A	B	C	D	E	修正案	判定者修正
130		339	NSOF01	母語話者(対JFL)	くうんうん> >、そこに入ってるんで、大体そこで。						0	0							
130		340	NNSBF01	JFL学習者	だからスタイルがいいんですね> >。	有	意見提供	帰結	承前	正用	0	0						いいですね	
130		341	NSOF01	母語話者(対JFL)	くいいえー> >、いいえー<2人笑い>。						0	0							
130		342	NSOF01	母語話者(対JFL)	でもね、その東京に住んでた時は(はい)、あの、電車で何本も乗ったり、すごくあの、たくさん運動してた、歩いてたんですけど、	有	体験提供	前置き	後続	正用	0	0							
130		343	NSOF01	母語話者(対JFL)	台湾はつ、台北はね、小さくて便利なんで(はい)、						0	0							
130		344	NSOF01	母語話者(対JFL)	すぐになんかあの電車、すぐ乗って(はい)2つの駅だけとか(はい)、						0	0							
130		345	NSOF01	母語話者(対JFL)	あんまり歩かないんで、						0	0							
130		346	NSOF01	母語話者(対JFL)	なんかだんだん中華料理もおいしいし(ひー)だんだんこう、体重が増えてきちゃったので、						0	0							
130		347	NSOF01	母語話者(対JFL)	今また戻さなきゃいけないんですよ。すよく笑い>。	有	体験提供	帰結	承前	正用	0	0							
130		348	NNSBF01	JFL学習者	はははっく大笑い>。						0	0							
130		349	NSOF01	母語話者(対JFL)	運動してるんですよ。すよく笑い>。	有	情報提供	帰結	承前	正用	0	0							
130		350	NSOF01	母語話者(対JFL)	そうなんですよ。	有		言いよどみ	その他	正用	0	0							
130		351	NNSBF01	JFL学習者	台湾料理では(うん)、一番好きなのは(何ですか)> >?。	無	意見要求			自然な不使用	0	0						何なんですか?	
130		352	NSOF01	母語話者(対JFL)	くあーむずかしい> >質問ですね=。	無				自然な不使用	0	0							
130		353	NSOF01	母語話者(対JFL)	=たくさんありますけどー、	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
130		354	NSOF01	母語話者(対JFL)	水餃子大好きなんですよ(おー)。	有	意見回答	主題提起	後続	正用	0	0							
130		355	NSOF01	母語話者(対JFL)	水餃子、台湾料理ですか?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
130		356	NNSBF01	JFL学習者	水じょ、水餃子は中国の(料理です)> >。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						中国の料理なんです	
130		357	NSOF01	母語話者(対JFL)	く中国なの> ><2人笑い>。	有	ゾウナンデスカ	相づち	その他	正用	0	0							
130		358	NSOF01	母語話者(対JFL)	そう、	無				自然な不使用	0	0							
130		359	NSOF01	母語話者(対JFL)	あととはなんかあの、台湾の卵焼き(はい)、あの、なんだっけ、うーんと、ツアイとかいう、						0	0						ツアイなの	
130		360	NNSBF01	JFL学習者	ツアイ。	無				自然な不使用	0	0							
130		361	NSOF01	母語話者(対JFL)	うん、中に(うん)なんか漬物みたいのく入ってる> >、						0	0							
130		362	NNSBF01	JFL学習者	く大根の> >。						0	0							
130		363	NSOF01	母語話者(対JFL)	そうそうそう	無				自然な不使用	0	0							
130		364	NSOF01	母語話者(対JFL)	大根の、が好き。	無	意見回答			自然な不使用	0	0							
130		365	NNSBF01	JFL学習者	私も好きく笑い>。	無				自然な不使用	0	1					1	好きなの	
130		366	NNSBF01	JFL学習者	あ、ほんとに<2人笑い>。						0	0							
130		367	NSOF01	母語話者(対JFL)	あれは家で作るんですか?。	有	情報要求	疑問の(か)	その他	正用	0	0							
130		368	NNSBF01	JFL学習者	作れば、もっとおいしい。	無	情報回答			自然な不使用	0	2		1			1	おいしいの	

〔添付資料4〕 日本語母語話者とJFL学習者の雑談

データ	発話番号	ライン番号	話者番号	話者	発話内容	ノダ有無	発話機能	ノダ小分類	ノダ大分類	不自然さによる(準)分類	誤用集計	不自然さ集計	A	B	C	D	E	修正案	判定者修正
130		369	NSOF01	母語話者(対JFL)	あ、そうなんですか。	有	ソウナンデスカ	相づち	その他	正用	0	0							
130		370	NSOF01	母語話者(対JFL)	あれは大好きなんですよく笑い。	有	意見回答	帰結	承前	正用	0	0							
130		371	NNSBF01	JFL学習者	###[台湾料理名]もですか？。	無	意見要求			自然な不使用	0	0						[台湾料理名]もなんですか？	
130		372	NSOF01	母語話者(対JFL)	あ、そうですね、	無	意見回答			自然な不使用	0	0							
130		373	NSOF01	母語話者(対JFL)	たしかにたしかに。						0	0							
130		374	NSOF01	母語話者(対JFL)	あれもおいしいですよ〜笑いながら。	無	意見提供			自然な不使用	0	0							
130		375	NNSBF01	JFL学習者	苦手なものは？。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
130		376	NSOF01	母語話者(対JFL)	苦手なものはないんですよー。	有	情報回答	主題提起	後続	正用	0	0							
130		377	NNSBF01	JFL学習者	臭豆腐‘チョウドウフ’[台湾料理名]もですか？。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
130		378	NSOF01	母語話者(対JFL)	うん。						0	0							
130		379	NNSBF01	JFL学習者	えーっ[びっくりしたように]。						0	0							
130		380	NNSBF01	JFL学習者	臭豆腐‘チョウドウフ’まで？。	無	情報要求			自然な不使用	0		1	1				臭豆腐‘チョウドウフ’までの？	
130		381	NSOF01	母語話者(対JFL)	そうですね、	無	情報回答			自然な不使用	0	0							
130		382	NSOF01	母語話者(対JFL)	そうですね〜笑いながら。	無	情報回答			自然な不使用	0	0							
130		383	NSOF01	母語話者(対JFL)	中国人からなんか、“他の日本人となんかちよつと違う”って言われちゃうんですよ〜笑いながら。	有	情報提供	帰結	承前	正用	0	0							
130		384	NNSBF01	JFL学習者	えー。						0	0							
130		385	NSOF01	母語話者(対JFL)	臭豆腐‘チョウドウフ’好きですか？。	無	意見要求			自然な不使用	0	0							
130		386	NNSBF01	JFL学習者	うーん、好きでは、好きではないんですけど。	有	意見回答	前置き	後続	正用	0		2			1	1	好きではないですけど	
130		387	NNSBF01	JFL学習者	嫌いではない。	無	意見回答			自然な不使用	0	0						嫌いではないの	
130		388	NSOF01	母語話者(対JFL)	そっか、そっか、	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		389	NSOF01	母語話者(対JFL)	そー〜笑いながら。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		390	NSOF01	母語話者(対JFL)	あれは日本では食べられないですからね〜笑いながら。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
130		391	NNSBF01	JFL学習者	日本人、私が日本人の立場なら(うん)、誰も好きじゃない〜2人笑い。	無	意見提供			自然な不使用	0	0						好きじゃないの	
130		392	NSOF01	母語話者(対JFL)	そうですね、	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		393	NSOF01	母語話者(対JFL)	たしかにそれが普通かもしれません〜笑いながら。	無				自然な不使用	0	0							
130		394	NNSBF01	JFL学習者	皆くさい、くさいって言う。	無	情報提供			ゆれ	0		3	1	1		1	って言うの	
130		395	NSOF01	母語話者(対JFL)	そうですね、	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		396	NSOF01	母語話者(対JFL)	でも日本って納豆がくさいですよ。	無	意見要求			自然な不使用	0	0							
130		397	NNSBF01	JFL学習者	納豆は、大丈夫です。	無	情報回答			自然な不使用	1		2		5	1		大丈夫なんです	
130		398	NSOF01	母語話者(対JFL)	あー大丈夫ですか[↑]。	無				自然な不使用	0	0							
130		399	NNSBF01	JFL学習者	<好きです>[×]。	無	意見回答			自然な不使用	1		1		5			好きなんです	

[添付資料4] 日本語母語話者とJFL学習者の雑談

データ	発話番号	ライン番号	話者番号	話者	発話内容	ノダ有無	発話機能	ノダ小分類	ノダ大分類	不自然さによる(準)分類	誤用集計	不自然さ集計	A	B	C	D	E	修正案	判定者修正
130		400	NSOF01	母語話者(対JFL)	<あ本当>><。>	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		401	NSOF01	母語話者(対JFL)	そうか、	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		402	NSOF01	母語話者(対JFL)	じゃあ2人ともちょっと違いますね><<<笑いながら>。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
130		403	NNSBF01	JFL学習者	<えーっ>><[↑]。					自然な不使用	0	0							
130		404	NSOF01	母語話者(対JFL)	私の友達、台湾人の友達みんな嫌いですよ><<。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
130		405	NNSBF01	JFL学習者	<えーっ[↑]>>< 本当[↑]。	無				自然な不使用	0	1		1				本当なの	
130		406	NSOF01	母語話者(対JFL)	うんうん。						0	0							
130		407	NNSBF01	JFL学習者	すごく、おいしいですよ><<。	無	意見要求			自然な不使用	0	0						おいしいんですよ	
130		408	NSOF01	母語話者(対JFL)	<おいしいですよ><<。	無	意見回答			自然な不使用	0	0							
130		409	NNSBF01	JFL学習者	はい。						0	0							
130		410	NSOF01	母語話者(対JFL)	そっか、そっか笑いながら>。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
130		411	NSOF01	母語話者(対JFL)	そろそろ時間ですね。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
130		412	NNSBF01	JFL学習者	そうですね。	無				自然な不使用	0	0						そうなんですね	
130		413	NSOF01	母語話者(対JFL)	じゃあ、今日はありがとうございました。						0	0							
130		414	NNSBF01	JFL学習者	ありがとうございました。						0	0							
130		415	NSOF01	母語話者(対JFL)	また機会があったら是非…。						0	0							
130		416	NNSBF01	JFL学習者	はい。						0	0							

[添付資料5] 日本語母語話者とJSL学習者の雑談

データ	発話番号	ライン番号	話者番号	話者	発話内容	ノダ有無	発話機能	ノダ小分類	ノダ大分類	不自然さによる(準)分類	誤用集計	不自然さ集計	A	B	C	D	E	修正案	判定者修正
142	1	1	TF1	JSL学習者	####しゃべってください。	無				自然な不使用	0	0							
142	2	2	JF1	母語話者(対JSL)	えっ、何をしゃべるんですか(笑い)。	有	情報要求	疑問の(か)	その他	正用	0	0							
142	3	3	TF1	JSL学習者	《沈黙2秒》ね、しゃべれないよ。						0	0							
142	4	4	JF1	母語話者(対JSL)	く笑いがら>しゃべれないよ。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
142	5	5	TF1	JSL学習者	また私ずっとしゃべってる感じだ(く笑い)と思いました。	無	意見提供			自然な不使用	1	1				5		思っただんです	
142	6	6	TF1	JSL学習者	あっ(く)。						0	0							
142	7	7	JF1	母語話者(対JSL)]]あっ、お菓子食べる(く)時に…>(く)。						0	0							
142	8	8	TF1	JSL学習者	くそう>(く)。						0	0						そうなの	
142	9	9	JF1	母語話者(対JSL)	かな。						0	0							
142	10	10	TF1	JSL学習者	でもこういう時はなんか直接お客さんのほうが、(うん)お箸で取るのではなくて…>(く)]]。						0	0							
142	11	11	JF1	母語話者(対JSL)]]くあ、>(く)えっ、お点前さんに行った(く)ほうがいい?(く)。	無	意見要求			自然な不使用	0	0							
142	12	12	TF1	JSL学習者	くうん、そう>(く)。	無	意見回答			自然な不使用	0	0						そうなの	
142	13	13	JF1	母語話者(対JSL)	お菓子頂戴いたします。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
142	14	14	TF1	JSL学習者	こちら『豊瑞‘ほうずい’』でございます。	無	情報提供			自然な不使用	0	0						でござるんです	
142	15	15	TF1	JSL学習者	《沈黙2秒》でも意外に何もしゃべらないよりも(うん)ちゃんとく相手に…>(く)]]。						0	0							
142	16	16	JF1	母語話者(対JSL)]]く会話が>(く)。						0	0						そうなの	
142	17	17	TF1	JSL学習者	そうそうそう。						0	0						そうなの	
142	18	18	JF1	母語話者(対JSL)	あったほうがいい。	無	意見提供			自然な不使用	0	0							
142	19	19	TF1	JSL学習者	うん。						0	0							
142	20	20	TF1	JSL学習者	《沈黙2秒》思いやり。	無	情報提供			自然な不使用	0	0						思いやりなの	
142	21	21	JF1	母語話者(対JSL)	そうだね。	無				自然な不使用	0	0							
142	22	22	JF1	母語話者(対JSL)	《沈黙2秒》いい匂いがする(く)笑い)。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
142	23	23	TF1	JSL学習者	あ、また、私が…。						0	0							
142	24	24	JF1	母語話者(対JSL)	《沈黙5秒》あっ、でも食べてたらしゃべれないよ(く)笑い)。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
142	25	25	TF1	JSL学習者	あっ、大丈夫です。	無	情報提供			自然な不使用	0	0						大丈夫なんです	
142	26	26	TF1	JSL学習者	同時に、しゃべってるわけではないから。	無	情報提供			自然な不使用	1	1					5	ではないんだから	
142	27	27	TF1	JSL学習者	《少し間》薄目のほうがいい?。	無	意見要求			自然な不使用	0	0						いいの?	
142	28	28	JF1	母語話者(対JSL)	うん。						0	0							
142	29	29	TF1	JSL学習者	《沈黙5秒》私なんか1回1回で手、指で拭く。	無	情報提供			ゆれ	0	0	3	1	1		1	拭くの	
142	30	30	JF1	母語話者(対JSL)	あー、上拭いて…。						0	0							
142	31	31	TF1	JSL学習者	うん、そうしないとなんかまた1回ついてるから、	無	情報提供			自然な不使用	0	0						ついてるんだから	
142	32	32	TF1	JSL学習者	だめって。						0	0							
142	32	33	JF1	母語話者(対JSL)	あっ、でも本当は茶巾で拭くんじゃないよね(く)大きな笑い)。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
142	33	34	TF1	JSL学習者	懐紙って、持ってこなかったんだもの。	有	情報提供	事情	承前	正用	0	0						持ってこなかったもの	
142	34	35	JF1	母語話者(対JSL)	そうだね。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
142	35	36	JF1	母語話者(対JSL)	あっ、そうなんだ。	有	ソウナンデスカ	相づち	その他	正用	0	0							
142	36	37	TF1	JSL学習者	あっ、私1枚、茶巾持ってきて、(うん)「人名1名」も自分持ってきたよね。	無	情報提供			自然な不使用	0	2		1	1			持ってきたのよね	
142	37	38	JF1	母語話者(対JSL)	うん(く)うん(く)。						0	0							

[添付資料5] 日本語母語話者とJSL学習者の雑談

データ	発話番号	ライン番号	話者番号	話者	発話内容	ノダ有無	発話機能	ノダ小分類	ノダ大分類	不自然さによる(準)分類	誤用集計	不自然さ集計	A	B	C	D	E	修正案	判定者修正
142	38	39	TF1	JSL学習者	<あれが>>ちよつと、あと####かも。					自然な不使用	0	0							
142	39	40	JF1	母語話者(対JSL)	《沈黙2秒》自分の茶巾?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
142	40	41	TF1	JSL学習者	マイ茶巾。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						マイ茶巾なの	
142	41	42	JF1	母語話者(対JSL)	あー、そう。	無	ソウナデスカ			自然な不使用	0	0							
142	42	43	TF1	JSL学習者	《沈黙3秒》あつ、めちゃくちゃした。	無	情報提供			自然な不使用	0	0						めちゃくちゃしたの	
142	43	44	JF1	母語話者(対JSL)	なんで?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
142	44	45	TF1	JSL学習者	お茶ついてるとね、なんか、	無	情報回答			自然な不使用	0	0							
142	45	46	JF1	母語話者(対JSL)	濡れてるわけでもない。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
142	46	47	TF1	JSL学習者	なんか、いい茶杓じゃないみたい。	無	情報提供			自然な不使用	0	1		1				じゃないみたいなの	
142	47	48	JF1	母語話者(対JSL)	いい茶杓だったたくさんある…く笑い。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
142	48	49	JF1	母語話者(対JSL)	<ねー、でも…>><。						0	0							
142	49	50	TF1	JSL学習者	<それは####>><。						0	0							
142	50	51	TF1	JSL学習者	あつ、なんかね、あの、お茶のはくぶつ、博物館みたいな所で、すごい茶杓見た。	無	体験提供			ゆれ	0	3	1			1	1	見たの	
142	51	52	JF1	母語話者(対JSL)	うん。						0	0							
142	52	53	TF1	JSL学習者	すごくというか、見たこともない茶杓…。	無	情報提供		3	ゆれ	0	3		1	1		1	茶杓なの…	
142	53	54	JF1	母語話者(対JSL)	何が、形?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
142	54	55	TF1	JSL学習者	形は普通だけど…。	無	情報回答	前置き	後続	非用	2	5	1	5	1	1	5	普通なんだけど…	
142	55	56	TF1	JSL学習者	木、あの、竹じゃなくて木で切って、白黒のなんか…、紋??、	無				自然な不使用	0	0						紋なの??	
142	56	57	JF1	母語話者(対JSL)	うん、<木目っていつか、そういう…>><[L]						0	0							
142	57	58	TF1	JSL学習者	[L]<見た目がその…>>[D]。						0	0							
142	58	59	TF1	JSL学習者	そうそう、	無	情報提供			自然な不使用	0	0						そうなのそうなのそうなの	
142		60	TF1	JSL学習者	いっぱいいついてる。	無	情報提供			自然な不使用	0	0						ついついてるの	
142	59	61	JF1	母語話者(対JSL)	へ<ー>><[L]						0	0							
142	60	62	TF1	JSL学習者	<だか>>らな一んつとなく不思議な感じ。	無	意見提供			自然な不使用	0	1	1					感じなの	
142	61	63	JF1	母語話者(対JSL)	すごく高い、立派な、						0	0							
142	62	64	TF1	JSL学習者	いよ、						0	0							
142	63	65	JF1	母語話者(対JSL)	誰か有名な人が、作ったの?。	有	情報要求	疑問の(か)	その他	正用	0	0							
142	64	66	TF1	JSL学習者	4代目は確かに、なんか4代、5代時'とき'の(もので…)>><。						0	0							
142	65	67	JF1	母語話者(対JSL)	<えー?>><。						0	0							
142	66	68	JF1	母語話者(対JSL)	えっ?。						0	0							
142	67	69	TF1	JSL学習者	4代本人じゃないよ。	無	情報提供			自然な不使用	0	2		1			1	じゃないのよ	
142	68	70	JF1	母語話者(対JSL)	裏千家の?。						0	0							
142	69	71	TF1	JSL学習者	そうそう、	無	情報回答			自然な不使用	0	0						そうなのそうなのそうなの	
142		72	TF1	JSL学習者	そうかも。	無	意見回答			自然な不使用	0	0						そうなのかも	
142	70	73	JF1	母語話者(対JSL)	えー、それってさあ、《少し間》千…、だって、利休さんが<千>><。						0	0							
142	71	74	TF1	JSL学習者	<3>><代は宗旦。	無	情報提供			自然な不使用	0	1	1					宗旦なの	
142	72	75	JF1	母語話者(対JSL)	1600年とかあれなんでしょう?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
142	73	76	TF1	JSL学習者	うん、意外に長くない。	無	意見提供			自然な不使用	0	1	1					長くないの	

[添付資料5] 日本語母語話者とJSL学習者の雑談

データ	発話番号	ライン番号	話者番号	話者	発話内容	ノダ有無	発話機能	ノダ小分類	ノダ大分類	不自然さによる(準)分類	誤用集計	不自然さ集計	A	B	C	D	E	修正案	判定者修正
	142	74	77	JF1	母語話者(対JSL)	長いよ。	無			自然な不使用	0	0							
	142	75	78	JF1	母語話者(対JSL)	<笑いながら>長いよ。	無			自然な不使用	0	0							
	142	76	79	TF1	JSL学習者	長くないよ。	無			自然な不使用	0	0						長くないのよ	
	142	77	80	JF1	母語話者(対JSL)	2,300年はあるんだよ、だって。	有	情報提供	事情	承前	0	0							
	142	78	81	TF1	JSL学習者	短くない?。	無	意見要求			0	0						短くないの?	
	142	79	82	TF1	JSL学習者	あっ、でも、私、中国の…><<U>>。					0	0							
	142	80	83	JF1	母語話者(対JSL)]]<そう><、中国は長すぎるから<笑い>。	無	情報提供			0	0							
	142	81	84	TF1	JSL学習者	長すぎ?<笑い>。	無	情報要求			0	2	1			1		長すぎなの?	
	142	82	85	JF1	母語話者(対JSL)	長すぎ、	無	情報回答			0	0							
	142		86	JF1	母語話者(対JSL)	<笑いながら>4000年とかでしょ?。	無	情報要求			0	0							
	142	83	87	JF1	母語話者(対JSL)	=だよ、ね。					0	0							
	142	84	88	TF1	JSL学習者	うん。					0	0							
	142	85	89	TF1	JSL学習者	えーとね、ちょっと、もう、<もうちょっと…><<U>>。					0	0							
	142	86	90	JF1	母語話者(対JSL)]]<失敗><した<笑い>。	無	情報提供			0	0							
	142	87	91	TF1	JSL学習者	そう、	無	情報提供			0	0						そうなの	
	142		92	TF1	JSL学習者	もうちょっとお湯入れます?(<笑い>)。	無	情報要求			0	0						入れるんですか	
	142	88	93	JF1	母語話者(対JSL)	いいよ<笑い>。	無	情報回答			0	0							
	142	89	94	TF1	JSL学習者	これ、い、入れないよ、<後、なに…><<U>>。					0	0							
	142	90	95	JF1	母語話者(対JSL)]]<おいしい><ほうがいも<笑い>。	無	意見提供			0	0							
	142	91	96	TF1	JSL学習者	そう、	無	ソウナンデスカ			0	0						そうなの	
	142		97	TF1	JSL学習者	飲めない…。					0	1		1				飲めないの…	
	142	92	98	JF1	母語話者(対JSL)	《沈黙3秒》ね、このチョコレート美味しいよ。	無	意見提供			0	0							
	142	93	99	TF1	JSL学習者	でも、全部食べちゃう。	無	情報提供			0	1					1	食べちゃうの	
	142	94	100	JF1	母語話者(対JSL)	中に何かやわらかいのも入ってる。	無	情報提供			0	0							
	142	95	101	TF1	JSL学習者	うん、美味しいね、なんか。	無	意見提供			0	0						美味しいのね、なんか	
	142	96	102	TF1	JSL学習者	どこの?。					0	0							
	142		103	TF1	JSL学習者	ベルギーじゃない?。	無	情報要求			0	2	1				1	じゃないの?	
	142	97	104	JF1	母語話者(対JSL)	多分日本だと思う。	無	意見回答			0	0							
	142	98	105	TF1	JSL学習者	ふーん。					0	0							
	142	99	106	TF1	JSL学習者	水屋見舞い、誰の?。					0	0							
	142	100	107	JF1	母語話者(対JSL)	もう誰のか分かんない<笑い>。	無	情報提供			0	0							
	142	101	108	TF1	JSL学習者	分かんない。	無				0	0						分かんないの	
	142	102	109	JF1	母語話者(対JSL)	でも卒業茶会の、時にもらった。	無	情報提供			0	0							
	142	103	110	TF1	JSL学習者	うん。					0	0							
	142	104	111	TF1	JSL学習者	えっ、チョコ多いね。	無	情報提供			0	0						多いのね	
	142	105	112	JF1	母語話者(対JSL)	うん、ね。					0	0							

[添付資料5] 日本語母語話者とJSL学習者の雑談

データ	発話番号	ライン番号	話者番号	話者	発話内容	ノダ有無	発話機能	ノダ小分類	ノダ大分類	不自然さによる(準)分類	誤用集計	不自然さ集計	A	B	C	D	E	修正案	判定者修正
142	106	113	JF1	母語話者(対JSL)	<珍しいよね><。>	無	意見提供			自然な不使用	0	0							
142	107	114	TF1	JSL学習者	<すごいな?><。>	無	意見要求			自然な不使用	0	0						すごいなの?	
142	108	115	JF1	母語話者(対JSL)	クッキーとかさ…					自然な不使用	0	0							
142	109	116	TF1	JSL学習者	うん。					自然な不使用	0	0							
142	110	117	TF1	JSL学習者	いいな、私も卒業茶会…。	無	意見提供			自然な不使用	0	0						卒業茶会なの…	
142	111	118	TF1	JSL学習者	あっ、そうそうそう、	無				自然な不使用	0	0						そうなのそうなのそうなの	
142		119	TF1	JSL学習者	残した後の当日券はどこにある?。	無	情報要求	疑問の(か)	その他	非用	1	4	1	5			1	1	あるの?
142	112	120	JF1	母語話者(対JSL)	《少し間》分かんない。	無	情報回答			自然な不使用	0	0							
142	113	121	JF1	母語話者(対JSL)	誰かが管理してたの?	有	情報要求	疑問の(か)	その他	正用	0	0							
142		122	JF1	母語話者(対JSL)	<2年生?><。>	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
142	114	123	TF1	JSL学習者	<うーん、>>なんか「人名2姓」くん持ってるのかな><。>	無	情報回答			自然な不使用	0	2		1			1	持っているのかな	
142	115	124	JF1	母語話者(対JSL)	<あー、>>だって会計…					自然な不使用	0	0							
142	116	125	JF1	母語話者(対JSL)	そうだよね。	無				自然な不使用	0	0							
142	117	126	TF1	JSL学習者	うん。					自然な不使用	0	0							
142	118	127	JF1	母語話者(対JSL)	#####					自然な不使用	0	0							
142	119	128	TF1	JSL学習者	そう。					自然な不使用	0	0						そうなの	
142		129	TF1	JSL学習者	「人名3名」ちゃんじゃない?、もともと。	無	情報要求			自然な不使用	0	0						じゃないの?、もともと	
142	120	130	JF1	母語話者(対JSL)	ねー。					自然な不使用	0	0							
142	121	131	TF1	JSL学習者	今お金ある限り、半年分ぐらいく笑いながら>なに、先く払おうと…><。>					自然な不使用	0	0							
142	122	132	JF1	母語話者(対JSL)	<そうそうそう。					自然な不使用	0	0							
142		133	JF1	母語話者(対JSL)	>>先にね、私も払おうかなと思っただけだよ。(うん)	有	体験提供	前置き	後続	正用	0	0							
142		134	JF1	母語話者(対JSL)	「人名4名」ちゃんがなんか、ほら、去年のは終わってないから。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
142		135	JF1	母語話者(対JSL)	(うん)くまだ払って>><<。>					自然な不使用	0	0							
142	123	136	TF1	JSL学習者	>><<誰がまだ>>払ってないの?。	有	情報要求	疑問の(か)	その他	正用	0	0						払っていない?	
142	124	137	JF1	母語話者(対JSL)	ね。					自然な不使用	0	0							
142	125	138	TF1	JSL学習者	知りたいね。	無	意見提供			自然な不使用	0	0						知りたいのね	
142	126	139	JF1	母語話者(対JSL)	本当[↑]。	無				自然な不使用	0	0							
142	127	140	JF1	母語話者(対JSL)	“早く、く払え”って><。>					自然な不使用	0	0							
142	128	141	TF1	JSL学習者	<毎年><。>あるよ、いるよね。	無	情報提供			自然な不使用	0	0						あるのよ、いるのよね	
142	129	142	JF1	母語話者(対JSL)	うん。					自然な不使用	0	0							
142	130	143	JF1	母語話者(対JSL)	溜まるとさあ、だって、払えないよね。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
142	131	144	TF1	JSL学習者	あー、そっか。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0						そうなのか	
142	132	145	JF1	母語話者(対JSL)	1万<円…><<。>					自然な不使用	0	0							
142	133	146	TF1	JSL学習者	>><<1万円><。>なると、なかなか出せないよね。	無	情報提供			自然な不使用	0	0						出せないのよね	
142	134	147	JF1	母語話者(対JSL)	そう。	無				自然な不使用	0	0							
142	135	148	TF1	JSL学習者	分かる。	無				自然な不使用	0	0						分かるの	
142	136	149	JF1	母語話者(対JSL)	大変だもん、だって、	無	意見提供			自然な不使用	0	0							
142	137	150	JF1	母語話者(対JSL)	やっぱり2、3ヶ月ぐらい、払ったほうがいいよ><。>	無	意見提供			自然な不使用	0	0							
142	138	151	TF1	JSL学習者	<分けて払わないよ>>。>					自然な不使用	0	0							

[添付資料5] 日本語母語話者とJSL学習者の雑談

データ	発話番号	ライン番号	話者番号	話者	発 話 内 容	ノダ 有無	発話機能	ノダ 小分類	ノダ 大分類	不自然さ による (準)分類	誤用 集計	不自然さ 集計	A	B	C	D	E	修正案	判定者修正
142	139	152	TF1	JSL学習者	へー、なんか卒業生の、その棚、寄付して、いくらかったの かな。	有	情報要求	疑問の(か)	その他	正用	0	0						かかったかな	
142	140	153	JF1	母語話者(対JSL)	分かんない。	無	情報回答			自然な不 使用	0	0							
142	141	154	JF1	母語話者(対JSL)	=でも聞けないよ<笑い>。	無	情報提供			自然な不 使用	0	0							
142	142	155	TF1	JSL学習者	あつ、聞けない?。	無	情報要求			自然な不 使用	0	2	1	1				聞けないの?	
142	143	156	JF1	母語話者(対JSL)	でも来年もさあ、再来年もずっと、					0	0								
142	144	157	TF1	JSL学習者	<はい?><く>。					0	0								
142	145	158	JF1	母語話者(対JSL)	<そう?><う>やってくことに(あー)なるよね。	無	意見提供			自然な不 使用	0	0							
142	146	159	TF1	JSL学習者	なんか、あのー、裏千家じゃなくて、裏千家とすごく仲がい い、の道具屋さんが、					0	0								
142	147	160	JF1	母語話者(対JSL)	あつ?、東京の?。					0	0								
142	148	161	TF1	JSL学習者	そう。	無	情報回答			自然な不 使用	0	0						そうなの	
142	149	162	TF1	JSL学習者	東京の支店で、なんと立礼'りゅうれい'の棚が貸し出しでき るって。	無				ゆれ	2	3	1	5			5	できるんだって	
142	150	163	JF1	母語話者(対JSL)	へー?。					0	0								
142	151	164	TF1	JSL学習者	うん。					0	0								
142	152	165	JF1	母語話者(対JSL)	えっ?。					0	0								
142	153	166	TF1	JSL学習者	いくらか分かんないんだけど	無	情報提供			ゆれ	3	3	5	5			5	分かんないんだけど	
142	154	167	JF1	母語話者(対JSL)	ふーん。					0	0								
142	155	168	JF1	母語話者(対JSL)	えっ、それは裏千家の知り合い?。	無	情報要求			自然な不 使用	0	0							
142	156	169	TF1	JSL学習者	いや、たまたま。	無	情報回答			自然な不 使用	0	0						たまたまなの	
142	157	170	TF1	JSL学習者	知り合い、くじゃない…><く>。	無	情報回答			自然な不 使用	0	0						じゃないの…	
142	158	171	JF1	母語話者(対JSL)	<裏千><の>家と、縁が…。					0	0								
142	159	172	TF1	JSL学習者	そうそう。	無	情報提供			自然な不 使用	0	0						そうなのそうなの	
142	160	173	TF1	JSL学習者	確かに裏千家東京道場の隣に支店がある。	無	情報提供			自然な不 使用	1	2		5		1	あるの		
142	161	174	JF1	母語話者(対JSL)	ふーん。					0	0								
142	162	175	JF1	母語話者(対JSL)	えっ、どの辺?、場所。	無	情報要求			自然な不 使用	0	0							
142	163	176	TF1	JSL学習者	えーと、四ッ谷…、あの、市ヶ谷くらいにちよつと…。					0	0								
142	164	177	JF1	母語話者(対JSL)	ふーん。					0	0								
142	165	178	TF1	JSL学習者	ちよつと伸ばして…、薄目の、ほうがいい<急にお茶の話題に 変わった>。	無	意見提供			自然な不 使用	0	1				1	いいの		
142	166	179	JF1	母語話者(対JSL)	うん。					0	0								
142	167	180	JF1	母語話者(対JSL)	《少し間》ふーん、そうなんだ。	有	ソウナデスカ	相づち	その他	正用	0	0							
142	168	181	TF1	JSL学習者	そう。	無				自然な不 使用	0	0						そうなの	
142	169	182	TF1	JSL学習者	《沈黙4秒》だから先生はずっとなんか立礼'りゅうれい'、					0	1		1				立礼なの		
142	170	183	JF1	母語話者(対JSL)	ね、欲しい。					0	0								
142	171	184	TF1	JSL学習者	欲しい<く欲しい><く>。					0	0							欲しいの欲しいの	
142	172	185	JF1	母語話者(対JSL)	<欲しいって言ってた><く>。	無	情報提供			自然な不 使用	0	0							
142	173	186	TF1	JSL学習者	って。					0	0								
142	174	187	JF1	母語話者(対JSL)	なんか留学生の人がさ、痺れちゃうから。					0	0								
142	175	188	TF1	JSL学習者	でも日本人も痺れちゃうよね<笑い>。	無	情報提供			自然な不 使用	0	1		1			痺れちゃうのよね		
142	176	189	JF1	母語話者(対JSL)	って言ってたけどね。	無	情報提供			自然な不 使用	0	0							
142	177	190	TF1	JSL学習者	留学生と言ったら、「団体名1」の人達は(うん)、全然、					0	1		1				全然なの		
142	178	191	JF1	母語話者(対JSL)	やってるの?。	有	情報要求	疑問の(か)	その他	正用	0	0							

〔添付資料5〕 日本語母語話者とJSL学習者の雑談

データ	発話番号	ライン番号	話者番号	話者	発 話 内 容	ノダ 有無	発話機能	ノダ 小分類	ノダ 大分類	不自然さ による (準)分類	誤用 集計	不自然さ 集計	A	B	C	D	E	修正案	判定者修正
142	179	192	TF1	JSL学習者	休みになると、全然、なんか連絡とれないの(笑い)。	有	情報提供	帰結	承前	正用	0	0						連絡とれない	
142	180	193	JF1	母語話者(対JSL)	また4月になったら、じゃ、始まるのかな。	有	情報要求	疑問の(か)	その他	正用	0	0							
142	181	194	TF1	JSL学習者	分かんない。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						分かんないの	
142	182	195	JF1	母語話者(対JSL)	《沈黙3秒》うん、えっ?、でも何人ぐらいでやってたの?。	有	情報要求	疑問の(か)	その他	正用	0	0							
142	183	196	TF1	JSL学習者	あ、私向こう行っていないから、	無	情報提供			自然な不使用	0	0						行っていないだから	
142		197	TF1	JSL学習者	分かんない。	無	情報回答			自然な不使用	0	2				1	1	分かんないの	
142	184	198	JF1	母語話者(対JSL)	「人名5名」ちゃんとか。						0	0							
142	185	199	TF1	JSL学習者	ワイ、[NNNN<N>]くくく。						0	0							
142	186	200	JF1	母語話者(対JSL)	くくくく?イ?						0	0							
142	187	201	TF1	JSL学習者	「人名6名」。	無	情報提供			自然な不使用	0	1		1				「人名6名」なの	
142	188	202	TF1	JSL学習者	「人名6名」…、	無				自然な不使用	0	0						「人名6名」なの…	
142		203	TF1	JSL学習者	えーともう1人ある…。	無	情報提供			自然な不使用	0	0						あるの…	
142	189	204	TF1	JSL学習者	「人名7名」??、	無				自然な不使用	0	0						「人名7名」なの??	
142		205	TF1	JSL学習者	(うん)えーと、もう1人いる、	無	情報提供			自然な不使用	0	1		1				いるの	
142		206	TF1	JSL学習者	「人名8 姓」さん。	無	情報提供			自然な不使用	0	0						「人名8 姓」さんなの	
142	190	207	JF1	母語話者(対JSL)	えっ、あつちの?。						0	0							
142	191	208	TF1	JSL学習者	「人名8姓」さんこっち来てない。	無	情報提供			自然な不使用	0	0						来てないの	
142	192	209	JF1	母語話者(対JSL)	えっ?、じゃ、そっちはそれだけの、4、5人?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
142	193	210	TF1	JSL学習者	じゃ、4、5人かな。	無	情報回答			自然な不使用	0	1		1				4、5人なのかな	
142	194	211	JF1	母語話者(対JSL)	へー[↑]、少ない。	無	意見提供			自然な不使用	0	0							
142	195	212	TF1	JSL学習者	じゃ、私####。						0	0							
142	196	213	TF1	JSL学習者	あつ、分かった。分かった。						0	0						分かったの、分かったの	
142	197	214	JF1	母語話者(対JSL)	こっちが1人?[また稽古の話に変わった]。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
142	198	215	TF1	JSL学習者	そう、	無	情報回答			自然な不使用	0	2		1	1			そうなの	
142	205	216	TF1	JSL学習者	#####。						0	0							
142	199	217	TF1	JSL学習者	ちよっと停って。						0	0							
142	200	218	JF1	母語話者(対JSL)	しまっちゃう?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
142	201	219	TF1	JSL学習者	うん、そう。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						そうなの	
142	202	220	TF1	JSL学習者	《沈黙7秒》はい、(笑い)どうぞ。						0	0							
142	203	221	TF1	JSL学習者	なんか、先生はこれ…。						0	0							
142	204	222	TF1	JSL学習者	あつ、じゃ、どうぞ、取ってください。	無				自然な不使用	0	0							
142	205	223	TF1	JSL学習者	なんか、熱いうちに早く飲んで。						0	0							
142	206	224	JF1	母語話者(対JSL)	=早いほうがいいの?。	有	情報要求	疑問の(か)	その他	正用	0	0							
142	207	225	TF1	JSL学習者	うん。						0	0							
142	208	226	JF1	母語話者(対JSL)	く笑いながら急いで食べないと…(笑い)。						0	0							
142	209	227	JF1	母語話者(対JSL)	《沈黙5秒》2人分ね。						0	0							
142	210	228	TF1	JSL学習者	うん、ちょっと多いかも。	無	意見提供			自然な不使用	0	0						多いのかも	
142	211	229	TF1	JSL学習者	うん。						0	0							
142	212	230	JF1	母語話者(対JSL)	気がする[ごく小さい声で]。	無	意見提供			自然な不使用	0	0							

[添付資料5] 日本語母語話者とJSL学習者の雑談

データ	発話番号	ライン番号	話者番号	話者	発話内容	ノダ有無	発話機能	ノダ小分類	ノダ大分類	不自然さによる(準)分類	誤用集計	不自然さ集計	A	B	C	D	E	修正案	判定者修正
142	213	231	TF1	JSL学習者	するする、うん。	無				自然な不使用	0	0						するのするの、うん	
142	214	232	TF1	JSL学習者	あつ、ちよつと懐紙がない。	無	情報提供			自然な不使用	0	0						ないの	
142	215	233	TF1	JSL学習者	ごめんく(笑い)。						0	0							
142	216	234	TF1	JSL学習者	###私、自分で...						0	0							
142	217	235	TF1	JSL学習者	《少し間》く笑いながら》御服加減は?。						0	0							
142	218	236	JF1	母語話者(対JSL)	たいへん結構でございます。	無	意見提供			自然な不使用	0	0							
142	219	237	TF1	JSL学習者	本当?、	無				自然な不使用	0	0						本当なの?	
142		238	TF1	JSL学習者	大丈夫?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0						大丈夫なの?	
142	220	239	JF1	母語話者(対JSL)	うん。						0	0							
142	221	240	JF1	母語話者(対JSL)	く苦く>く<。						0	0							
142	222	241	TF1	JSL学習者	くちよつと、こう、>く<にの、ちよつと『豊瑞‘ほうずい’』がなんか味は濃茶に合わないが...						1	2	1	5				合わないんだが...	
142	223	242	JF1	母語話者(対JSL)	うん、苦い感じ...						0	0							
142	224	243	TF1	JSL学習者	するよね>く<。	無	情報提供			自然な不使用	0	1		1				するのよね	
142	225	244	JF1	母語話者(対JSL)	くする、>く<ちよつと。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
142	226	245	TF1	JSL学習者	とは言っても、『何々の昔』つて稽古用のわけもないね。	無	情報提供			自然な不使用	0	1	1					ないのね	
142	227	246	JF1	母語話者(対JSL)	でもあるんだよ。	有	情報提供	話題継続	後続	正用	0	0							
142	228	247	TF1	JSL学習者	えー?						0	0							
142	229	248	JF1	母語話者(対JSL)	スタイルよかったの。	有	情報提供	話題継続	後続	正用	0	0							
142	230	249	JF1	母語話者(対JSL)	でも適してないから、	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
142		250	JF1	母語話者(対JSL)	多分(ああ)『好みの昔』がある。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
142	231	251	TF1	JSL学習者	えつ、本当?。	無				自然な不使用	0	0						本当なの?	
142	232	252	TF1	JSL学習者	あつ、卒業茶会の残り?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0						残りなの?	
142	233	253	JF1	母語話者(対JSL)	うん。						0	0							
142	234	254	TF1	JSL学習者	ふーん。						0	0							
142	235	255	JF1	母語話者(対JSL)	開けたばっかりじゃないから、	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
142		256	JF1	母語話者(対JSL)	あんまり美味しくないかもしれない。	無	意見提供			自然な不使用	0	0							
142	236	257	TF1	JSL学習者	えー[→]。						0	0							
142	237	258	TF1	JSL学習者	《沈黙3秒》え、食べても...く(笑い)。						0	0							
142	238	259	JF1	母語話者(対JSL)	何食べる?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
142	239	260	TF1	JSL学習者	食べたいく(笑い)。	無	意見回答			自然な不使用	0	0						食べたいの	
142	240	261	JF1	母語話者(対JSL)	えつ、これをそんなに深く拭いちゃいけないの? [稽古の話に]。	有	情報要求	疑問の(か)	その他	正用	0	0							
142	241	262	TF1	JSL学習者	そう、	無	情報回答			自然な不使用	0	2		1			1	そうなの	
142		263	TF1	JSL学習者	こっちだけ。	無	情報提供			自然な不使用	0	0						こっちだけなの	
142	242	264	JF1	母語話者(対JSL)	えつ、こっちだけ拭くの? [とてもびっくりした口調で]。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
142	243	265	TF1	JSL学習者	そう、	無	情報回答			自然な不使用	0	0						そうなの	
142		266	TF1	JSL学習者	あの、唇触ったところだけ。	無	情報提供			自然な不使用	1	1		5				唇触ったところだけなの	
142	244	267	JF1	母語話者(対JSL)	お茶はいいのか>く<。	有	情報要求	疑問の(か)	その他	正用	0	0							

[添付資料5] 日本語母語話者とJSL学習者の雑談

データ	発話番号	ライン番号	話者番号	話者	発話内容	ノダ有無	発話機能	ノダ小分類	ノダ大分類	不自然さによる(準)分類	誤用集計	不自然さ集計	A	B	C	D	E	修正案	判定者修正
142	245	268	TF1	JSL学習者	〈だって、>〉先生は×<。〉						0	0							
142	246	269	JF1	母語話者(対JSL)	〈あ、そう>〉たまたね。						0	0							
142	247	270	TF1	JSL学習者	先生は面白いんですよ。	無	意見提供	話題継続	後続	非用	0	0	4	1	1		1	面白いんですよ	
142	248	271	TF1	JSL学習者	だって、みんなこう飲むの<2人で笑い>[先生の真似をしながら]。	有	情報提供	帰結	承前	正用	0	0						みんなこう飲む	
142	249	272	JF1	母語話者(対JSL)	〈笑いながら>そうか。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
142	250	273	TF1	JSL学習者	そう、	無				自然な不使用	0	1	1					そうなの	
142		274	TF1	JSL学習者	だから、中を拭かないの。	有	情報提供	帰結	承前	正用	0	0						拭かない	
142	251	275	JF1	母語話者(対JSL)	〈すごい…>×<【】。〉	無	意見提供			自然な不使用	0	0							
142	252	276	TF1	JSL学習者	【】<拭いたら、>〉次の人は飲めなくなっちゃう×<。〉	無	情報提供			自然な不使用	0	1					1	飲めなくなっちゃうの	
142	253	277	JF1	母語話者(対JSL)	〈飲め>×>ないね。	無				自然な不使用	0	0							
142	254	278	TF1	JSL学習者	うん。					自然な不使用	0	0							
142	255	279	JF1	母語話者(対JSL)	あつ、そうか。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
142	256	280	JF1	母語話者(対JSL)	なかがわ拭いてたよ。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
142	257	281	JF1	母語話者(対JSL)	「うん、なるほど[独り言のように]」。						0	0							
142	258	282	TF1	JSL学習者	《沈黙6秒》2口半って。						0	0							
142	259	283	TF1	JSL学習者	大丈夫か?、	無	情報要求			自然な不使用	0	0						大丈夫なのか?	
142		284	TF1	JSL学習者	ちょっどいいか[独り言のように]。	無	情報要求			自然な不使用	0	1			1			ちょっどいいのか	
142	260	285	JF1	母語話者(対JSL)	うん。						0	0							
142	261	286	TF1	JSL学習者	《沈黙4秒》京都で、私始めて5人分の濃茶を練った。	無	体験提供	話題継続	後続	非用	1	4	1	5		1	1	練ったの	
142	262	287	JF1	母語話者(対JSL)	京都で?、						0	0							
142	263	288	TF1	JSL学習者	うん。						0	0							
142	264	289	JF1	母語話者(対JSL)	5人分なんてあるんだ。	有	ソウナンデスカ	相づち	その他	正用	0	0							
142	265	290	TF1	JSL学習者	あのね、午前中の稽古の最後の1人だから、	無	情報提供			自然な不使用	0	0						1人なんだから	
142		291	TF1	JSL学習者	で、またお茶を飲んでない人がいっぱい、(うん)5人いて…。						0	0							
142	266	292	JF1	母語話者(対JSL)	全員の分‘ぶん’?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
142	267	293	TF1	JSL学習者	そう、	無	情報回答			自然な不使用	0	0						そうなの	
142		294	TF1	JSL学習者	先生は“全員の分‘ぶん’立てて”。						0	0							
142	268	295	JF1	母語話者(対JSL)	えっ?。						0	0							
142	269	296	TF1	JSL学習者	そういうようなお茶入れ、全部入ったんですよ。	有	体験提供	話題継続	後続	正用	0	2	1	1				入れましたよ	
142	270	297	TF1	JSL学習者	ま、8分‘ぶぐらいくのお茶’×<。〉						0	0						8分ぐらいくのお茶なの	
142	271	298	JF1	母語話者(対JSL)	〈くん、ふーん>×>。						0	0							
142	272	299	TF1	JSL学習者	全部出しました。	有	体験提供	帰結	承前	正用	0	0						出しました	
142	273	300	JF1	母語話者(対JSL)	えー[↑]。						0	0							
142	274	301	TF1	JSL学習者	うん。						0	0							
142	275	302	JF1	母語話者(対JSL)	だって、お湯もさあ、あ、でも、すごい量だね。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
142	276	303	TF1	JSL学習者	こわいですよ、もう。	無	意見提供			自然な不使用	0	0							
142	277	304	JF1	母語話者(対JSL)	練るのが大変だよな。	無	意見提供			自然な不使用	0	0							
142	278	305	TF1	JSL学習者	《少し間》はい、一応、預かって。						0	0							
142	279	306	JF1	母語話者(対JSL)	はい。						0	0							
142	280	307	TF1	JSL学習者	ごめん、変な所でやや早口で。						0	0							
142	281	308	TF1	JSL学習者	問答ここでお願ひくします×<。〉	無				自然な不使用	0	0						お願ひするんです	
142	282	309	JF1	母語話者(対JSL)	〈あつ、問答…>〉×>。						0	0							

[添付資料5] 日本語母語話者とJSL学習者の雑談

データ	発話番号	ライン番号	話者番号	話者	発話内容	ノダ有無	発話機能	ノダ小分類	ノダ大分類	不自然さによる(準)分類	誤用集計	不自然さ集計	A	B	C	D	E	修正案	判定者修正
142	283	310	TF1	JSL学習者	<はい><〇>。						0	0							
142	284	311	JF1	母語話者(対JSL)	<えーと、>>)たいへんけっこうにいただきました。	無	意見提供			自然な不使用	0	0							
142	285	312	JF1	母語話者(対JSL)	お茶名は?。						0	0							
142	286	313	TF1	JSL学習者	『豊瑞‘ほうずい’』でございます。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						でござるんです	
142	287	314	JF1	母語話者(対JSL)	お話めは?。						0	0							
142	288	315	TF1	JSL学習者	『松北園‘しょうほくえん’』でございます。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						でござるんです	
142	289	316	JF1	母語話者(対JSL)	先ほどは大変結構なお菓子をありがとうございました。	無				自然な不使用	0	0							
142	290	317	TF1	JSL学習者	そするとそすると、その、私は、						0	0							
142	291	318	JF1	母語話者(対JSL)	私が戻って?。						0	0							
142	292	319	TF1	JSL学習者	はい。						0	0							
142	293	320	JF1	母語話者(対JSL)	ヘイショ。						0	0							
142	294	321	TF1	JSL学習者	《沈黙4秒》うん、私、京都で、あの、水屋の方‘かた’がいて、 (うん)それはなんか裏千家学園で…。						0	0							
142	295	322	JF1	母語話者(対JSL)	あー、茶道をやってる人?><〇>。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
142	296	323	TF1	JSL学習者	<そう、><〇>。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						そうなの	
142	297	324	TF1	JSL学習者	男ばかり。	無	情報提供			自然な不使用	0	0	2	1			1	男ばかりなの	
142	298	325	JF1	母語話者(対JSL)	へー[↑]。						0	0							
142	299	326	JF1	母語話者(対JSL)	えっ、その人たちは高校卒業して(うん)そこに行って…。						0	0							
142	300	327	TF1	JSL学習者	なんか教えてくれた先生、その学園を卒業した先生、(うーん)一番若いのは33歳…。	無	情報提供			自然な不使用	0	0						33歳なの…	
142	301	328	JF1	母語話者(対JSL)	えっ? 卒業して…><〇>[↑]。						0	0							
142	302	329	TF1	JSL学習者]]<卒業して>>]]じゃなくて、33歳、だって。	無				ゆれ	1	3	1		5	1	33歳なんだった		
142	303	330	JF1	母語話者(対JSL)	えっ、卒業するまでに、何年がかかるわけじゃなくって…。						0	0							
142	304	331	TF1	JSL学習者	3年で。						0	0							
142	305	332	JF1	母語話者(対JSL)	3年…。	無				自然な不使用	0	0							
142	306	333	TF1	JSL学習者	うん、その後はまたなんかそこで><〇>[↑]。						0	0							
142	307	334	JF1	母語話者(対JSL)]]<別の>>]]先生とかについて…。						0	0							
142	308	335	TF1	JSL学習者	うん。						0	0							
142	309	336	TF1	JSL学習者	33歳<若くない?><〇>。	無	意見要求			自然な不使用	0	1		1				若くないの?	
142	310	337	JF1	母語話者(対JSL)	<へー>>[↑]。						0	0							
142	311	338	JF1	母語話者(対JSL)	若い。	無	意見回答			自然な不使用	0	0							
142	312	339	JF1	母語話者(対JSL)	あっ、でもそれで先生にならない…。						0	0							
142	313	340	JF1	母語話者(対JSL)	若いよね。	無	意見提供			自然な不使用	0	0							
142	314	341	TF1	JSL学習者	若くて、格好よくて…(笑い)。						0	0							
142	315	342	JF1	母語話者(対JSL)	袴とか着てるの?。	有	情報要求	疑問の(か)	その他	正用	0	0							
142	316	343	TF1	JSL学習者	いや、そう、先生たちはね、袴じゃないの。	有	情報回答	話題継続	後続	正用	0	0						袴じゃない	
142	317	344	TF1	JSL学習者	普通の着物(あー)、あの、男性の。	無	情報回答			自然な不使用	0	0							
142	318	345	JF1	母語話者(対JSL)	ずっと。						0	0							
142	319	346	TF1	JSL学習者	あの、[NN][「人名9」を言いかける]。						0	0							
142	320	347	JF1	母語話者(対JSL)	「人名9姓」くん?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
142	321	348	TF1	JSL学習者	「人名9姓」くん、「人名9姓」くんが来てない(笑い)。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						来てないの	
142	322	349	TF1	JSL学習者	「人名9姓」くん「人名9姓」くんぴったり。	無	意見提供			自然な不使用	0	0						ぴったりなの	
142	322	350	JF1	母語話者(対JSL)	あー、(そう)そうなんだ。	有	ソウナデスカ	相づち	その他	正用	0	0							

[添付資料5] 日本語母語話者とJSL学習者の雑談

データ	発話番号	ライン番号	話者番号	話者	発話内容	ノダ有無	発話機能	ノダ小分類	ノダ大分類	不自然さによる(準)分類	誤用集計	不自然さ集計	A	B	C	D	E	修正案	判定者修正
142	323	351	JF1	母語話者(対JSL)	えっ、女の先生は1人?、お稽古。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
142	324	352	TF1	JSL学習者	いない。	無	情報回答			自然な不使用	1	1	5					いないの	
142	325	353	TF1	JSL学習者	今度はいなかった。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						いなかったの	
142	326	354	JF1	母語話者(対JSL)	えっ、なににて、病気?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
142	327	355	TF1	JSL学習者	いや、こん、前行った時は、全部男の先生。	無	情報回答			自然な不使用	0	3	1	1			1	男の先生なの	
142	328	356	JF1	母語話者(対JSL)	<えー><[]>。					自然な不使用	0	0							
142	329	357	TF1	JSL学習者	<女性の><[]>先生1人もいなかった。	無	情報提供			自然な不使用	0	1					1	いなかったの	
142	330	358	JF1	母語話者(対JSL)	うそ。	無				自然な不使用	0	0							
142	331	359	JF1	母語話者(対JSL)	くあ、そうなんだ><[]>。	有	ソウナンデスカ	相づち	その他	正用	0	0							
142	332	360	TF1	JSL学習者	<本当に、>>[]>なんかお茶の上の世界は男の世界。	無	情報提供			自然な不使用	0	3	1			1	1	男の世界なの	
142	333	361	JF1	母語話者(対JSL)	あ、そうだね。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
142	334	362	TF1	JSL学習者	うん。					自然な不使用	0	0							
142	335	363	JF1	母語話者(対JSL)	もともとほ。					自然な不使用	0	0							
142	336	364	TF1	JSL学習者	<そう><[]>。	無	情報提供			自然な不使用	0	0						そうなの	
142	337	365	JF1	母語話者(対JSL)	<そう><[]>なんだ。	有	ソウナンデスカ	相づち	その他	正用	0	0							
142	338	366	JF1	母語話者(対JSL)	え、でも、じゃ、ちとどき違う所とかあるんじゃない?、女の人ほ。						0	0							
142	339	367	JF1	母語話者(対JSL)	そいうのは<全部><[]>。						0	0							
142	340	368	TF1	JSL学習者	<分かる><[]>。						0	1	1					分かるの	
142	341	369	JF1	母語話者(対JSL)	<分かってて...><[]>。						0	0							
142	342	370	TF1	JSL学習者]]<先生><[]>たち分かる、うん。	無	情報提供			自然な不使用	1	2				5	1	分かるの、うん	
142	343	371	JF1	母語話者(対JSL)	へー[]。						0	0							
142	344	372	TF1	JSL学習者	そしてね、先生はお##した時は、なんか“今の時代、あの、女性が強いか”<く笑いながら>うん、そこ、“その釜の蓋をとる時は”。						0	0							
142	345	373	JF1	母語話者(対JSL)	素手<で...><[]>。						0	0							
142	346	374	TF1	JSL学習者	<女性も><[]>袱紗が使わない、。	無	情報提供			自然な不使用	1	1	5					使わないの	
142	347	375	JF1	母語話者(対JSL)	うそ<く笑い>。	無				自然な不使用	0	0							
142	348	376	TF1	JSL学習者	“使わない”<ほうがいい>、<って>言われまして。						0	0							
142	349	377	JF1	母語話者(対JSL)	へー[]。						0	0							
142	350	378	TF1	JSL学習者	わけ分か<くれない><[]><く笑いながら>。	無	意見提供			自然な不使用	0	0						わけ分かんないの	
142	351	379	JF1	母語話者(対JSL)	<えっ、><[]><冗談です、冗談...>。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
142	352	380	TF1	JSL学習者	冗談<くでしょう><[]>。	無	情報要求			自然な不使用	0	1	1					冗談なんでしょう	
142	353	381	JF1	母語話者(対JSL)	<そのうち><[]><そうなるかもく笑い>。	無	意見提供			自然な不使用	0	0							
142	354	382	TF1	JSL学習者	で、なんか、蓋の、そのつまみのところの、なんか材料により、男も袱紗使う場合があるって。						1	2	5			1		あるんだって	
142	355	383	JF1	母語話者(対JSL)	はー、知らない。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
142	356	384	TF1	JSL学習者	銀で作ったの。	無	情報提供			自然な不使用	0	0						作った	
142	357	385	JF1	母語話者(対JSL)	あの、膳具同じもの作って、とかに、すごい熱いの??。	有	情報要求	疑問の(か)	その他	正用	0	0							
142	358	386	TF1	JSL学習者	そうそうそう、	無	情報回答			自然な不使用	0	0						そうなのそうなのそうなの	

[添付資料5] 日本語母語話者とJSL学習者の雑談

データ	発話番号	ライン番号	話者番号	話者	発 話 内 容	ノダ 有無	発話機能	ノダ 小分類	ノダ 大分類	不自然さ による (準)分類	誤用 集計	不自然さ 集計	A	B	C	D	E	修正案	判定者修正
142		387	TF1	JSL学習者	あるくある><。	無	情報提供			自然な不 使用	0	0						あるのあるの	
142	359	388	JF1	母語話者(対JSL)	<男の人も…><。						0	0							
142	360	389	TF1	JSL学習者	『南蔵‘なんりよう’』って。						0	0							
142	361	390	JF1	母語話者(対JSL)	うん、あるね、くうん><。	無	情報提供			自然な不 使用	0	0							
142	362	391	TF1	JSL学習者	<そう><。そう。	無				自然な不 使用	0	0						そうなのそうなの	
142	363	392	TF1	JSL学習者	なにになに?。	無	情報要求			自然な不 使用	0	0						なにになのになの?	
142	364	393	JF1	母語話者(対JSL)	えっ?。						0	0							
142	365	394	TF1	JSL学習者	あつ、お茶<碗><。						0	0						お茶碗なの	
142	366	395	JF1	母語話者(対JSL)	<あー、><これ<く笑い>。	無	情報提供			自然な不 使用	0	0							
142	367	396	JF1	母語話者(対JSL)	<笑いながら>何かと思った。	無	情報提供			自然な不 使用	0	0							
142	368	397	JF1	母語話者(対JSL)	<忘れてた><。	無	情報提供			自然な不 使用	0	0							
142	369	398	TF1	JSL学習者	<あ、なんか、><水の音が聞こえたら、お茶碗の返る合図 (あー)…。						0	2			1		1	合図なの…	
142	370	399	JF1	母語話者(対JSL)	おしゃべりながら、すっかり忘れた。	無	情報提供			自然な不 使用	0	0							
142	371	400	TF1	JSL学習者	いはいえ。						0	0							
142	372	401	TF1	JSL学習者	なんかしゃべってると、忘れちゃうよね(<笑い>)。	無	情報提供			自然な不 使用	0	1		1				忘れちゃうのよね	
142	373	402	JF1	母語話者(対JSL)	そうそう、	無				自然な不 使用	0	0							
142		403	JF1	母語話者(対JSL)	一生懸命しゃべって。						0	0							
142	374	404	TF1	JSL学習者	でも向こうでの、私たちなんか怖くて、(うん)あんまりしゃべれ なかった時に、(うんうんうん)先生はずっとしゃべってたもん。	無	情報提供			自然な不 使用	0	1				1	しゃべってたんだもん		
142	375	405	JF1	母語話者(対JSL)	へー[↑]、《少し間》そうなんだ。	有	ソウナンデスカ	相づち	その他	正用	0	0							
142	376	406	TF1	JSL学習者	そう。	無				自然な不 使用	0	1	1					そうなの	
142	377	407	TF1	JSL学習者	そしてね、なんか、“【学習者】姓”さん、韓国人?”、“【学習 者】姓”さん、中国人?” “いえ、台湾人です”。						0	0							
142	378	408	JF1	母語話者(対JSL)	<笑いながら><台湾人…><。						0	0							
142	379	409	TF1	JSL学習者	<台湾人…><。						0	0						台湾人なの…	
142	380	410	JF1	母語話者(対JSL)	何回も何回も?。	無	情報要求			自然な不 使用	0	0							
142	381	411	TF1	JSL学習者	そう、	無	情報回答			自然な不 使用	0	1					1	そうなの	
142		412	TF1	JSL学習者	何回も…。						0	1		1				何回もなの…	
142	382	413	TF1	JSL学習者	《少し間》難しいかな、日本人に対して…。	無	意見提供			自然な不 使用	0	0							
142	383	414	JF1	母語話者(対JSL)	あー、どうなんだろう<2人で笑い>。	無				自然な不 使用	0	0							
142	384	415	JF1	母語話者(対JSL)	《少し間》ふーん。						0	0							
142	385	416	JF1	母語話者(対JSL)	えっ、でも、「大学名1略称」とかで、中国、何人‘なにじん’一 番多い?	無	情報要求			自然な不 使用	0	0							
142	386	417	TF1	JSL学習者	「NN<NN>…><【「大学名1略称」を言っている】。						0	0						「NN<NN>」なの…	
142	387	418	JF1	母語話者(対JSL)	<台湾><。人より中国人のほうが多い?。	無	情報要求			自然な不 使用	0	0							
142	388	419	TF1	JSL学習者	中国、そして韓国、そして台湾…、のようだ。	無	情報回答			自然な不 使用	0	1				1		のようなんだ	
142	389	420	JF1	母語話者(対JSL)	ふーん。						0	0							
142	390	421	JF1	母語話者(対JSL)	何人ぐらいいるんだろう?。	有	情報要求	疑問の(か)	その他	正用	0	0							
142	391	422	JF1	母語話者(対JSL)	=知ってる?。	無	情報要求			自然な不 使用	0	0							
142	392	423	TF1	JSL学習者	あ、台湾人は、前一番多い時は、30人以上いたんですよ。	有	情報回答	話題継続	後続	正用	0	0						いましたよ	

[添付資料5] 日本語母語話者とJSL学習者の雑談

データ	発話番号	ライン番号	話者番号	話者	発話内容	ノダ有無	発話機能	ノダ小分類	ノダ大分類	不自然さによる(準)分類	誤用集計	不自然さ集計	A	B	C	D	E	修正案	判定者修正
142	393	424	TF1	JSL学習者	で、く今年は…><く。					自然な不使用	0	0							
142	394	425	JF1	母語話者(対JSL)	くいまは>>>20人?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
142	395	426	TF1	JSL学習者	今年結構卒業生が多いから、	無	情報提供			自然な不使用	0	0						多いんだから	
142		427	TF1	JSL学習者	<かえって…><く。						0	0							
142	396	428	JF1	母語話者(対JSL)]]<国に帰った>>>んだ。	有	ソウナンデスカ	相づち	その他	正用	0	0							
142	397	429	TF1	JSL学習者	そうですね。	無	情報提供	相づち	その他	非用	2	5	1	5	1	5	1	そうですねですよ	
142	398	430	JF1	母語話者(対JSL)	へー[]。						0	0							
142	399	431	TF1	JSL学習者	寂しいな、ちょっと思った。	無	意見提供			自然な不使用	0	1					1	思ったの	
142	400	432	TF1	JSL学習者	おしまいにいたします[稽古の話に]。						0	0						いたすんです	
142	401	433	TF1	JSL学習者	《沈黙2秒》その、ある先輩…、(うん)「地名1」に行くんですよ。	有	情報提供	話題継続	後続	正用	0	0						行きますよ	
142	402	434	TF1	JSL学習者	「地名1」の大学、市立大学。	無	情報提供			自然な不使用	0	0						市立大学なの	
142	403	435	JF1	母語話者(対JSL)	「地名1」…。	無				自然な不使用	0	0							
142	404	436	TF1	JSL学習者	市立大学。	無	情報提供			自然な不使用	0	0						市立大学なの	
142	405	437	JF1	母語話者(対JSL)	市立って?。						0	0							
142	406	438	TF1	JSL学習者	大学の名前、名前は市立。	無	情報提供			自然な不使用	0	2		1		1		市立なの	
142	407	439	JF1	母語話者(対JSL)	市「いち」という市「し」?。						0	0							
142	408	440	TF1	JSL学習者	<そうそうそう><く。	無	情報提供			自然な不使用	0	0						そうなのそうなのそうなの	
142	409	441	JF1	母語話者(対JSL)	<私「わたし」?>>>、<###!してた>><く。						0	0							
142	410	442	TF1	JSL学習者	<何々市>>>の市立の、						0	0							
142	411	443	JF1	母語話者(対JSL)	へー[]。						0	0							
142	412	444	TF1	JSL学習者	市立で…。						0	0							
142	413	445	JF1	母語話者(対JSL)	えっ、この、「大学名1略称」で、大学院を卒業して?。						0	0							
142	414	446	TF1	JSL学習者	あの、修士…><く博士…><く。						0	0						博士なの…	
142	415	447	JF1	母語話者(対JSL)	<あっ、>>>修士を卒業して、(うん)博士課程に入る…。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
142	416	448	TF1	JSL学習者	そうそう。	無	情報提供			自然な不使用	0	0						そうなのそうなの	
142	417	449	JF1	母語話者(対JSL)	ふーん。						0	0							
142	418	450	JF1	母語話者(対JSL)	何の勉強してる人?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
142	419	451	TF1	JSL学習者	社会学かな。	無	情報回答			自然な不使用	1	1		5				社会学なのかな	
142	420	452	TF1	JSL学習者	国際結婚がテーマみたい。	無	情報提供			自然な不使用	0	0						みたいなの	
142	421	453	JF1	母語話者(対JSL)	国際結婚?[驚いた様子で]。	無				自然な不使用	0	0							
142	422	454	TF1	JSL学習者	うん。						0	0							
142	423	455	JF1	母語話者(対JSL)	うまいくとかとか?<笑い>。						0	0							
142	424	456	TF1	JSL学習者	##<だよなー>><く。						0	0						んだよなー	
142	425	457	JF1	母語話者(対JSL)	<そんな>>>簡単じゃない<笑いながら>。	無	意見提供			自然な不使用	0	0							
142	426	458	TF1	JSL学習者	42歳で、						0	0							
142	427	459	JF1	母語話者(対JSL)	あーそう。	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
142	428	460	TF1	JSL学習者	結婚してないよ。	無	情報提供			自然な不使用	1	2		1		5		結婚してないのよ	
142	429	461	JF1	母語話者(対JSL)	あー。						0	0							
142	430	462	TF1	JSL学習者	で、うん、###!(ふーん)。						0	0							
142	431	463	TF1	JSL学習者	なんか、いい、人だよ。	無	意見提供			自然な不使用	0	1		1				いい、人なんだよ	

[添付資料5] 日本語母語話者とJSL学習者の雑談

データ	発話番号	ライン番号	話者番号	話者	発話内容	ノダ有無	発話機能	ノダ小分類	ノダ大分類	不自然さによる(準)分類	誤用集計	不自然さ集計	A	B	C	D	E	修正案	判定者修正
142	432	464	TF1	JSL学習者	興味あり?。	無	意見要求			自然な不使用	0	0						興味ありなの?	
142	433	465	JF1	母語話者(対JSL)	いや、くない」く。	無	意見回答			自然な不使用	0	0							
142	434	466	TF1	JSL学習者	くだって>(〆)遠いよねー(大きい笑いい)。	無	意見提供			自然な不使用	0	0						遠いのよねー	
142	435	467	JF1	母語話者(対JSL)	九州行っちゃう…え男の人?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
142	436	468	TF1	JSL学習者	男の<子>(く)。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						男の子なの	
142	437	469	JF1	母語話者(対JSL)	<男の>(〆)人…ふーん。					自然な不使用	0	0							
142	438	470	TF1	JSL学習者	なんかすごく優しくて(うん)、料理も上手よ。	無	情報提供			自然な不使用	1	2	5				1	上手なのよ	
142	439	471	JF1	母語話者(対JSL)	あ、そうなんだ(うん)笑いい。	有	ソウナンデスカ	相づち	その他	正用	0	0							
142	440	472	TF1	JSL学習者	興味があつたらぜひどうぞ笑いい。					自然な不使用	0	0							
142	441	473	JF1	母語話者(対JSL)	え、いつから日本にいるの?。	有	情報要求	疑問の(か)	その他	正用	0	0							
142	442	474	TF1	JSL学習者	7年前<笑いながら>。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						7年前なの	
142	443	475	JF1	母語話者(対JSL)	7年前[驚いたように]。	無				自然な不使用	0	0							
142	444	476	TF1	JSL学習者	そう。	無				自然な不使用	0	2	1	1				そうなの	
142	445	477	JF1	母語話者(対JSL)	あ、でもさ…えっ台湾の人?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
142	446	478	TF1	JSL学習者	台湾の人。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						台湾の人なの	
142	447	479	TF1	JSL学習者	<台湾の人っていうか>(く)。(I)。					自然な不使用	0	0							
142	448	480	JF1	母語話者(対JSL)]]<台湾で>(〆)、大学を卒業して、からこっちに来たの?。	有	情報要求	疑問の(か)	その他	正用	0	0							
142	449	481	TF1	JSL学習者	ま、そんで大学院、みたい。	無	情報提供			自然な不使用	0	0						大学院、みたいなの	
142	450	482	JF1	母語話者(対JSL)	あー(うん)、もうこっちで。					自然な不使用	0	0							
142	451	483	JF1	母語話者(対JSL)	あ、そっか、	無	ソウナンデスカ			自然な不使用	0	0							
142		484	JF1	母語話者(対JSL)	それぐらいだね。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
142	452	485	TF1	JSL学習者	そう。	無				自然な不使用	0	0						そうなの	
142	453	486	TF1	JSL学習者	でも大学はこの大学かどうかちょっとわからない。	無	情報提供			自然な不使用	0	1					1	わからないの	
142	454	487	JF1	母語話者(対JSL)	うん、日本(うん)、であつ…。					自然な不使用	0	0							
142	455	488	TF1	JSL学習者	《少し聞》で、たしかに(へえー)この大、なんかすごー、2学期からの人と…。(I)。					自然な不使用	0	0							
142	456	489	JF1	母語話者(対JSL)]]仲いい?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
142	457	490	TF1	JSL学習者	そうそう。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						そうなのそうなの	
142	458	491	JF1	母語話者(対JSL)	長いつきあいだから…<笑いながら>。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
142	459	492	TF1	JSL学習者	うん。					自然な不使用	0	0							
142	460	493	TF1	JSL学習者	《沈黙3秒》だめだ、なんか…。	無	意見提供			自然な不使用	0	0						だめなんだ、なんか…	
142	461	494	JF1	母語話者(対JSL)	わかんなくなるよね。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
142	462	495	JF1	母語話者(対JSL)	話長い。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
142	463	496	TF1	JSL学習者	そうなんかねー、	無				自然な不使用	0	0							
142		497	TF1	JSL学習者	いき、あまり出てたよく言われてー、					自然な不使用	0	0							

[添付資料5] 日本語母語話者とJSL学習者の雑談

データ	発話番号	ライン番号	話者番号	話者	発話内容	ノダ有無	発話機能	ノダ小分類	ノダ大分類	不自然さによる(準)分類	誤用集計	不自然さ集計	A	B	C	D	E	修正案	判定者修正
142	464	498	JF1	母語話者(対JSL)	博士の…。						0	0							
142	465	499	TF1	JSL学習者	何もしない、しないような感じでー、だからよく##って##って						0	0							
142	466	500	TF1	JSL学習者	(うーん)ないっていうか…。						0	0							
142	467	501	TF1	JSL学習者	うん。						0	0							
142	467	501	TF1	JSL学習者	言うのは簡単だけど、	無	意見提供			自然な不使用	0	1	1					簡単なんだけど	
142	467	502	TF1	JSL学習者	やるのは<むずか><<[[0	0							
142	468	503	JF1	母語話者(対JSL)]]<難しい>>)よねー。	無	意見提供			自然な不使用	0	0							
142	469	504	JF1	母語話者(対JSL)]]<沈黙2秒>>んー…。						0	0							
142	470	505	JF1	母語話者(対JSL)]]<沈黙3秒>>今年何人くらい入るかなー?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
142	471	506	TF1	JSL学習者	あんまり入らないのかも。	有	意見回答	話題継続	後続	正用	1	2	5				1	入らないかも。	
142	472	507	TF1	JSL学習者	いいけど、私<<[[0	0							
142	473	508	JF1	母語話者(対JSL)]]<5人>>)ぐらい?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
142	474	509	TF1	JSL学習者	5人ぐらいじゃちょっと寂しい。	無	意見提供			自然な不使用	0	0						寂しいの	
142	475	510	JF1	母語話者(対JSL)	寂しいね。	無				自然な不使用	0	0							
142	476	511	TF1	JSL学習者	<ここにも><<[[0	0							
142	477	512	JF1	母語話者(対JSL)]]<でも10人>>)いたら多くない?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
142	478	513	TF1	JSL学習者	多いよね。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						多いのよね	
142	479	514	JF1	母語話者(対JSL)	多い。	無				自然な不使用	0	0							
142	480	515	JF1	母語話者(対JSL)	大変だよ。	無	意見提供			自然な不使用	0	0							
142	481	516	TF1	JSL学習者	でもさー、もう…2年生は退部する人がいるからさ…<笑いながら>。	無	情報提供			自然な不使用	0	0						いるんだからさ…	
142	482	517	JF1	母語話者(対JSL)	2年<生は…><<[[0	0							
142	483	518	TF1	JSL学習者]]<それは>>)やだね、その言い方ー。	無	意見提供			自然な不使用	0	0						それはやなんだね、その言い方ー	
142	484	519	TF1	JSL学習者	あたし##た(うん)。						0	0							
142	485	520	TF1	JSL学習者	ひどいなだいいふ…。	無	意見提供			自然な不使用	1	1				5		ひどいんだないふ…	
142	486	521	JF1	母語話者(対JSL)	大丈夫…。						0	0							
142	487	522	TF1	JSL学習者	《少し間》だめだ、もう、なんか…。	無	意見提供			自然な不使用	0	0						だめなんだ、もう、なんか…	
142	488	523	JF1	母語話者(対JSL)	汚れた…。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
142	489	524	TF1	JSL学習者	うん、そう…。	無	情報提供			自然な不使用	0	0						そうなの…	
142	490	525	TF1	JSL学習者	今日手汗がひどいからー、	無	情報提供			自然な不使用	0	0						ひどいんだからー	
142	491	526	TF1	JSL学習者	手汗するとお茶が、						0	0							
142	491	527	JF1	母語話者(対JSL)	うん。						0	0							
142	492	528	JF1	母語話者(対JSL)	でも洗えないもんねー?[-→]。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
142	493	529	JF1	母語話者(対JSL)	拭紗って洗えないよね?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
142	494	530	JF1	母語話者(対JSL)	クリーニングとか無理…。						0	0							
142	495	531	JF1	母語話者(対JSL)	え、なんでくやめる…>><[[0	0							
142	496	532	TF1	JSL学習者	<大きな笑い>]]<拭紗のクリーニングやだー<笑いながら>。	無	意見提供			自然な不使用	0	1	1					クリーニングやなんだー	
142	497	533	JF1	母語話者(対JSL)	えっ、でもさー、ずっとさー<笑い>、##見たらさ、く汚い><<[[無	情報提供			自然な不使用	0	0							
142	498	534	TF1	JSL学習者]]<あなた>>)あきぐあい非常にいいです<笑い>。	無	意見提供			自然な不使用	0	1	1					いいんです	

[添付資料5] 日本語母語話者とJSL学習者の雑談

データ	発話番号	ライン番号	話者番号	話者	発話内容	ノダ有無	発話機能	ノダ小分類	ノダ大分類	不自然さによる(準)分類	誤用集計	不自然さ集計	A	B	C	D	E	修正案	判定者修正
142	499	535	TF1	JSL学習者	渡し行ったほうがいいんじゃないの？。	無	情報要求			自然な不使用	0	0						いいんじゃないの？	
142	500	536	JF1	母語話者(対JSL)	だってさー、でも、すごい、まったく付いて取れないじゃない？。やっぱり=	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
142	501	537	TF1	JSL学習者	=取れるよ。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						取れるのよ	
142	502	538	TF1	JSL学習者	あでも、なんか、し、知り合いの先輩が(うん)、今度1回その、ルームメイトの洗濯を(うん)洗うの。	有	情報提供	話題継続	後続	正用	0	1	1					洗う	
142	503	539	TF1	JSL学習者	<洗った…><【						0	1	1					洗ったの…	
142	504	540	JF1	母語話者(対JSL)	】<洗うの?>>】。	有	情報要求	疑問の(か)	その他	正用	0	0							
142	505	541	JF1	母語話者(対JSL)	水で?。						0	0							
142	506	542	TF1	JSL学習者	うん。						0	0							
142	507	543	JF1	母語話者(対JSL)	<ふーん><【						0	0							
142	508	544	TF1	JSL学習者	<ちょっと>>】<なんかぬるめの水でー。						0	0							
142	509	545	JF1	母語話者(対JSL)	洗ったことあるの?><【く笑いながら>。	有	情報要求	疑問の(か)	その他	正用	0	0							
142	510	546	TF1	JSL学習者	<なんか洗って>】。						0	0							
142	511	547	TF1	JSL学習者	今日はなんか、やっぱり##かもしれない><【						0	0							
142	512	548	JF1	母語話者(対JSL)	<##ない(り)よねー(うん)。						0	0							
142	513	549	JF1	母語話者(対JSL)	へー、やだなー。	無	意見提供			自然な不使用	0	0							
142	514	550	JF1	母語話者(対JSL)	やっぱり買うしかないのか。	有	意見提供	帰結	承前	正用	0	0							
142	515	551	TF1	JSL学習者	でもなんか先生が言ってたんですよ。	有	情報提供	話題継続	後続	正用	1	1	5					言っていましたよ	
142	516	552	TF1	JSL学習者	その、袱紗、まといのものが(うん)、消耗品だから。	無	情報提供			自然な不使用	0	0						消耗品なんだから	
142	517	553	JF1	母語話者(対JSL)	うーん、あやっぱり(うん)買い換えるしかない…。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
142	518	554	TF1	JSL学習者	そう…。	無	情報提供			自然な不使用	0	0						そうなの…	
142	519	555	JF1	母語話者(対JSL)	へー【						0	0							
142	520	556	JF1	母語話者(対JSL)	なんか<さー><【						0	0							
142	521	557	TF1	JSL学習者	】<そう>>】、	無					0	0						そうなの	
142		558	TF1	JSL学習者	なんか、のどってー(うん)、袱紗と小袱紗の個人展があってー(うんうんうん)、<で><【						0	0							
142	522	559	JF1	母語話者(対JSL)	】<##>>】。						0	0							
142	523	560	TF1	JSL学習者	えっ、いけないけどー、	無	情報提供			自然な不使用	1	2	5			1		いけないんだけどー	
142		561	TF1	JSL学習者	なんか、同じ班の、人が行ったらー(うん)、小袱紗ほいって言ったらー(うん)、##<少し間>このくらいださいのー(うん)、4つ出してー“選んで”。						0	0							
142	524	562	JF1	母語話者(対JSL)	えー。						0	0							
142	525	563	TF1	JSL学習者	って言われてー。						0	0							
142	526	564	JF1	母語話者(対JSL)	え、それ山積みになってるやつ?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
142	527	565	TF1	JSL学習者	そうそうそう。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						そうなのそうなのそうなの	
142	528	566	JF1	母語話者(対JSL)	へー。						0	0							
142	529	567	TF1	JSL学習者	中にはなんかー、さん、3千円から(うん)2万円まで、<ある><【	無	情報提供			自然な不使用	0	1				1	あるの		
142	530	568	JF1	母語話者(対JSL)	<んー>>【						0	0							
142	531	569	JF1	母語話者(対JSL)	高いのは高いよねー、だって。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
142	532	570	TF1	JSL学習者	そう、	無	情報提供			自然な不使用	0	0						そうなの	
142		571	TF1	JSL学習者	御し上それだ…。						1	2	5			1		それなんだ…	
142	533	572	TF1	JSL学習者	あとね、700円だけもある。	無	情報提供			自然な不使用	0	0						あるの	
142	534	573	JF1	母語話者(対JSL)	あそうなんだく笑いながら>。	有	ソウナンデスカ	相づち	その他	正用	0	0							
142	535	574	TF1	JSL学習者	うん。						0	0							

[添付資料5] 日本語母語話者とJSL学習者の雑談

データ	発話番号	ライン番号	話者番号	話者	発話内容	ノダ有無	発話機能	ノダ小分類	ノダ大分類	不自然さによる(準)分類	誤用集計	不自然さ集計	A	B	C	D	E	修正案	判定者修正
142	536	575	JF1	母語話者(対JSL)	ふーん。						0	0							
142	537	576	JF1	母語話者(対JSL)	え(うん)、でもそれ濡れた布巾入れるやつ?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
142	538	577	TF1	JSL学習者	500円。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						500円なの	
142	539	578	JF1	母語話者(対JSL)	あれは<さー><く>【く】。						0	0							
142	540	579	TF1	JSL学習者	【く】<手本用>く>。	無	情報提供			自然な不使用	0	0						手本用なの	
142	541	580	JF1	母語話者(対JSL)	安い。	無	意見提供			自然な不使用	0	0							
142	542	581	JF1	母語話者(対JSL)	えっ、いつも持ってたー(うん)、中にいつも濡れたの入れてくて?><く>。						0	0							
142	543	582	TF1	JSL学習者	<く>いやいや><く>いや、なんかねー、紙茶巾も持ってた、紙茶巾、なんかはさんで(うん)中に入れて、使う前にくもらって><く>。						0	0							
142	544	583	JF1	母語話者(対JSL)	<く>もうもらったの?><く>。	有	情報要求	疑問の(か)	その他	正用	0	0							
142	545	584	TF1	JSL学習者	うん。						0	0							
142	546	585	JF1	母語話者(対JSL)	ふーん。						0	0							
142	547	586	JF1	母語話者(対JSL)	え(そ)、紙茶巾ってさー、1回使ったら終わりだよな?。	無	情報要求			自然な不使用	0	0							
142	548	587	TF1	JSL学習者	そうそうそう。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						そうなのそうなのそうなの	
142	549	588	TF1	JSL学習者	あれとか1回、なんか、しょっちゅうなくなる、	無	情報提供			自然な不使用	0	1					1	なくなるの	
142		589	TF1	JSL学習者	一気に2回。	無	情報提供			自然な不使用	0	0						2回なの	
142	550	590	JF1	母語話者(対JSL)	ふーん。						0	0							
142	551	591	TF1	JSL学習者	え、ちよっとなんか##…(うん)。						0	0							
142	552	592	TF1	JSL学習者	合うかなー?。	無	情報要求			自然な不使用	0	1		1				合うのかなー?	
142	553	593	JF1	母語話者(対JSL)	ね。						0	0							
142	554	594	JF1	母語話者(対JSL)	持ってたきや(うん)くけないんだよね?、<あれは><く>。	有	情報要求	疑問の(か)	その他	正用	0	0							
142	555	595	TF1	JSL学習者	<く>でも><く>大体他の学校に行ったら、この茶巾使え、《少し間》出るよねー?。	無	情報要求			自然な不使用	0	1		1				出るのよねー?	
142	556	596	JF1	母語話者(対JSL)	出る出る。	無	情報回答			自然な不使用	0	0							
142	557	597	TF1	JSL学習者	うん。						0	0							
142	558	598	JF1	母語話者(対JSL)	あれをさ、こう回してくれるくけどー><く>、。	無	情報提供			自然な不使用	0	0							
142	559	599	TF1	JSL学習者	<###>><く>。						0	0							
142	560	600	JF1	母語話者(対JSL)	本当は自分で持ってたー><く>。						0	0							
142	561	601	TF1	JSL学習者	<なんか>><く>、なんか出してー。						0	0							
142	562	602	JF1	母語話者(対JSL)	うん。						0	0							
142	563	603	TF1	JSL学習者	いや、あれはなんかこっち、入れるじゃなくて奥のほうに入れる。	無	情報提供	話題継続	後続	非用	1	4	1	5	1		1	入れるの	
142	564	604	JF1	母語話者(対JSL)	えー[驚いたように]。						0	0							
142	565	605	TF1	JSL学習者	うん。						0	0							
142	566	606	JF1	母語話者(対JSL)	えっ、この真ん中に?。						0	0							
142	567	607	TF1	JSL学習者	ここ、	無	情報回答			自然な不使用	0	0						ここなの	
142		608	TF1	JSL学習者	そう。	無	情報回答			自然な不使用	0	0						そうなの	
142	568	609	JF1	母語話者(対JSL)	えー<笑い>>【く】。						0	0							
142	569	610	JF1	母語話者(対JSL)	ちよっと待って、どっから出すの?><く>。	有	情報要求	疑問の(か)	その他	正用	0	0							
142	570	611	TF1	JSL学習者	<###>><く>。						0	0							
142	571	612	JF1	母語話者(対JSL)	<そう><く>こっちから出すの?><く>。	有	情報要求	疑問の(か)	その他	正用	0	0							
142	572	613	TF1	JSL学習者	<###>><く>このほうがく奥いって、						0	0							
142	573	614	JF1	母語話者(対JSL)	やだー<笑い>。	無	意見提供			自然な不使用	0	0							
142	574	615	TF1	JSL学習者	中から出してー、かっってー、またく##入れく><く>。						0	0							

[添付資料5] 日本語母語話者とJSL学習者の雑談

データ	発話番号	ライン番号	話者番号	話者	発話内容	ノダ 有無	発話機能	ノダ 小分類	ノダ 大分類	不自然さ による (準)分類	誤用 集計	不自然さ 集計	A	B	C	D	E	修正案	判定者修正
142	575	616	JF1	母語話者(対JSL)	<おかしい> 。	無	意見提供			自然な不 使用	0	0							
142	576	617	JF1	母語話者(対JSL)	えっ、そうなんだ。	有	ソウナンデスカ	相づち	その他	正用	0	0							
142	577	618	TF1	JSL学習者	入れてー。						0	0							
142	578	619	JF1	母語話者(対JSL)	でもそうだよなー。	無	情報提供			自然な不 使用	0	0							
142	579	620	JF1	母語話者(対JSL)	暗黙の<事態だよ> < 。	無	情報提供			自然な不 使用	0	0							
142	580	621	TF1	JSL学習者	<ていうかさ> > 、なぜかわかる。	無	情報提供			自然な不 使用	0	1	1					なぜかわかるの	
142	581	622	TF1	JSL学習者	だって私、最初の日ばー(うん)、あのー目立つ、100ミリパックの飲んだら(うんうん)、あのー、自分のなにか見てるものつてー、でも友達からいつももらってるユーターンのは(うんうん)ね、食堂に入ってる、なんか#####もらったんですよ。	有	体験提供	#	その他	正用	0	0						もらいましたよ	
142	582	623	TF1	JSL学習者	#####だったんです。			#	その他		0	0							
142	583	624	JF1	母語話者(対JSL)	あー、そっかー(うん)。	無	ソウナンデスカ			自然な不 使用	0	0							
142	584	625	TF1	JSL学習者	だから、						0	0							
142	585	626	JF1	母語話者(対JSL)	また<別のところに> < < 。						0	0							
142	586	627	TF1	JSL学習者]]<ちょっとわかったかなー> > < > とってますね。	無	情報提供			自然な不 使用	0	0						思ってるんですね	
142	587	628	TF1	JSL学習者	はい。						0	0							
142	588	629	JF1	母語話者(対JSL)	へー。						0	0							
142	589	630	JF1	母語話者(対JSL)	え、でもなんか、いっぱい入れるの持ってた(2人で笑い)。	無	情報提供			自然な不 使用	0	0							
142	590	631	JF1	母語話者(対JSL)	懐紙ね…。						0	0							
142	591	632	JF1	母語話者(対JSL)	びっくりしたね。	無	体験提供			自然な不 使用	0	0							
142	592	633	JF1	母語話者(対JSL)	ちよっと動くかも…。						0	0							
142	593	634	TF1	JSL学習者	あ、先にはいてみる?。	無	情報要求			自然な不 使用	0	0						いてみるの?	
142	594	635	JF1	母語話者(対JSL)	え、あ、はいてみる。	無	情報回答			自然な不 使用	0	0							
142	595	636	JF1	母語話者(対JSL)	あ、じゃ…。						0	0							
142	596	637	JF1	母語話者(対JSL)	《沈黙3秒》ふーん、買おうかな、じゃあ…。						0	0							
142	597	638	TF1	JSL学習者	《沈黙5秒》買いたいのもいっぱいありますよね。	無	情報提供			自然な不 使用	0	2	1	1				あるんですよ	
142	598	639	JF1	母語話者(対JSL)	ね。						0	0							
142	599	640	JF1	母語話者(対JSL)	なんか買ってきた?、京都で。	無	情報要求			自然な不 使用	0	0							
142	600	641	JF1	母語話者(対JSL)	その、<きっきの> < 。						0	0							
142	601	642	TF1	JSL学習者	<そう> > 。	無	情報回答			自然な不 使用	0	0						そうなの	
142	602	643	JF1	母語話者(対JSL)	小瓶紗と…。						0	0							
142	603	644	TF1	JSL学習者	瓶紗はさみとー(とー)、あの茶巾入れとー、<ご茶…> < 。						0	0						ご茶なの…	
142	604	645	JF1	母語話者(対JSL)	<お菓子は一??> > 。						0	0							
142	605	646	TF1	JSL学習者	あ、ごめん、買ったけどー(笑い)。	無	情報回答			ゆれ	1	3		5	1		1	買ったんだけどー	

[添付資料 6] 第 8 章の質問紙

それぞれの会話文で、

- ・あなたが使う表現を 1 つ選んで、○をつけてください。
- ・もし絶対に使わない表現があったら、×をつけてください。
- ・どちらにも当てはまらない場合は、何もつけないでください。

1) A : 昨日、授業を休んだでしょう？

B : はい。風邪を { () ひきました / () ひいたんです } 。

2) A : 学校の食堂によく行くらしいですね。

B : そうですね。あそこは安いですし、カレーがすごく { () おいしいです / () おいしいんです } 。

3) A : なんか寂しそうですね。

B : ええ、実は昨日彼女と別れました。彼女は好きな人ができたらしいです。失恋 { () しました / () したんです } 。

4) A : 旅行、好きですか？

B : 好きです。知らない土地に行くのが { () 大好きです / () 大好きなんです } 。

5) A : 昨日忙しかったみたいですね。

B : ああ、昨日は大変でした。一つの仕事が終わっても、新しい仕事がどんどん来て、終電がなくなってしまって、結局会社に { () 泊まりました / () 泊まったんです } 。

6) A : お父さんはどんな人ですか？

B : えっと、きびしいですし、ほとんど笑わない人です。ただ、いつもほかの人のことを自分より大切に考えています。父のそういうところが { () 好きです / () 好きなんです } 。

7) A: 就職活動、どうですか？

B: ああ、有名な会社の面接をいくつか { () 受けてみましたけど / () 受けてみたんですけど } うまくいかなくて、小さい会社でもいいかと思っているところです。

8) A: 日本語学校を卒業したら日本の大学に入る予定ですか？

B: ええ、大学に { () 入りたいですけど / () 入りたいんですけど } 、学費が足りるかどうか心配で、まだ決めていません。

9)、10) あのう、昨日の昼、友達3人が遊びに来る予定だったので、料理をたくさん { () 作りました / () 作ったんです } 。でも、約束の時間になってもだれも来なかったんで、1人目に電話したら寝坊って言われて、2人目に電話しても寝坊、3人目に電話したらやはり寝坊って { () 言われました / () 言われたんです } 。結局だれも来ませんでした。

11)、12) あのう、昨日の夜、 { () 怖かったです / () 怖かったんです } 。1人で家にいるとき、ベランダで子どもの泣き声がして、1人では怖いからとにかくだれかを { () 呼びたかったです / () 呼びたかったんです } 。それで、大家さんを読んできて、一緒にベランダへ行ってもらったら、近所のネコでした。

13) A: 日本に来たのは去年でしたっけ？

B: ええ。去年の3月に { () 来ました / () 来たんです } 。

A: あ、そうでしたか。

14) A: レポート、出しましたか？

B: はい。さっき { () 出しました / () 出したんです } 。

A: あ、そうですか。

15) (Aさんが作った料理を、Bさんが食べた後)

A: おいしいですか?

B: はい。とても { () おいしいです / () おいしいんです } 。

A: そうですか。よかった。

16) (パーティーの最後に)

A: 今日は楽しかったですか?

B: ええ。とても { () 楽しかったです / () 楽しかったんです } 。

A: そうですか。よかったらまた来てくださいね。

17) A: 日本に来たのは今年でしたっけ?

B: いえ。去年の3月に { () 来ました / () 来たんです } 。

A: あ、そうでしたか。

18) A: レポート、まだ出していないですよ?

B: いえ。さっき { () 出しました / () 出したんです } 。

A: あ、そうですか。

19) (Aさんが作った料理を、Bさんが食べた後)

A: 料理、けっこう残っていますね。おいしくないですか?

B: いえ。とても { () おいしいです / () おいしいんです } 。おなかがいっぱい。

A: そうですか。よかった。

20) (パーティーの最後に)

A: 元気ないですね。今日はあまり楽しくなかったですか?

B: いえ。とても { () 楽しかったです / () 楽しかったんです } 。夜遅くなると眠くて。

A: そうですか。よかったらまた来てくださいね。

- 21) A: いつ日本に来ましたか?
B: 去年の3月に { () 来ました / () 来たんです } 。
A: あ、そうですか。
- 22) A: レポート、いつ出しましたか?
B: わたしはさっき { () 出しました / () 出したんです } 。
A: あ、そうですか。
- 23) (Aさんが作った料理を、Bさんが食べた後)
A: 味、どうですか?
B: とても { () おいしいです / () おいしいんです } 。
A: そうですか。よかった。
- 24) (パーティーの最後に)
A: 今日はどうでしたか?
B: とても { () 楽しかったです / () 楽しかったんです } 。
A: そうですか。よかったらまた来てくださいね。
- 25) その映画、わたしはまだ見ていませんが、あんなに人気 { () ありますから / () あるんですから } 、きっとおもしろいんだろうと思いますよ。
- 26) あなたはたくさん { () 勉強しましたから / () 勉強したんですから }、明日のテストは大丈夫ですよ。
- 27) (友だちと明日遊びに行くところについて話しているとき)
明日一緒に見たい映画があります。とても人気 { () ありますから / () あるんですから }、きっとおもしろいんだろうと思って。

- 28) (心配してくれている友だちに)
わたしはたくさん { () 勉強しましたから / () 勉強したんですから }、明日のテストは大丈夫だと思います。
- 29) A: 今は1人で住んでるんですか?
B: はい。1人暮らしです。
A: { () そうですか / () そうなんですか } 。
- 30) A: 毎日実家から学校に来るのは大変でしょう。
B: いえ。わたしは学校の近くに1人で住んでいます。
A: あ、 { () そうですか / () そうなんですか } 。
- 31) A: 1人暮らしということは、自分で料理が作れるんですか?
B: はい。毎日自分でご飯を作っていますよ。
A: あ、 { () そうですか / () そうなんですか } 。
- 32) A: 大学は英語専攻でしたよね。卒業論文は英語で書いたんですか?
B: いえ。日本語です。英語専攻だったけど、そんなに英語できないんで。
A: あ、 { () そうですか / () そうなんですか } 。

調査協力同意書

以下は調査に関する説明です。

何かわからないことがありましたら、何でも聞いてください。
すべて理解していただいたうえで、ご署名をお願いします。

【調査方法】

- ・この調査はインタビュー、ロールプレイ、○×問題からなります。
- ・所要時間は約1時間です。

【個人情報の保護について】

- ・個人情報保護のため、調査の際に氏名や住所を書いてもらうことはありません。
- ・調査内容は研究目的以外には使いません。
- ・調査への参加同意は、同意書提出後であっても、いつでも撤回できます。但し、撤回が要求された時点で公表済みの解析結果がある場合は、データを破棄できませんので、ご理解をお願いします。

【調査に協力することによる利益と不利益】

- ・本調査研究に協力することによる費用の負担はありません。
- ・協力されなくても不利益を受けることは全くありません。

本調査へのご理解とご協力に深く感謝いたします。

神戸学院大学 人間文化科学研究科 博士後期課程
范 一楠
〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬 518
TEL : +81-80-3583-0214
E-Mail : fanyinan1002@yahoo.co.jp

本調査に関する説明内容を理解し、調査・研究への参加に同意します。

_____年____月____日

ご署名

[添付資料 8] ロールプレイ課題の詳細

表 3 ロールプレイの設定と対応する紙調査の設問番号

ロールプレイの設定	対応する紙調査の 設問番号
1. 友だちがあなたから借りた CD を返してくれました。しかし、その友だちが返したことを忘れて、無くしたと思っています。友だちが心配しないように話してください。	17)、21)
2. 知り合いの先生の講演を聞いた後、会場でその先生に挨拶をしてください。	23)、19)
3. 友だちと明日遊びに行く約束をしました。しかし、友だちが今日だと思っています。電話をかけてきた友だちに説明してください。	17)、21)
4. 友だちの田中さんが買い物に行きましたが、財布を教室に忘れていました。田中さんの電話を受けて、田中さんのかばんから財布を取って、田中さんに渡しに行きました。それを見たハンさんが誤解しています。ハンさんに説明して誤解を解いてください。	9)、10)、5)
5. ちょっとおもしろい話、またはちょっと腹が立った話を 1 つ考えてください。それを友だちに話してください。	7)、9)、10)、5)
6. あなたは、友だちから借りた本を返しました。しかし、友だちがそのことを忘れて、まだあなたが持っていると思っています。友だちに説明してください。	23) 、17)、21)

表 4 母語話者の協力者の詳細

協力者番号	性別	出生地	言語形成地	外国人と話す頻度	質問紙パターン
NS01	女性	兵庫	兵庫	週 1 回以上	A
NS02	女性	兵庫	兵庫	月 1 回未満	A
NS03	男性	兵庫	兵庫	月 1 回未満	A
NS04	男性	兵庫	兵庫	月 1 回未満	A
NS05	女性	兵庫	兵庫	月 1 回未満	A
NS06	女性	兵庫	兵庫	月 1 回未満	A
NS07	男性	広島	広島	月 1 回未満	A
NS08	女性	兵庫	兵庫	週 1 回以上	A
NS09	女性	兵庫	兵庫	月 1 回未満	A
NS10	男性	兵庫	兵庫	月 1 回未満	A
NS11	男性	兵庫	兵庫	週 1 回以上	A
NS12	女性	岐阜	岐阜	月 1 回未満	A
NS13	女性	徳島	徳島	週 1 回以上	A
NS14	男性	熊本	兵庫	月 1～3 回	A
NS15	男性	兵庫	兵庫	月 1～3 回	A
NS16	女性	大阪	大阪	月 1 回未満	A
NS17	女性	広島	広島	月 1 回未満	B
NS18	男性	兵庫	兵庫	月 1 回未満	B
NS19	男性	兵庫	兵庫	月 1 回未満	B
NS20	男性	兵庫	兵庫	月 1 回未満	B
NS21	男性	兵庫	兵庫	月 1～3 回	B
NS22	女性	兵庫	兵庫	月 1 回未満	B
NS23	女性	香川	香川	月 1 回未満	B
NS24	男性	兵庫	兵庫	月 1 回未満	B
NS25	男性	兵庫	兵庫	月 1 回未満	B
NS26	男性	兵庫	兵庫	月 1 回未満	B
NS27	男性	岐阜	岡山	週 1 回以上	B
NS28	男性	兵庫	兵庫	月 1 回未満	B
NS29	女性	兵庫	兵庫	月 1～3 回	B
NS30	男性	愛媛	愛媛	月 1 回未満	B
NS31	女性	兵庫	兵庫	月 1 回未満	B

協力者番号	性別	出生地	言語形成地	外国人と話す頻度	質問紙パターン
NS32	女性	兵庫	兵庫	月 1 回未満	C
NS33	女性	高知	高知	月 1 回未満	C
NS34	女性	兵庫	兵庫	月 1 回未満	C
NS35	男性	兵庫	兵庫	月 1 回未満	C
NS36	女性	兵庫	兵庫	月 1 回未満	C
NS37	男性	兵庫	兵庫	月 1 回未満	C
NS38	女性	兵庫	兵庫	週 1 回以上	C
NS39	女性	兵庫	兵庫	週 1 回以上	C
NS40	男性	兵庫	兵庫	月 1 回未満	C
NS41	男性	兵庫	兵庫	月 1 回未満	C
NS42	女性	徳島	徳島	月 1 回未満	C
NS43	男性	岡山	岡山	週 1 回以上	C
NS44	男性	兵庫	兵庫	月 1 回未満	C
NS45	女性	兵庫	兵庫	月 1 回未満	C
NS46	女性	兵庫	兵庫	月 1 回未満	D
NS47	女性	兵庫	兵庫	月 1～3 回	D
NS48	女性	和歌山	和歌山	月 1 回未満	D
NS49	女性	兵庫	兵庫	月 1 回未満	D
NS50	女性	兵庫	兵庫	月 1 回未満	D
NS51	女性	滋賀	滋賀	月 1 回未満	D
NS52	女性	高知	兵庫	月 1 回未満	D
NS53	男性	兵庫	兵庫	月 1 回未満	D
NS54	男性	兵庫	兵庫	週 1 回以上	D
NS55	男性	香川	香川	月 1 回未満	D
NS56	男性	兵庫	兵庫	月 1～3 回	D
NS57	男性	兵庫	兵庫	月 1 回未満	D
NS58	女性	兵庫	兵庫	月 1 回未満	D
NS59	女性	福井	福井	月 1 回未満	D
NS60	男性	香川	香川	月 1～3 回	D

表 5 JFL 学習者の協力者の詳細

番号	性別	年齢	学習年数 (月)	滞日年数 (月)	OPI メイン レベル	日本語 能力試験	合格 年数	質問紙 パターン
JFL03	女性	24	72	0	中	一級／N1	2012	A
JFL04	女性	23	60	0	上	一級／N1	2013	A
JFL05	女性	23	60	0	中	一級／N1	2013	A
JFL06	女性	23	60	0.25	上	一級／N1	2014	A
JFL07	女性	23	59	0	上	一級／N1	2013	A
JFL08	女性	23	72	5	上	一級／N1	2013	A
JFL09	女性	26	72	5	上	一級／N1	2012	A
JFL10	女性	23	61	12	上	一級／N1	2013	A
JFL11	女性	21	48	0	上	一級／N1	2014	A
JFL12	男性	21	66	1	上	一級／N1	2014	A
JFL13	女性	22	48	12	上	一級／N1	2014	A
JFL14	女性	27	96	0	中	一級／N1	2011	B
JFL15	女性	22	120	0.25	中	一級／N1	2014	C
JFL16	女性	25	84	4	上	一級／N1	2010	D
JFL17	男性	22	51	0	上	一級／N1	2013	B
JFL18	女性	21	48	0	中	一級／N1	2014	C
JFL19	女性	23	48	10	上	一級／N1	2015	D
JFL20	女性	22	48	0	中	一級／N1	2014	B
JFL21	男性	24	66	0	中	一級／N1	2013	C
JFL23	女性	22	48	3	中	一級／N1	2015	B
JFL24	女性	23	61	1	上	一級／N1	2012	C
JFL25	男性	23	49	0.6	上	一級／N1	2014	D
JFL26	男性	23	42	1	上	一級／N1	2014	B
JFL27	女性	21	48	12	上	一級／N1	2014	C
JFL28	女性	24	72	0	上	一級／N1	2012	D
JFL29	女性	23	60	0.25	中	一級／N1	2013	B
JFL30	男性	24	75	11	中	一級／N1	2013	C
JFL31	男性	21	48	1	上	一級／N1	2014	D
JFL32	男性	25	48	1	上	一級／N1	2013	B
JFL33	女性	23	48	11	上	一級／N1	2014	C
JFL34	女性	22	49	17	上	一級／N1	2014	D

番号	性別	年齢	学習年数 (月)	滞日年数 (月)	OPI メイン レベル	日本語 能力試験	合格 年数	質問紙 パターン
JFL35	女性	24	60	0	上	一級／N1	2013	B
JFL36	女性	23	60	2	中	一級／N1	2013	C
JFL37	女性	22	48	4	上	一級／N1	2014	D
JFL38	女性	30	48	0	上	一級／N1	2013	B
JFL39	女性	23	60	0	上	一級／N1	2013	C
JFL40	女性	25	66	0	上	一級／N1	2013	D

表 6 JSL 学習者の協力者の詳細

番号	性別	年齢	学習年数 (月)	滞日年数 (月)	OPI メイン レベル	日本語 能力試験	合格 年数	質問紙 パターン
JSL01	女性	29	132	96	上	一級／N1	2007	B
JSL02	女性	24	73	25	上	一級／N1	2013	C
JSL03	女性	23	61	25	中	一級／N1	2015	A
JSL04	女性	21	90	90	上	-	-	B
JSL05	女性	21	40	37	中	二級／N2	2014	C
JSL06	女性	23	64	61	上	二級／N2	2012	D
JSL07	女性	23	86	37	上	一級／N1	2012	D
JSL08	女性	23	60	25	上	一級／N1	2013	A
JSL09	女性	30	144	77	上	一級／N1	2006	B
JSL10	女性	27	108	24	上	一級／N1	2009	C
JSL11	女性	24	72	36	上	一級／N1	2013	A
JSL12	男性	26	72	72	上	二級／N2	2014	D
JSL13	男性	25	50	50	中	二級／N2	2014	B
JSL14	女性	26	69	32	上	一級／N1	2013	C
JSL15	男性	28	32	32	中	二級／N2	2016	D
JSL16	男性	28	54	54	中	-	-	A
JSL17	女性	29	96	32	上	一級／N1	2009	B
JSL18	女性	30	48	31	上	一級／N1	2015	C
JSL19	男性	28	54	37	中	二級／N2	2015	D
JSL20	女性	31	140	56	上	一級／N1	2006	A
JSL21	女性	20	96	24	上	一級／N1	2011	B
JSL22	女性	20	74	25	上	一級／N1	2012	C
JSL23	男性	20	117	32	上	一級／N1	2013	D
JSL24	女性	21	108	36	上	一級／N1	2012	A

番号	性別	年齢	学習年数 (月)	滞日年数 (月)	OPI メイン レベル	日本語 能力試験	合格 年数	質問紙 パターン
JSL25	男性	21	39	32	上	一級／N1	2014	B
JSL26	女性	20	96	24	上	一級／N1	2013	C
JSL27	女性	21	122	26	上	一級／N1	2012	D
JSL28	女性	27	72	72	上	一級／N1	2012	A
JSL29	女性	26	85	37	上	一級／N1	2012	B
JSL30	女性	23	62	28	上	一級／N1	2013	A
JSL31	女性	30	60	43	中	一級／N1	2013	B
JSL32	女性	29	102	66	上	一級／N1	2010	C
JSL33	男性	27	54	48	上	二級／N2	2012	C
JSL34	男性	23	50	38	上	一級／N1	2014	D
JSL35	女性	25	89	86	上	一級／N1	2010	B
JSL36	男性	20	42	30	上	二級／N2	2015	C
JSL38	女性	24	74	26	上	一級／N1	2012	A

本論文の一部の内容は、以下の執筆者の投稿論文と口頭発表で公表している。

1. 投稿論文：

范一楠（2015）「雑談における中国語母語 JFL 上級学習者と日本語母語話者のノダの使用の相違点—発話機能と文の繋がりの方角の観点から—」『人間文化』37, pp. 37-44, 神戸学院大学人文学会. (第5章)

范一楠（2016a）「横断発話コーパスから見る日本語学習者のノダの習得—使用形式と文の繋がりの方角の観点からの分析—」『人間文化』39, 神戸学院大学人文学会. (第6章)

范一楠（2016b）「情報獲得の際の「そうですか」と「そうなんですか」」『日本語プロフィシエンシー研究』4, 日本語プロフィシエンシー研究会. (第7章第2節)

2. 口頭発表

范一楠（2013）「文脈に依存する文法項目「のだ」の使用に関する研究—談話構造の観点からの分析—」第10回人文学会研究会，神戸学院大学．（第5章）

范一楠（2014a）「JFL 上級学習者と日本語母語話者の「のだ」の使用に関する研究—談話構造と発話行為からの分析—」第8回日本語実用言語学国際会議（第5章）

范一楠（2014b）「発話機能と用法から見る中国語母語 JSL 上級学習者と日本語母語話者のノダの使用の相違点」第12回人文学会研究会，神戸学院大学．（第5章）

范一楠（2015a）「雑談資料から見る学習者のノダの使用と不使用—文脈との関わり方の観点—」第26回第二言語習得研究会（第5章）

范一楠（2015b）「横断発話コーパスから見る日本語学習者のノダの習得」第14回人文学会研究会，神戸学院大学．（第6章）

范一楠・野田春美（2015）「書きことばにおける「のだから」の使用実態—コーパス調査に基づいて—」「グローバル化時代に求められる日本語教育・日本学研究」国際シンポジウム．（第7章第1節）

2016 年 12 月 20 日

参 考 論 文 目 録

氏 名 范 一 楠 印

論 文 題 目

日本語学習者のノダの使用と習得に関する研究
— 〈承前のノダ〉と〈後続のノダ〉の違いを中心に—

参 考 論 文

范一楠（2015）「雑談における中国語母語 JFL 上級学習者と日本語母語話者のノダの使用の相違点—発話機能と文の繋がりの方角の観点から—」『人間文化』 37, pp.37-44, 神戸学院大学人文学会. （第 5 章）

范一楠（2016a）「横断発話コーパスから見る日本語学習者のノダの習得—使用形式と文の繋がりの方角の観点からの分析—」『人間文化』 39, 神戸学院大学人文学会. （第 6 章）

范一楠（2016b）「情報獲得の際の「そうですか」と「そうなんですか」」『日本語プロフィエンス研究』 4, 日本語プロフィエンス研究会. （第 7 章第 2 節）